

# 大熊町 住民意向調査 報告書

令和6年3月

復興庁  
福島県  
大熊町



# 大熊町 住民意向調査

## 報告書

### 目次

<b>I 調査の概要</b> . . . . .	1
1-1 調査目的 . . . . .	3
1-2 調査内容 . . . . .	3
1-3 調査設計 . . . . .	3
1-4 回収結果 . . . . .	3
1-5 報告書の見方 . . . . .	3
<b>II 調査結果（主要項目）</b> . . . . .	5
2-1 回答者の属性・状況 . . . . .	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問3（1）） . . . . .	7
2-1-2 世帯人数（問6・問9） . . . . .	7
2-1-3 現在の居住自治体（問7） . . . . .	8
2-1-4 震災発生当時の住居形態（問5） . . . . .	8
2-1-5 現在の住居形態（問8） . . . . .	9
2-2 調査結果 . . . . .	10
2-2-1 大熊町への帰町意向（問12） . . . . .	10
2-2-2 大熊町に戻ること考えた理由（問13-1） . . . . .	12
2-2-3 大熊町内での今後の生活において必要だと感じていること （問13-2） . . . . .	13
2-2-4 大熊町へ帰町する場合の家族構成（問14-2） . . . . .	14
2-2-5 大熊町へ帰町した場合に必要なサービス（問15-2） . . . . .	15
2-2-6 大熊町へ帰町した場合に希望する住居形態 〔戻りたいと考えている方〕（問15-3） . . . . .	16
2-2-7 大熊町への帰町を判断するために必要なこと （問16-1） . . . . .	17
2-2-8 大熊町に戻らないと決めている理由（問18-1） . . . . .	18
<b>III 調査結果（全項目）</b> . . . . .	19
3-1 回答者の属性 . . . . .	21
3-1-1 性別 . . . . .	21
3-1-2 年齢 . . . . .	21
3-1-3 現在の職業（就業形態） . . . . .	22

3-1-4	現在の業種	23
3-2	東日本大震災発生時の状況	24
3-2-1	震災発生当時の住まいの区域	24
3-2-2	震災発生当時の住まいの行政区	24
3-2-3	震災発生当時の住居形態	25
3-2-4	震災発生当時の世帯構成・人数	25
3-3	現在の状況	26
3-3-1	現在の居住自治体	26
3-3-2	現在の住居形態	27
3-3-3	現在の世帯構成・人数	27
3-4	この1年の大熊町内の活動	28
3-4-1	利用した町内の施設・サービス	28
3-4-2	参加した町内開催のイベント	29
3-5	将来の意向	30
3-5-1	大熊町への帰町意向	30
3-5-2	大熊町に戻ること考えた理由	33
3-5-3	大熊町での今後の生活において必要だと感じていること	34
3-5-4	大熊町への帰町時期	36
3-5-5	大熊町へ帰町する場合の家族構成	37
3-5-6	大熊町へ帰町した場合の世帯構成・人数	38
3-5-7	大熊町へ帰町した場合に今後の生活において必要な施設	39
3-5-8	大熊町へ帰町した場合に必要なサービス	39
3-5-9	大熊町へ帰町した場合に希望する住居形態	40
3-5-10	大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域への 居留意向	41
3-5-11	特定復興再生拠点区域に希望する住居形態	42
3-5-12	大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域に 居住しない理由	43
3-5-13	大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域への居住を 判断できない理由	43
3-5-14	大熊町への帰町を判断するために必要なこと	44
3-5-15	特定復興再生拠点区域外に関する国の方針について 帰町の判断への影響	46
3-5-16	大熊町との「つながり」を保ちたいか	48
3-5-17	大熊町を訪れたい頻度	49
3-5-18	現時点で戻らないと決めている理由	50
3-5-19	帰町しない場合に今後の生活において必要な支援	52

3-5-20	帰町しない場合に居住を検討する自治体	53
3-5-21	帰町しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	54
3-6	大熊町内での就労意向	55
3-6-1	大熊町内で働く場が整備された場合の家族の就労意向	55
3-7	大熊町内で整備検討中の運動施設	56
3-7-1	希望する運動に利用できる施設	56
3-8	「学び舎ゆめの森」の開校	57
3-8-1	「学び舎ゆめの森」への通園・通学の意向	57
3-8-2	「学び舎ゆめの森」で通園・通学をさせたい校種	57
3-8-3	預かり保育・学童保育の利用意向	58
3-9	不動産の取り扱い意向	59
3-9-1	大熊町内に保有している宅地・建物の利用意向	59
3-9-2	不動産利活用事業への登録	59
3-9-3	不動産利活用事業に登録していない理由	60
3-10	復興公営住宅	61
3-10-1	福島県営の復興公営住宅への入居意向	61
3-10-2	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期	61
3-10-3	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村	62
3-11	情報入手	63
3-11-1	大熊町に関する情報の入手経路	63
3-11-2	大熊町役場からの情報提供の満足度	63
3-11-3	関心のある情報	64
3-12	持続可能なまちづくりへの取り組み	65
3-12-1	「大熊町ゼロカーボンビジョン」の認知度	65
3-12-2	持続可能なまちづくりへの取り組みへの意見	65
3-13	意見・要望	67
3-13-1	意見に係る記入内容の分類結果	68
3-13-2	生活について	69
3-13-3	震災発生前の居住地について	71
3-13-4	賠償について	72
3-13-5	帰還について	73
3-13-6	避難期間中及び将来の住宅について	74
3-13-7	除染について	75
3-13-8	復旧・復興について	76
3-13-9	原発の安全性について	78
3-13-10	原発事故に対する対応について	79

3-13-11 その他	80
<b>IV 参考資料</b>	<b>81</b>
4-1 使用調査票	83

# I 調査の概要





## 1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた大熊町民の「帰町後の生活環境の改善」、「帰町に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	大熊町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 5,139世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和5年10月16日（月）～令和5年11月5日（日）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、大熊町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 1-4 回収結果

有効回収数 2,011世帯（有効回収率39.1%）

## 1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ $n$  値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和5年度について述べている。  
（令和3年度の結果は、参考値として掲載）



## **II 調查結果（主要項目）**

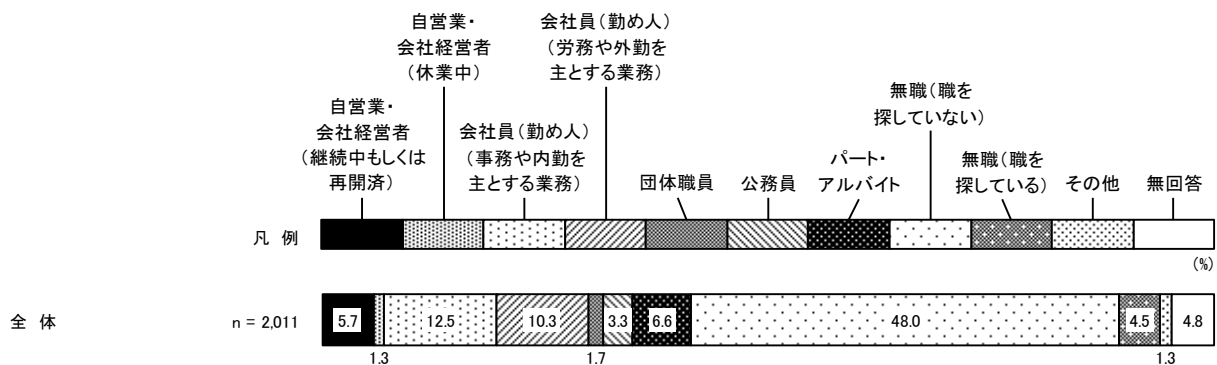


## 2-1 回答者の属性・状況

### 2-1-1 現在の職業（就業形態）（問3（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が12.5%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が10.3%となっている。

<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>

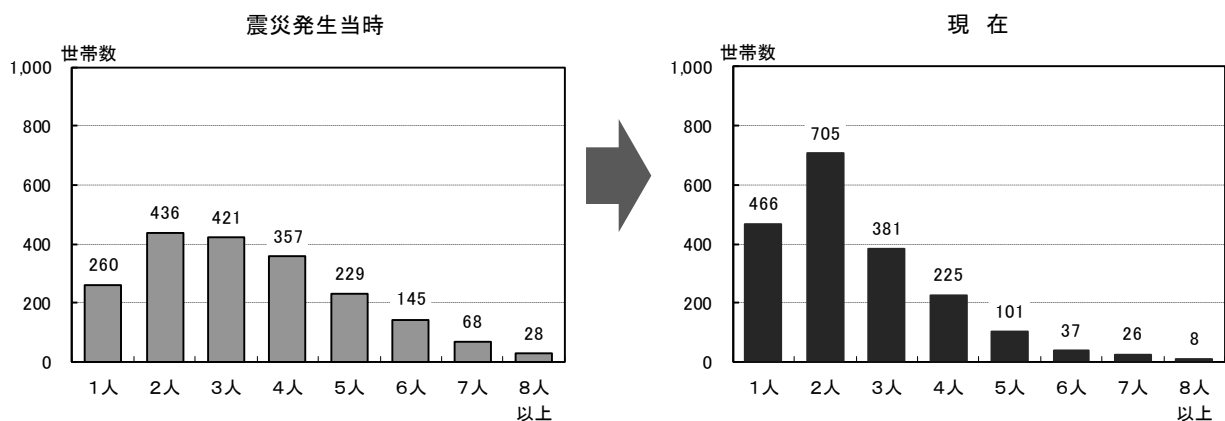


### 2-1-2 世帯人数（問6・問9）

世帯人数については、震災発生当時は「2人」が436世帯と最も多く、次いで「3人」が421世帯、「4人」が357世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が705世帯と最も多く、次いで「1人」が466世帯、「3人」が381世帯となっている。

<図表2-1-2 世帯人数>

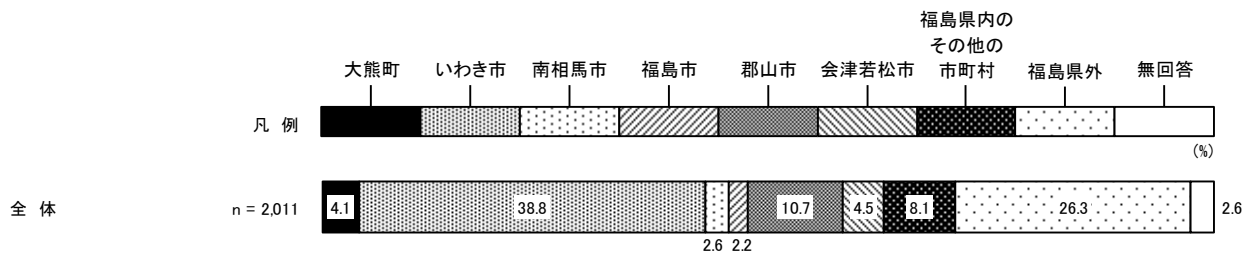


## II 調査結果（主要項目）

### 2-1-3 現在の居住自治体（問7）

現在の居住自治体については、「いわき市」が38.8%と最も高く、次いで「福島県外」が26.3%、「郡山市」が10.7%となっている。

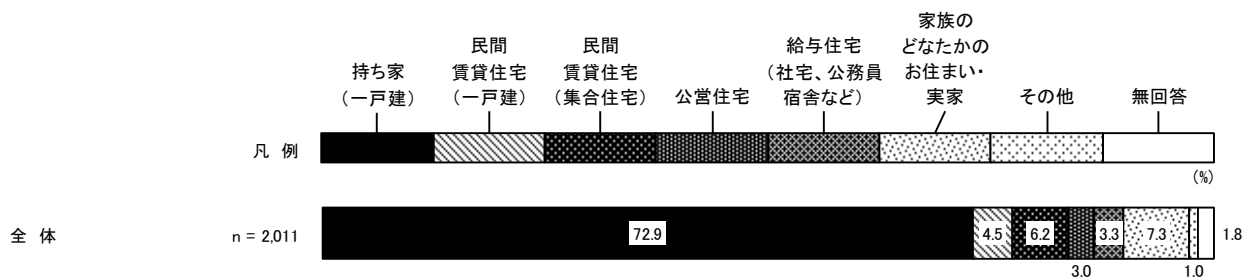
<図表2-1-3 現在の居住自治体>



### 2-1-4 震災発生当時の住居形態（問5）

震災発生当時の住居形態について、「持ち家（一戸建）」が72.9%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が7.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が6.2%となっている。

<図表2-1-4 震災発生当時の住居形態>

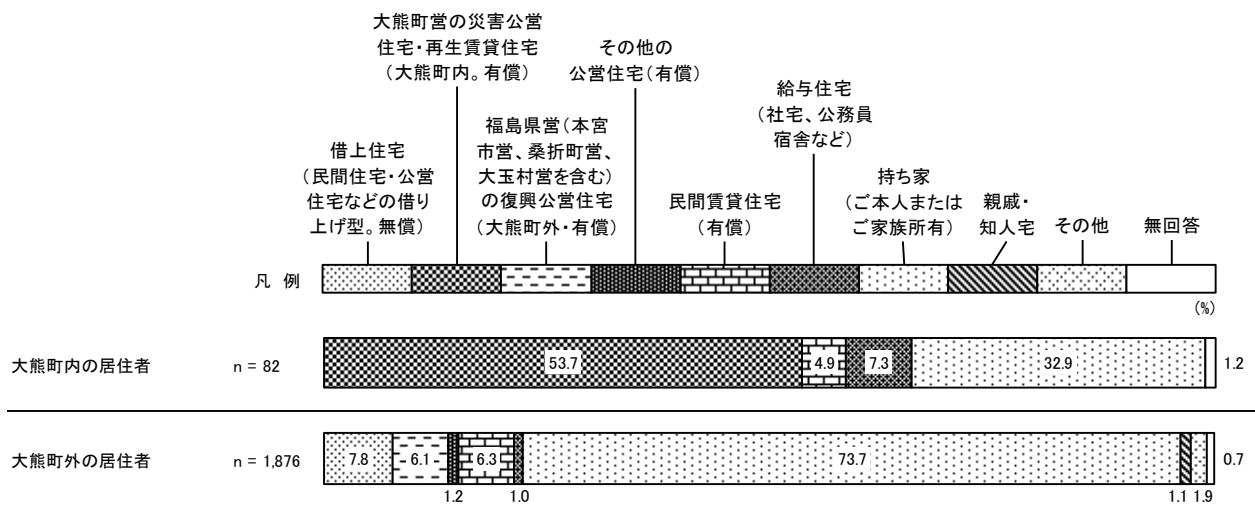


### 2-1-5 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態について、大熊町内の居住者では「大熊町営の災害公営住宅・再生賃貸住宅（大熊町内。有償）」が53.7%と最も高く、次いで「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が32.9%、「給与住宅（社宅、公務員宿舎など）」が7.3%となっている。

大熊町外の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が73.7%と最も高く、次いで「借上住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が7.8%、「民間賃貸住宅（有償）」が6.3%、「福島県営（本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む）の復興公営住宅（大熊町外・有償）」が6.1%となっている。

<図表2-1-5 現在の住居形態（現在の居住地域別）>



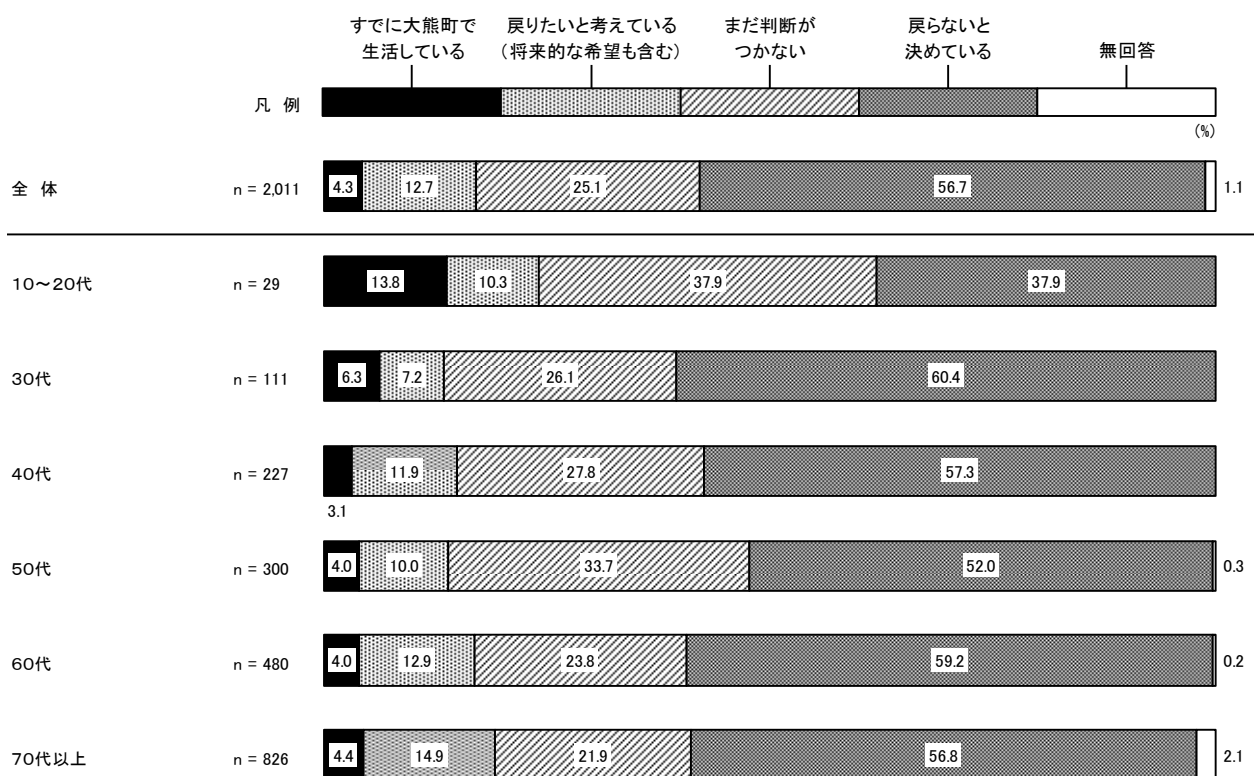
## 2-2 調査結果

### 2-2-1 大熊町への帰町意向（問 12）

大熊町への帰町意向については、「すでに大熊町で生活している」（4.3%）、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」（12.7%）をあわせると、大熊町への帰町意向のある人は 17.0%となっている。

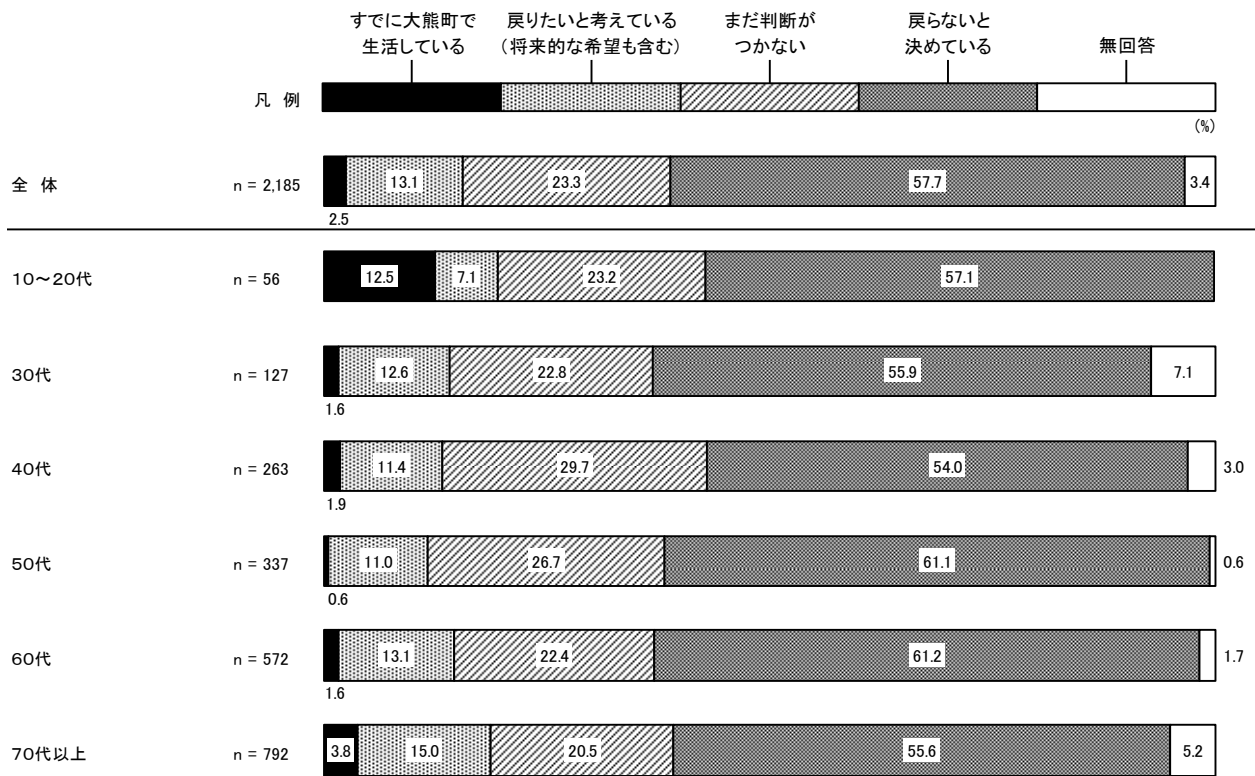
回答者の年齢別にみると、「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」をあわせた大熊町への帰町意向のある人は、70代以上で 19.2%と 2 割に近い。一方、「戻らないと決めている」は 30代で 60.4%、60代で 59.2%と約 6 割となっている。

<図表 2-2-1-1 大熊町への帰町意向：令和 5 年度（年齢別）>





<図表2-2-1-2 大熊町への帰町意向：令和3年度（年齢別）>

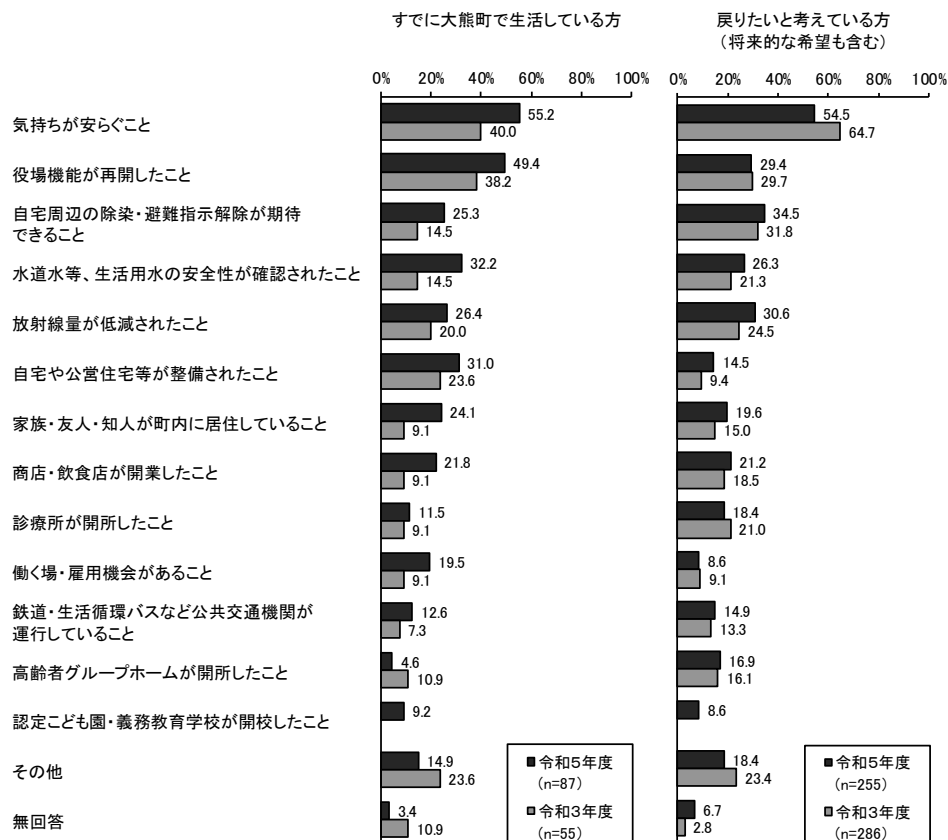


2-2-2 大熊町に戻ることを考えた理由（問 13-1）

大熊町へ戻ることを考えた理由について、帰町意向別にみると、すでに大熊町で生活している方では、「気持ちが安らぐこと」が55.2%と最も高く、次いで「役場機能が再開したこと」が49.4%、「水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと」が32.2%となっている。

戻りたいと考えている方では、「気持ちが安らぐこと」が54.5%と最も高く、次いで「自宅周辺の除染・避難指示解除が期待できること」が34.5%、「放射線量が低減されたこと」が30.6%となっている。

<図表2-2-2 大熊町に戻ることを考えた理由（帰町意向別）>



※問12で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

※複数回答可

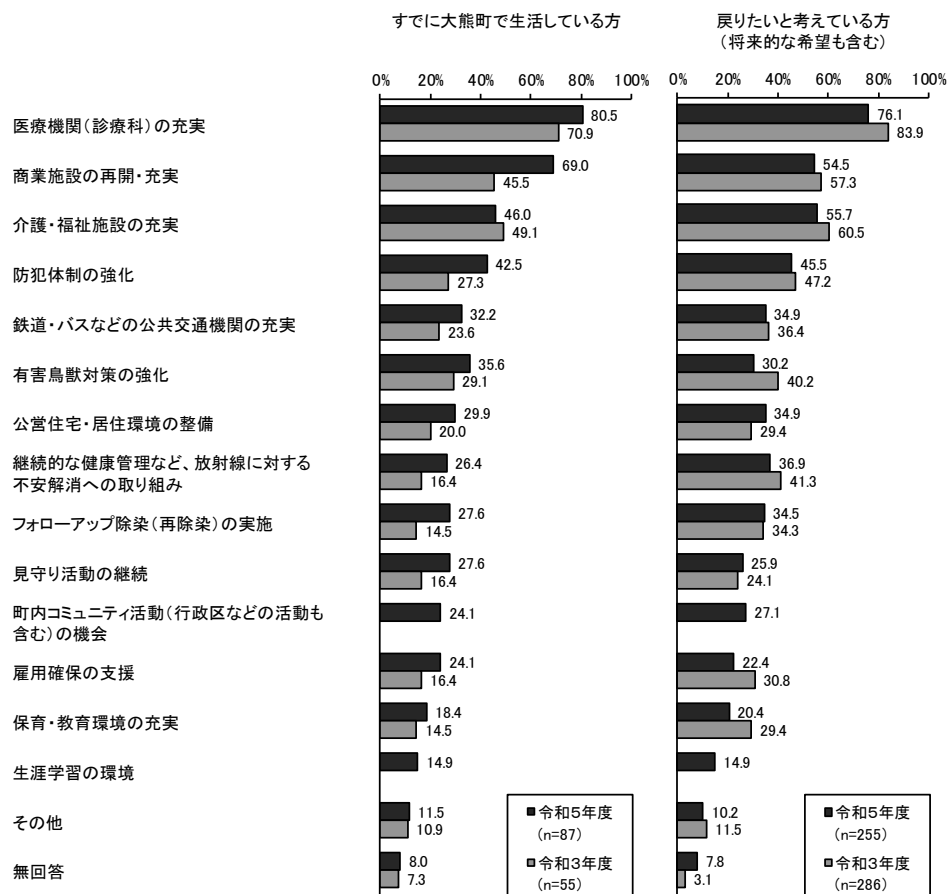
※令和5年度からの新規回答項目については、令和5年度結果のみ掲載

### 2-2-3 大熊町内での今後の生活において必要だと感じていること（問13-2）

大熊町内での今後の生活において必要だと感じていることについて、帰町意向別にみると、すでに大熊町で生活している方では、「医療機関（診療科）の充実」が80.5%と最も高く、次いで「商業施設の再開・充実」が69.0%、「介護・福祉施設の充実」が46.0%となっている。

戻りたいと考えている方では、「医療機関（診療科）の充実」が76.1%と最も高く、次いで「介護・福祉施設の充実」が55.7%、「商業施設の再開・充実」が54.5%となっている。

<図表2-2-3 大熊町内での今後の生活において必要だと感じていること（帰町意向別）>



※問12で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

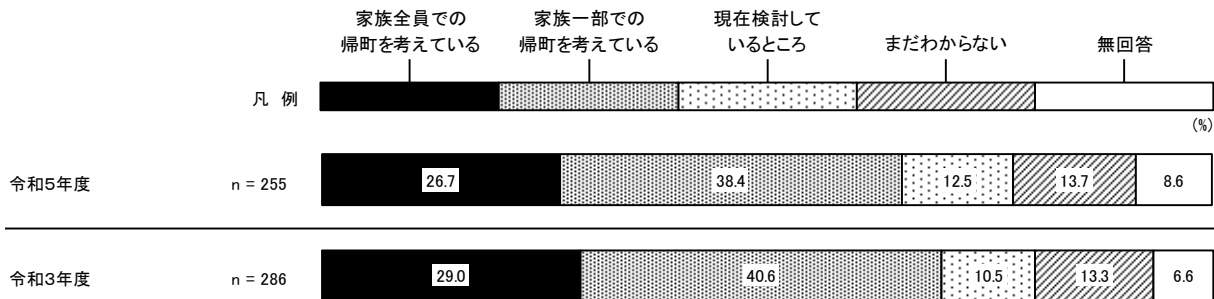
※複数回答可

※令和5年度からの新規回答項目については、令和5年度結果のみ掲載

2-2-4 大熊町へ帰町する場合の家族構成（問 14-2）

大熊町へ帰町する場合の家族構成については、「家族一部での帰町を考えている」が38.4%と最も高く、次いで「家族全員での帰町を考えている」が26.7%となっている。

<図表2-2-4 大熊町へ帰町する場合の家族構成>



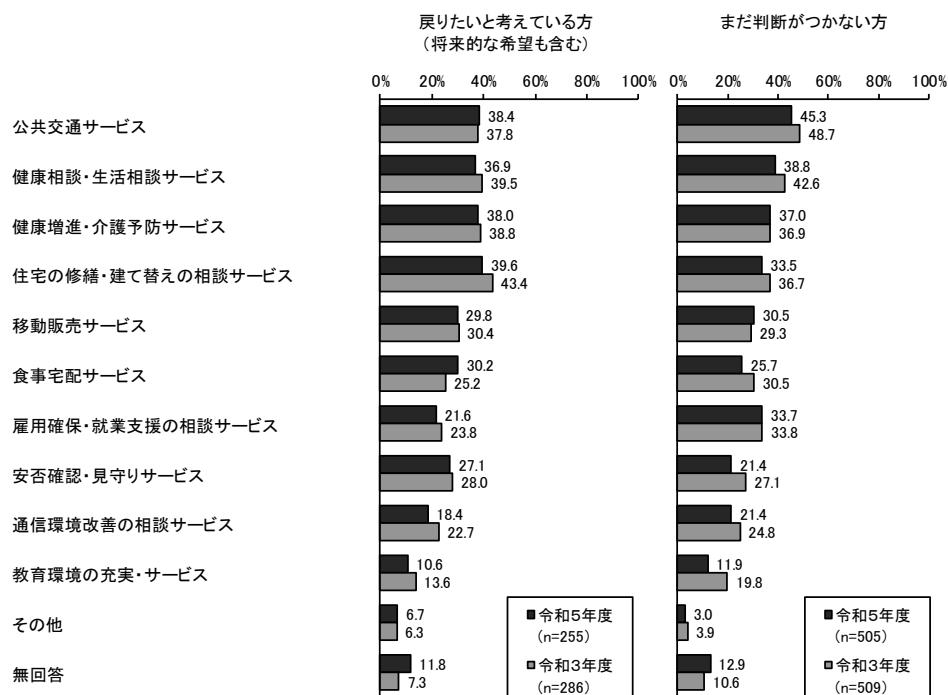
※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-5 大熊町へ帰町した場合に必要なサービス（問 15-2）

大熊町へ帰町した場合に必要なサービスについては、帰町意向別にみると、戻りたいと考えている方は、「住宅の修繕・建て替えの相談サービス」が39.6%と最も高く、次いで「公共交通サービス」が38.4%、「健康増進・介護予防サービス」が38.0%となっている。

まだ判断がつかない方では、「公共交通サービス」が45.3%と最も高く、次いで「健康相談・生活相談サービス」が38.8%、「健康増進・介護予防サービス」が37.0%となっている。

<図表2-2-5 大熊町へ帰町した場合に必要なサービス（帰町意向別）>

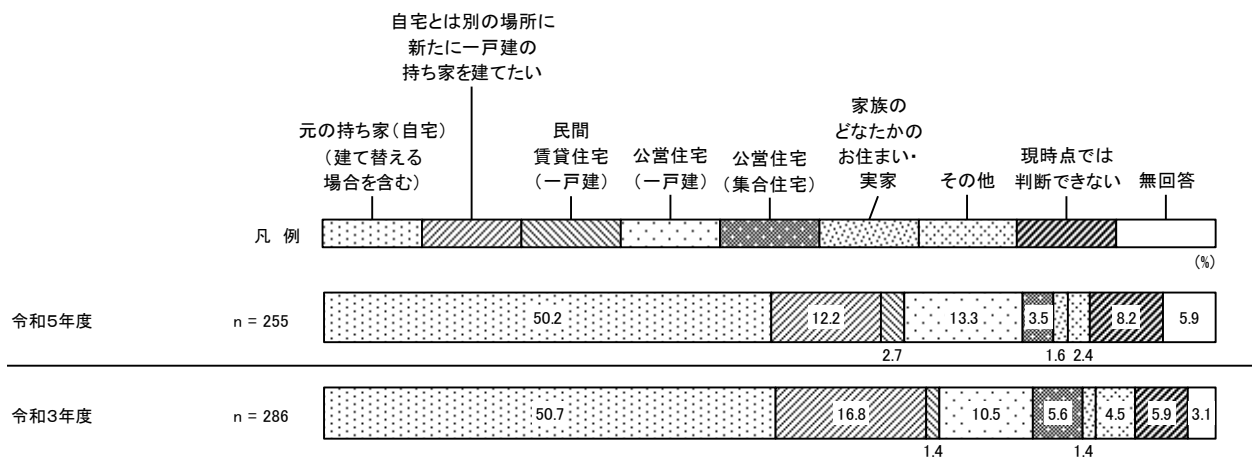


※問12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ  
※複数回答可

2-2-6 大熊町へ帰町した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕  
（問 15-3）

大熊町へ帰町した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が 50.2%と最も高く、次いで「公営住宅（一戸建）」が 13.3%、「自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」が 12.2%となっている。

<図表2-2-6 大熊町へ帰町した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕>

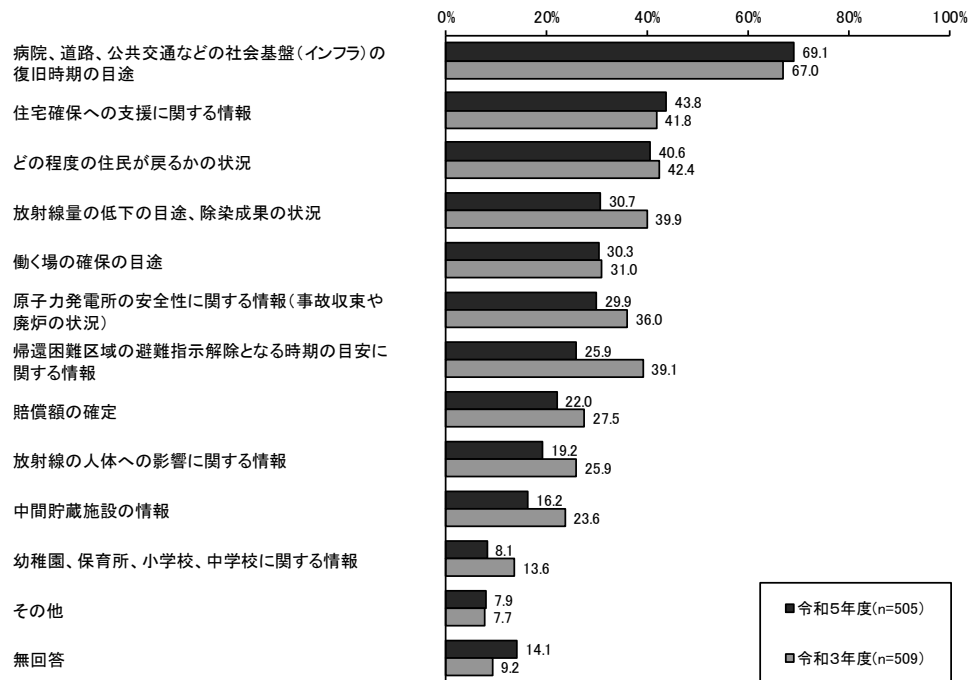


※問 12で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-7 大熊町への帰町を判断するために必要なこと（問 16-1）

大熊町への帰町を判断するために必要なことについては、「病院、道路、公共交通などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の目途」が69.1%と最も高く、次いで「住宅確保への支援に関する情報」が43.8%、「どの程度の住民が戻るかの状況」が40.6%となっている。

<図表2-2-7 大熊町への帰町を判断するために必要なこと>

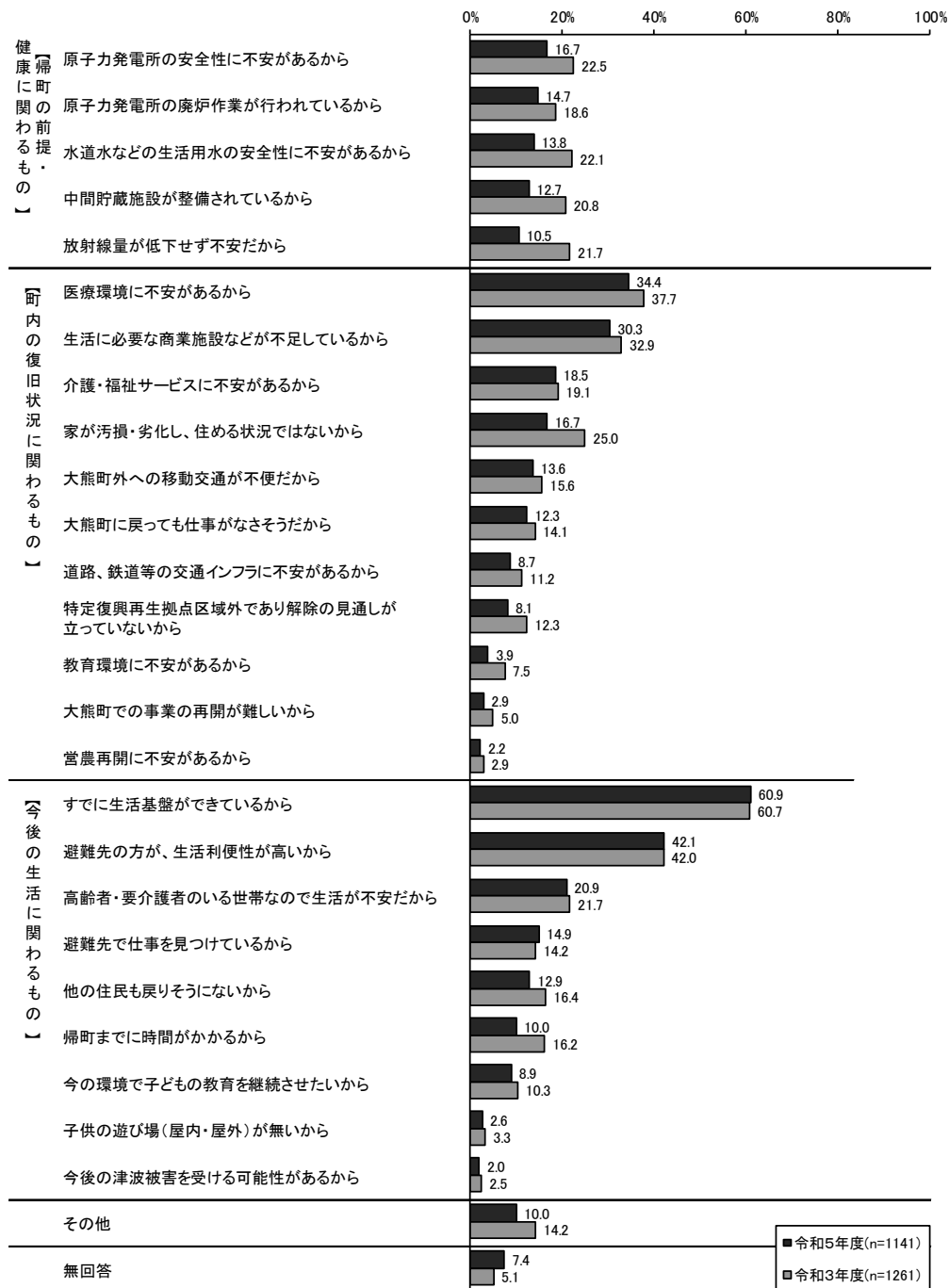


※問 12で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ  
 ※複数回答可

2-2-8 大熊町に戻らないと決めている理由（問 18-1）

大熊町に戻らないと決めている理由については、「すでに生活基盤ができているから」が60.9%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が42.1%、「医療環境に不安があるから」が34.4%となっている。

<図表2-2-8 大熊町に戻らないと決めている理由>



※問 12で「戻らないと決めている」と回答した方のみ  
 ※複数選択可



### **III 調査結果（全項目）**

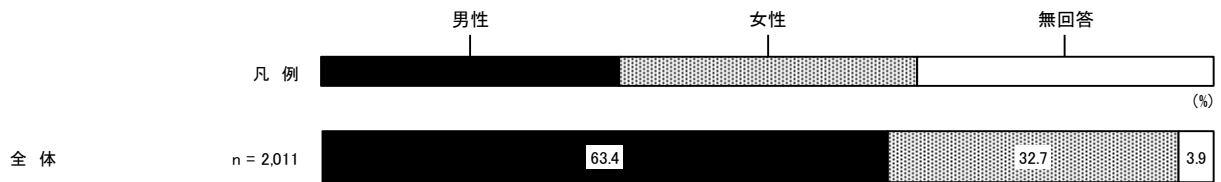


### 3-1 回答者の属性

#### 3-1-1 性別

問1 性別を教えてください。（〇は1つ）

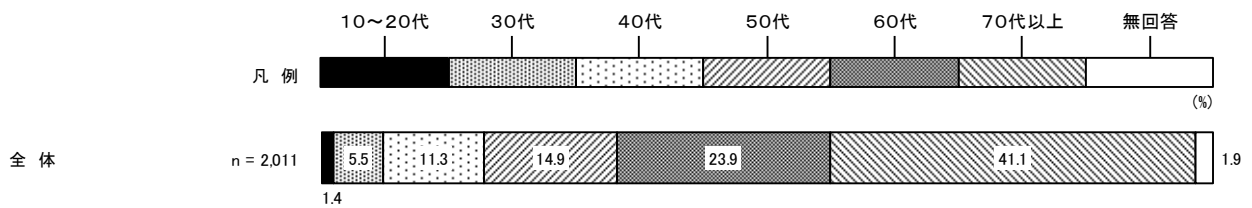
<図表3-1-1 性別>



#### 3-1-2 年齢

問2 あなたの現在の年齢を教えてください。（〇は1つ）

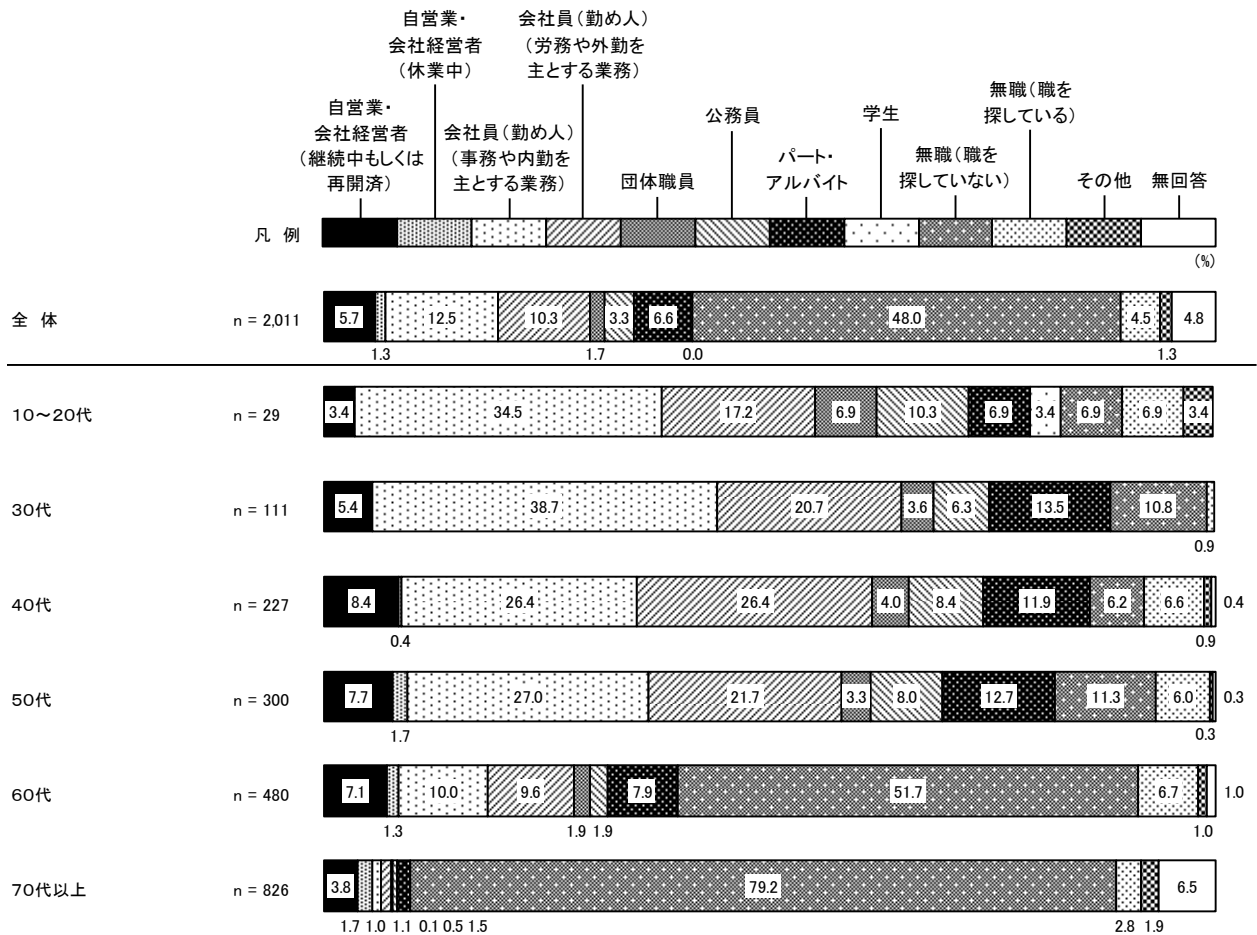
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問3 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。  
 (1) 職業（就業形態）(○は1つ)

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>

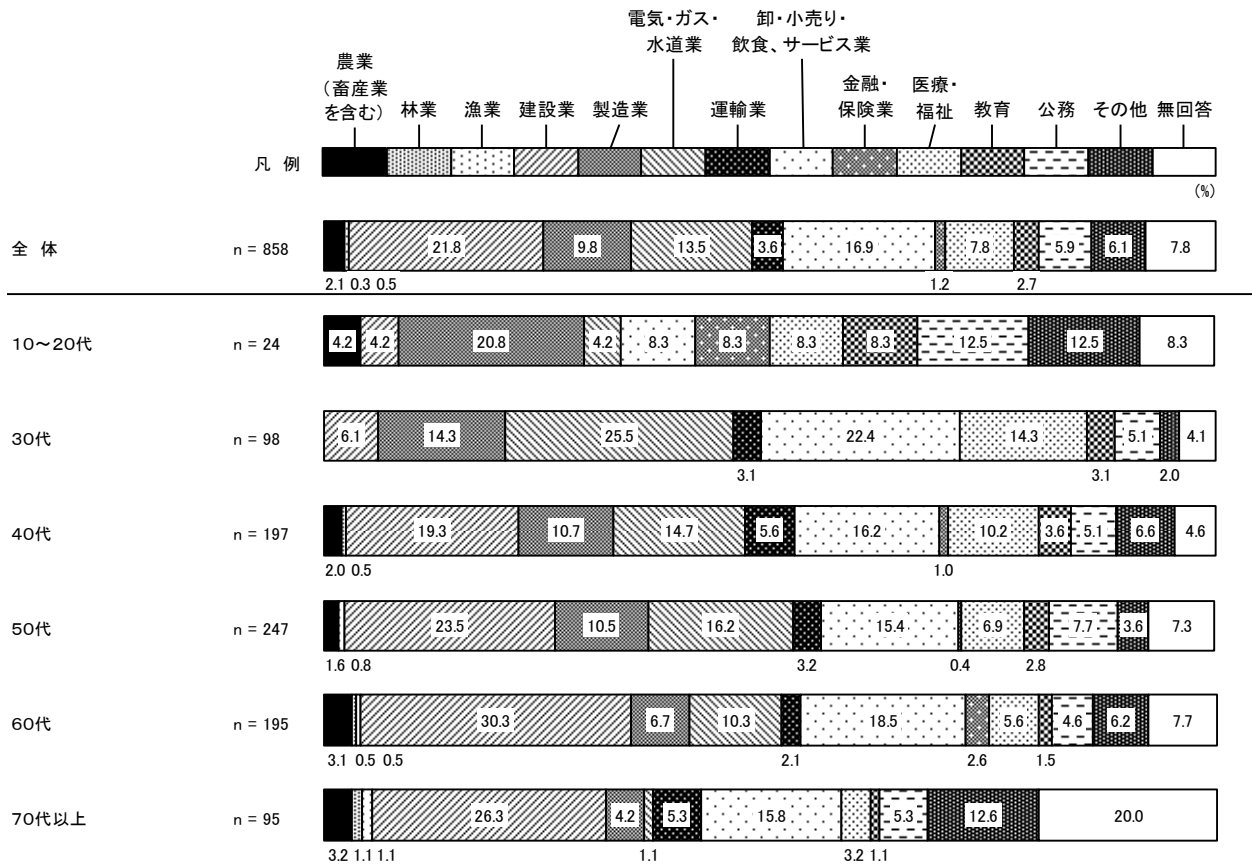


3-1-4 現在の業種

【仕事に就いている方（\*問3（1）で「1」から「7」までと、「11」と回答した方）にうかがいます。】  
 問3 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。  
 (2) 業種（〇は1つ）

- \*問3（1）：1. 自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）      2. 自営業・会社経営者（休業中）  
 3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）      4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）  
 5. 団体職員      6. 公務員  
 7. パート・アルバイト      11. その他

<図表3-1-4 現在の業種（年齢別）>

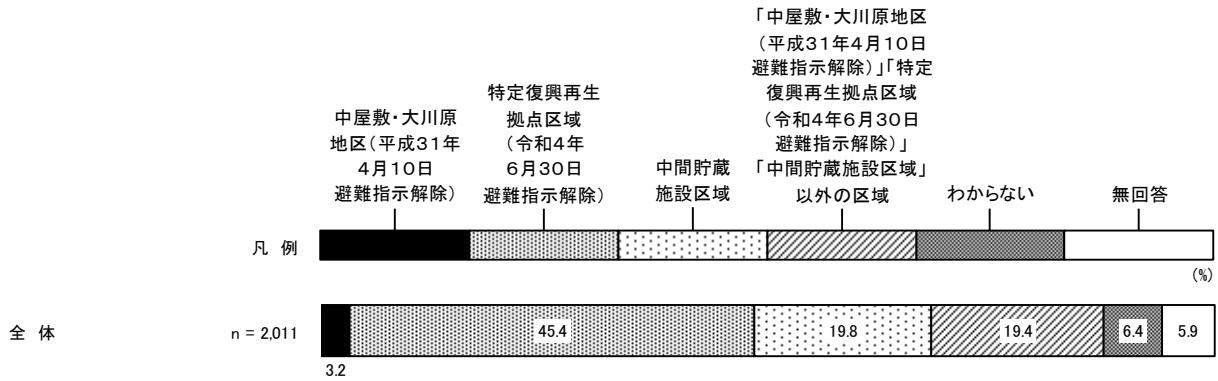


### 3-2 東日本大震災発生時の状況

#### 3-2-1 震災発生当時の住まいの区域

問4-1 震災発生当時のお住まいが、現在以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。（〇は1つ）

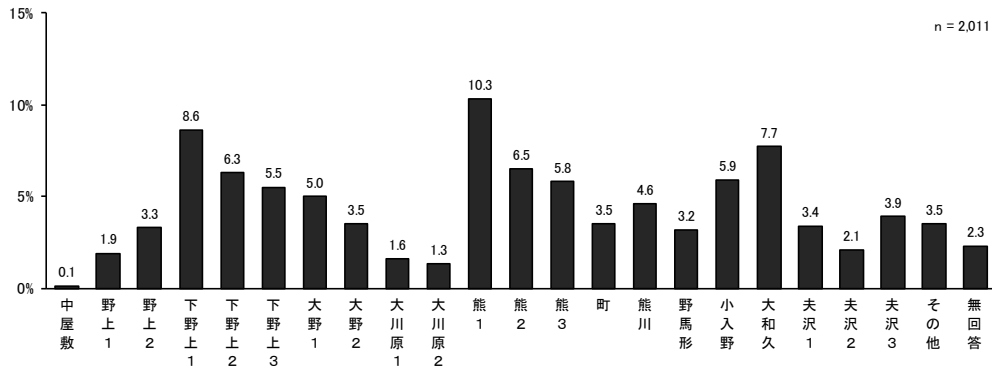
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの区域>



#### 3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区

問4-2 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（〇は1つ）

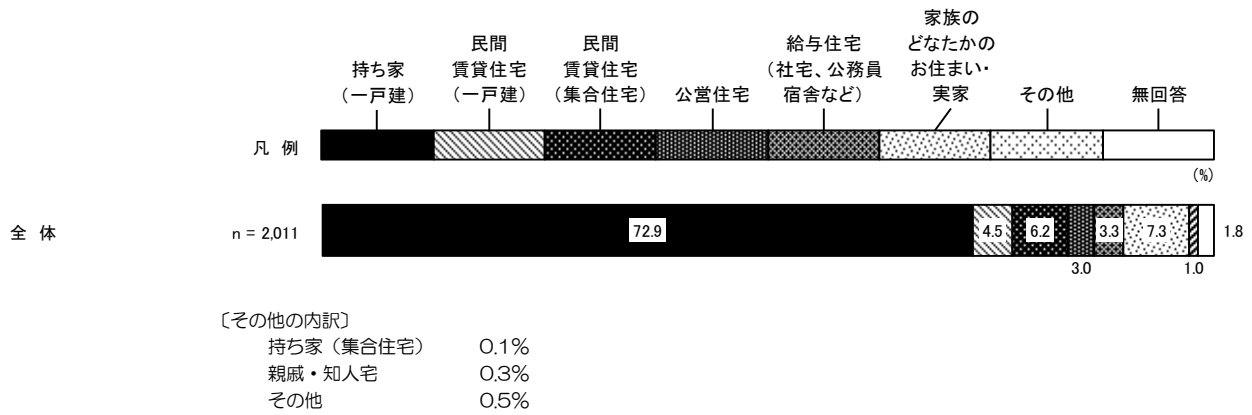
<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区>



### 3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような住居形態でしたか。（〇は1つ）

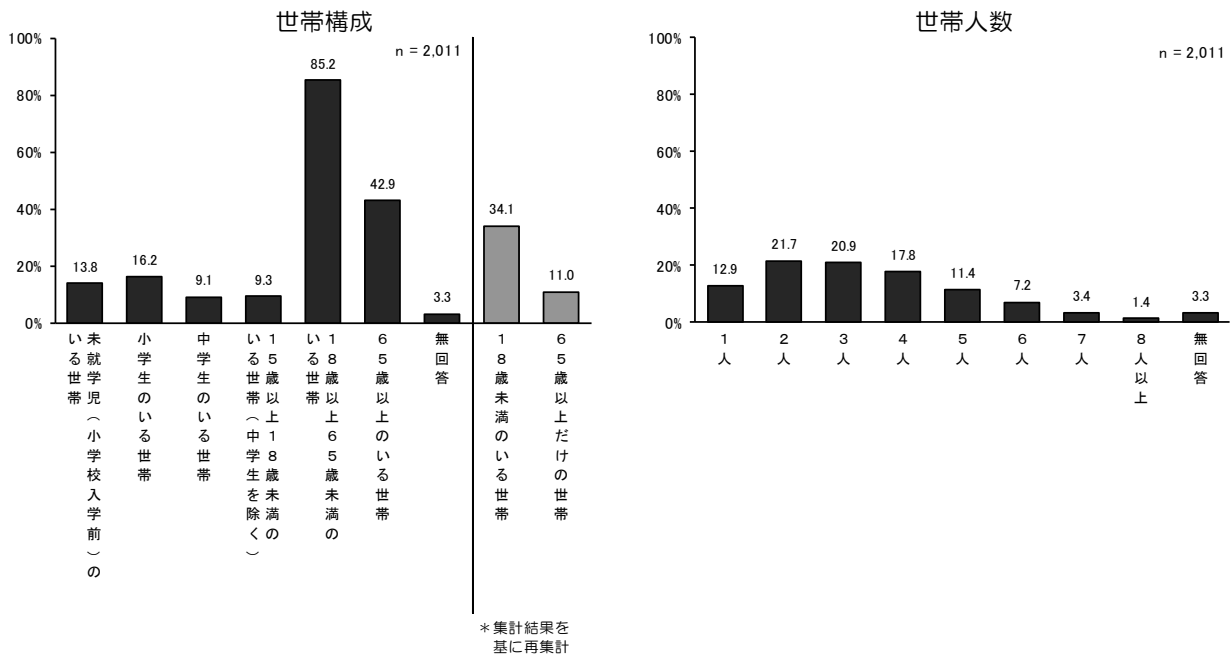
<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



### 3-2-4 震災発生当時の世帯構成・人数

問6 震災発生当時の世帯構成についてうかがいます。震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-2-4 震災発生当時の世帯構成・人数>

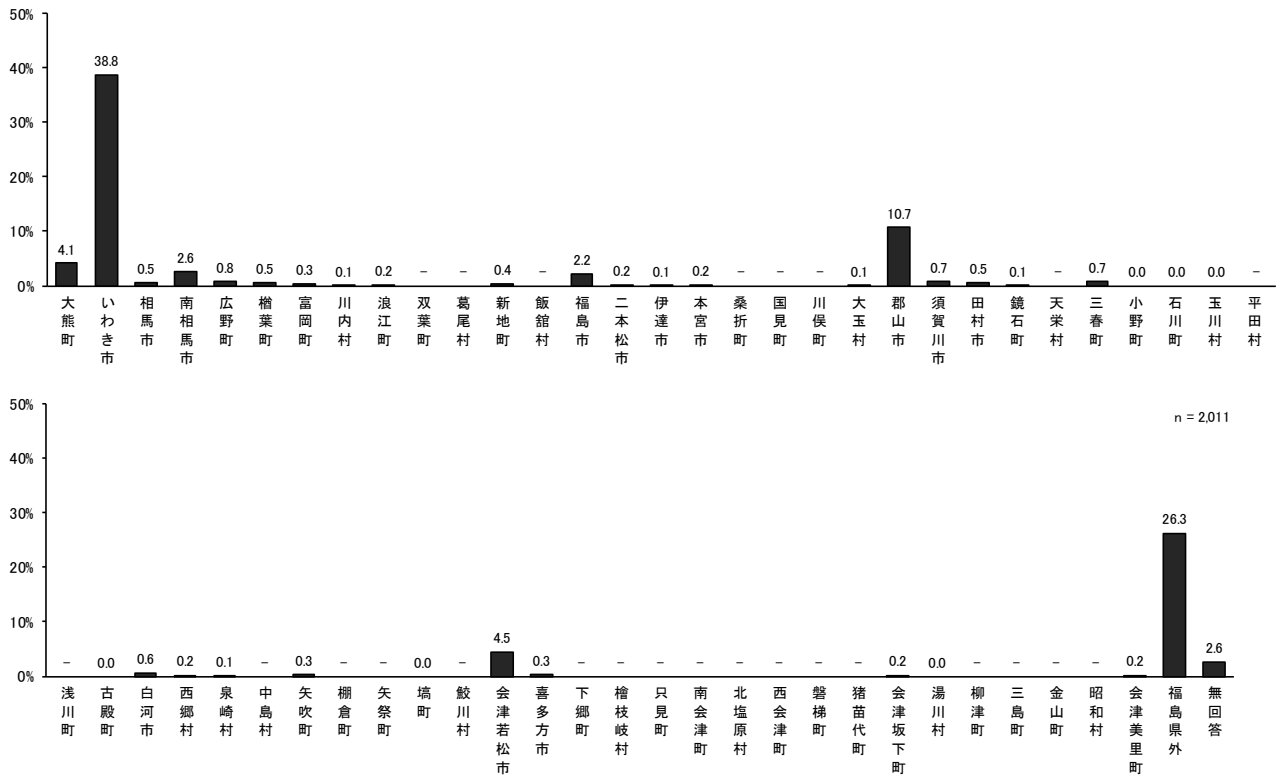


### 3-3 現在の状況

#### 3-3-1 現在の居住自治体

問7 現在お住まいの自治体を教えてください。（〇は1つ）

<図3-3-1 現在の居住自治体>

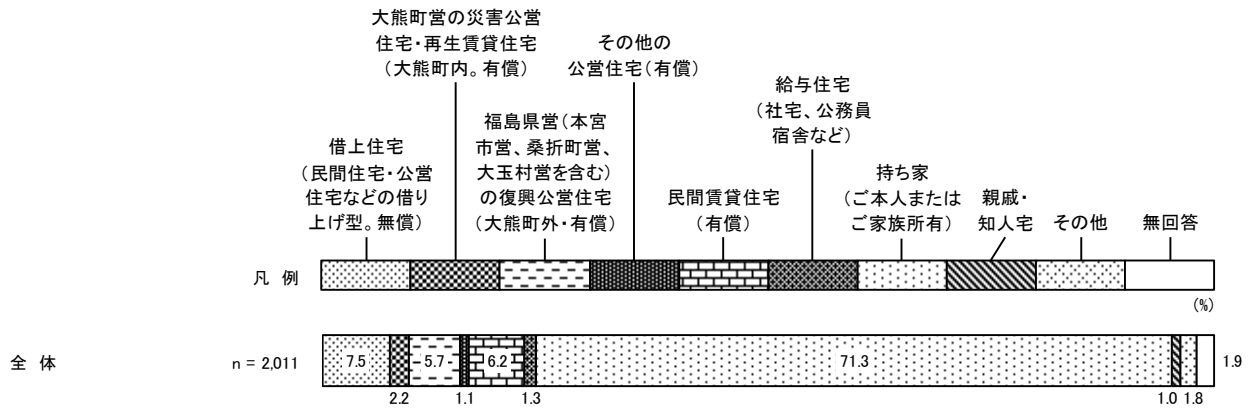




### 3-3-2 現在の住居形態

問8 現在お住まいになっている住宅は、どのような住居形態ですか。（〇は1つ）

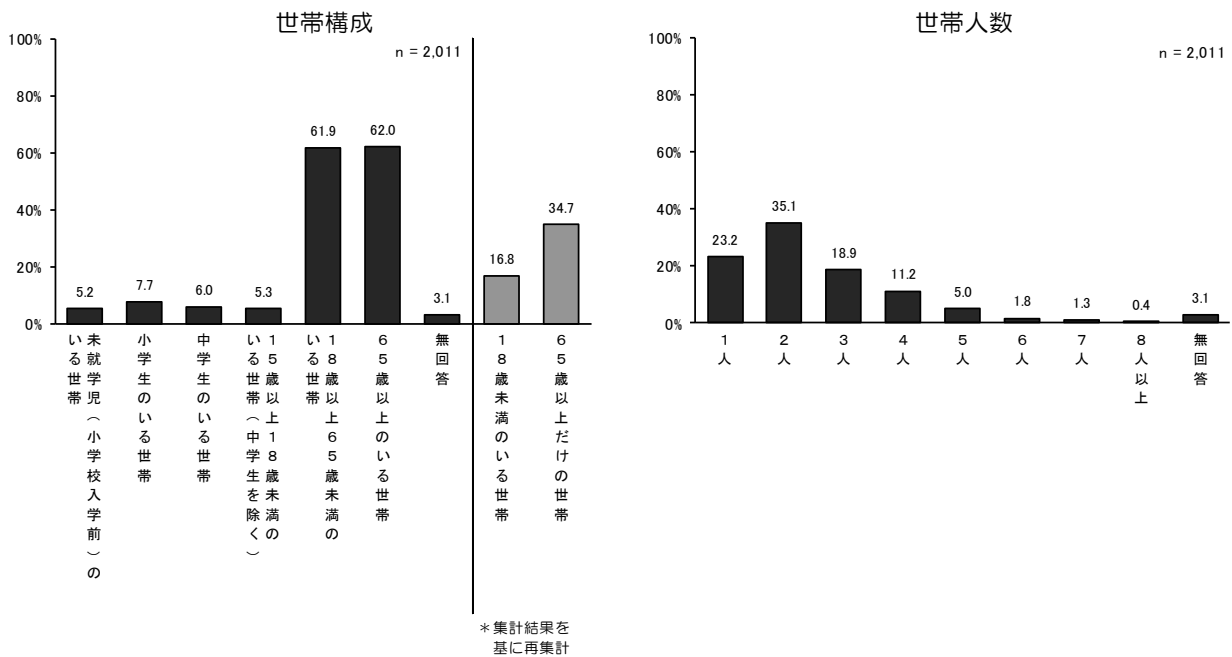
<図表3-3-2 現在の住居形態>



### 3-3-3 現在の世帯構成・人数

問9 現在の世帯構成についてうかがいます。現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-3-3 現在の世帯構成・人数>

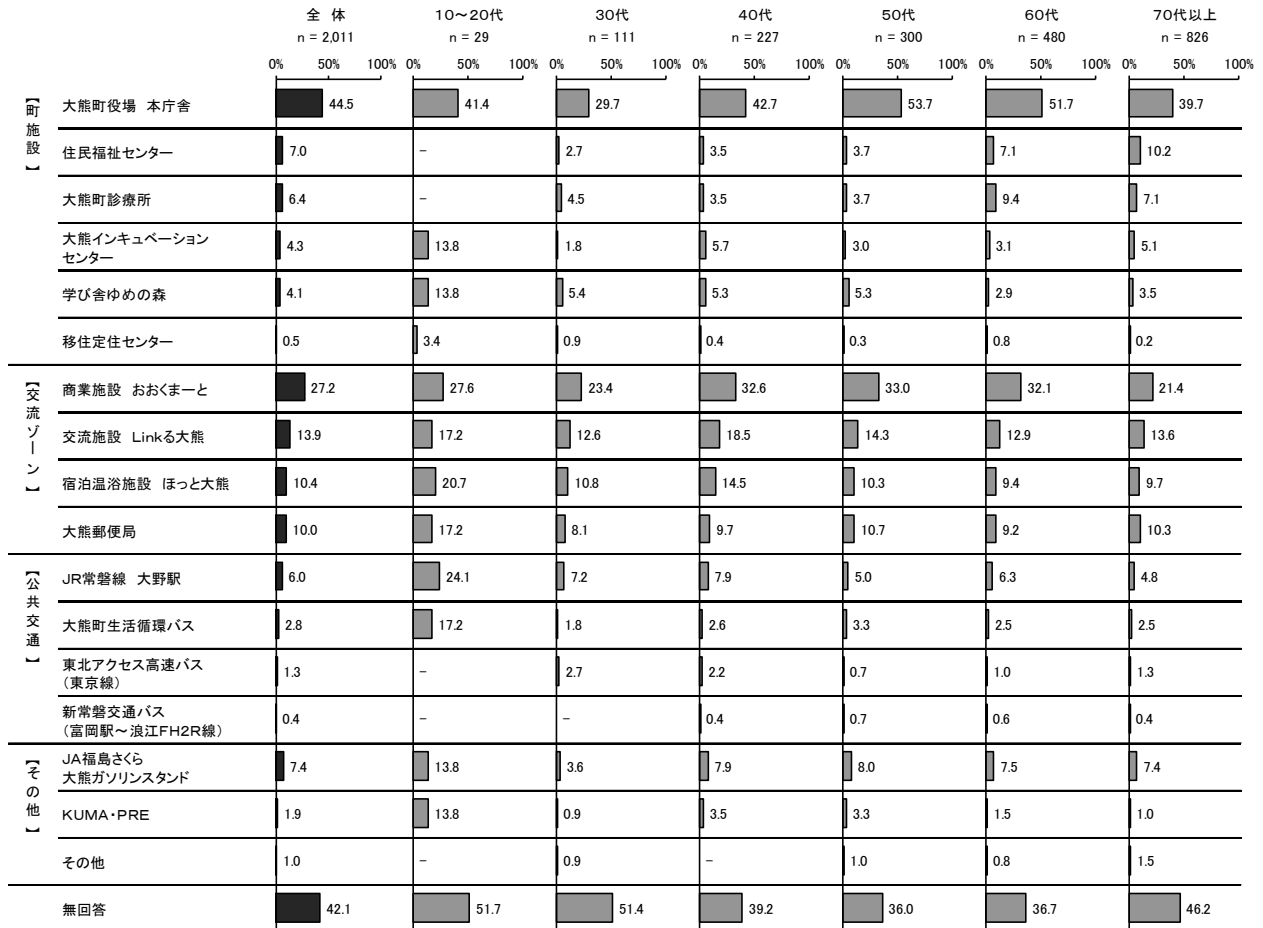


### 3-4 この1年の大熊町内の活動

#### 3-4-1 利用した町内の施設・サービス

問10 町内の施設、サービス等で利用したものがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

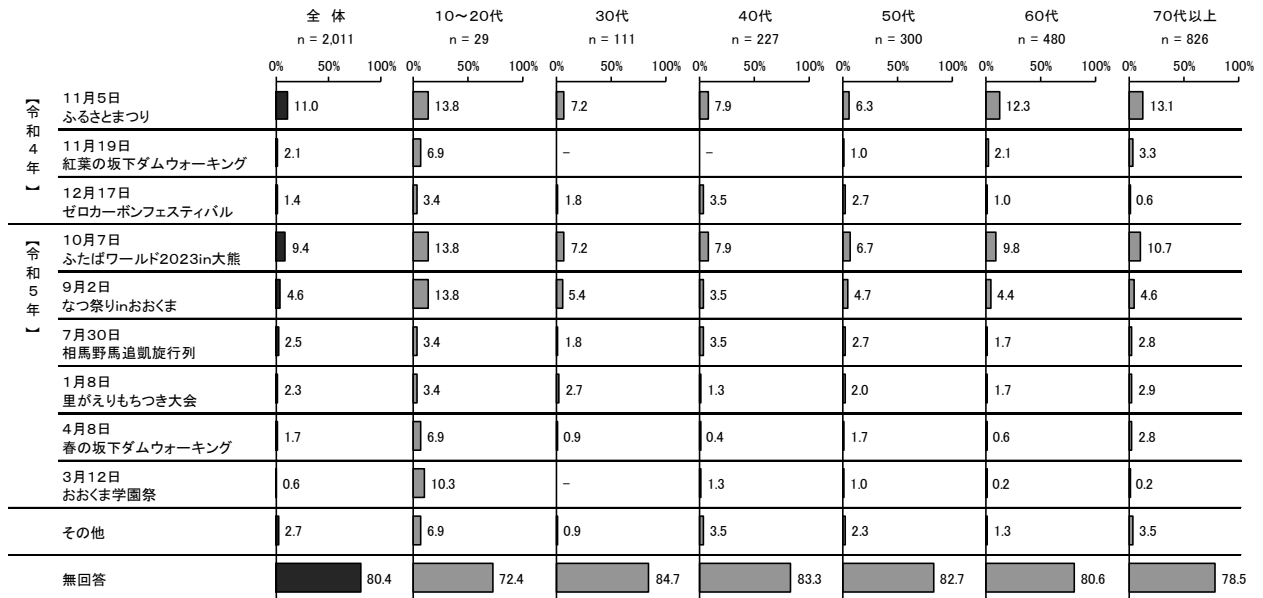
<図表3-4-1 利用した町内の施設・サービス（年齢別）>



### 3-4-2 参加した町内開催のイベント

問 1 1 参加した町内開催のイベントがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-2 参加した町内開催のイベント（年齢別）>

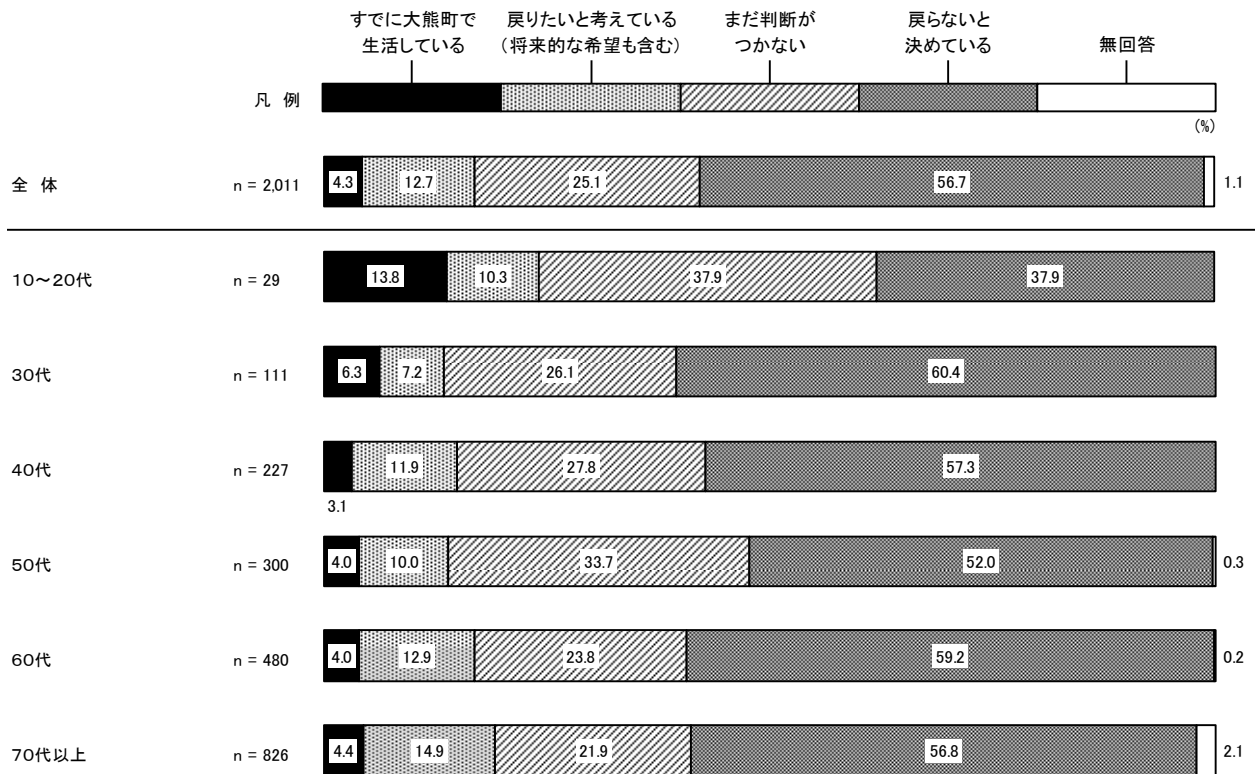


### 3-5 将来の意向

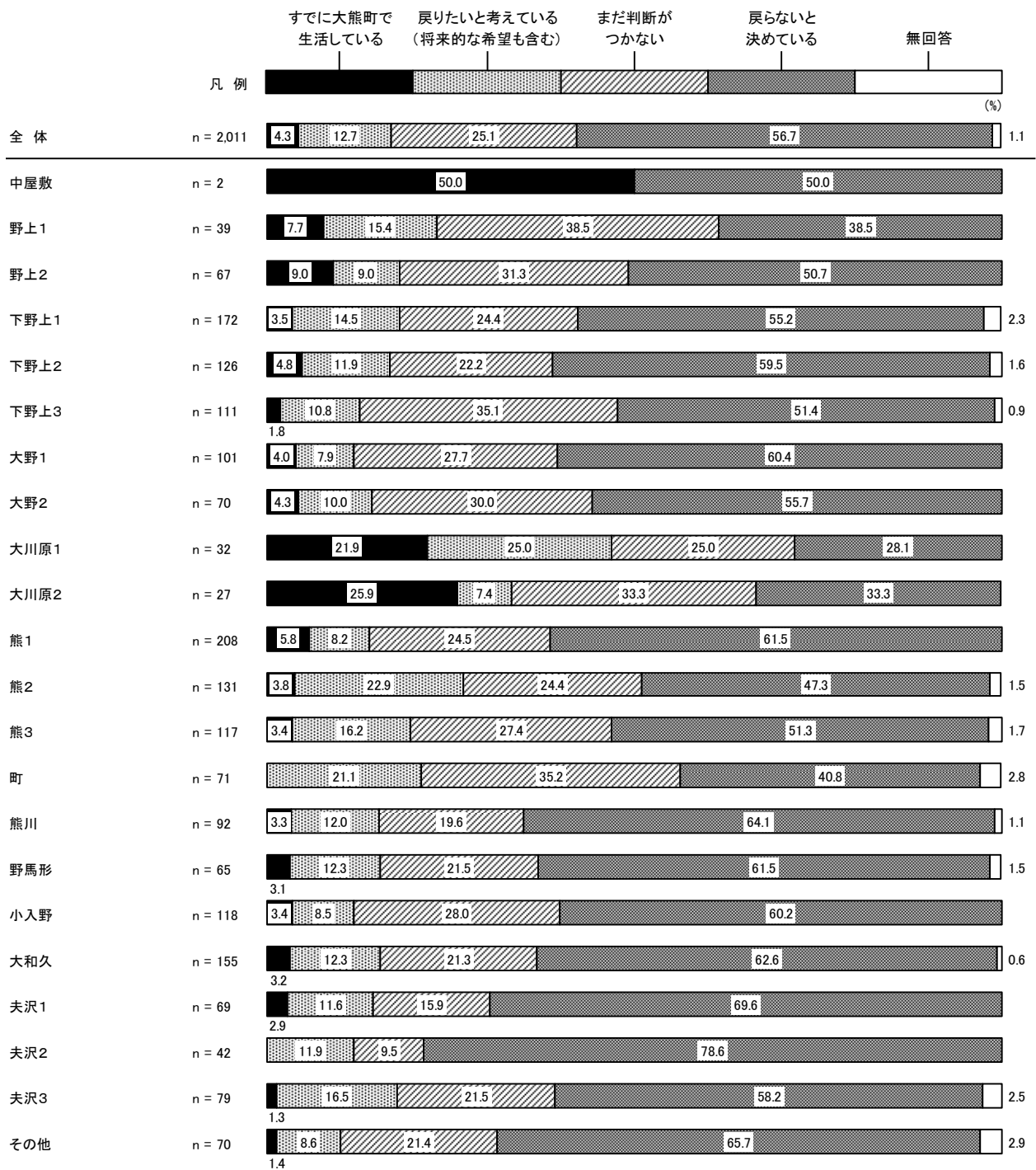
#### 3-5-1 大熊町への帰町意向

問12 今後、大熊町への帰町について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

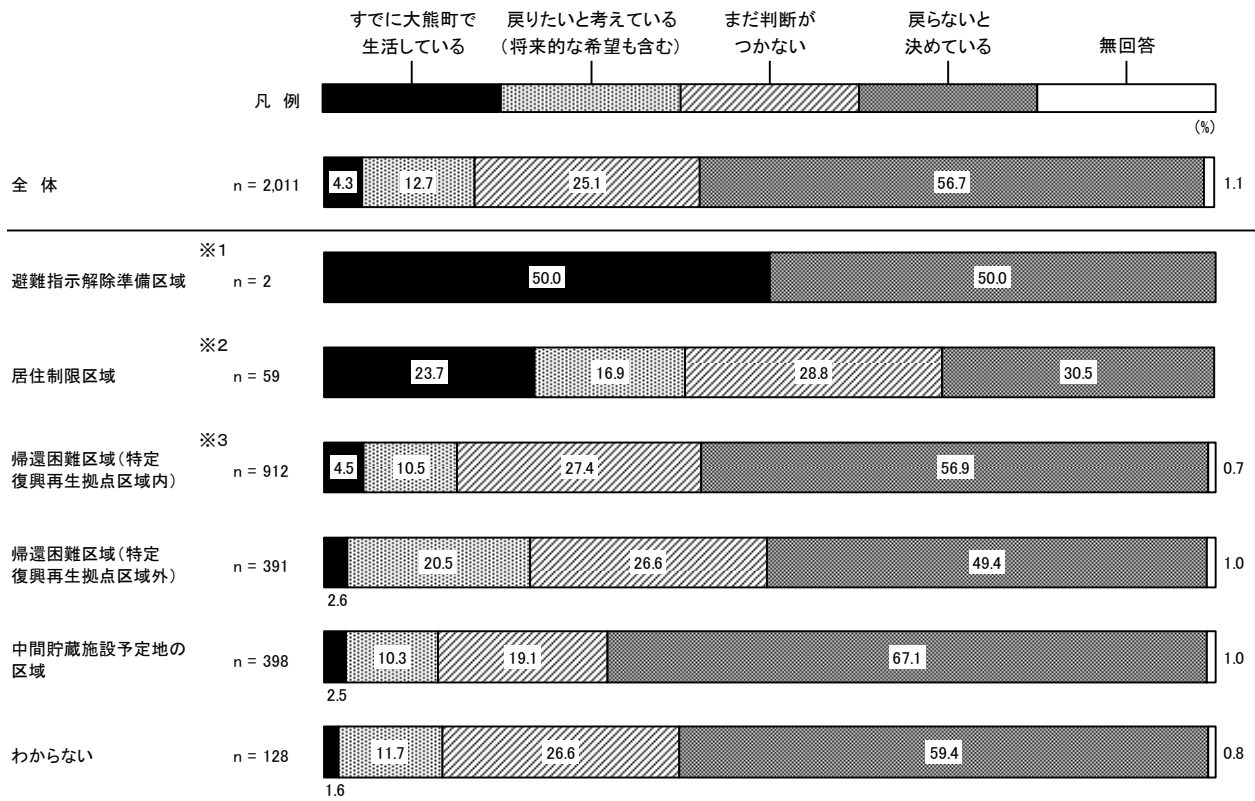
<図表3-5-1-1 大熊町への帰町意向（年齢別）>



<図表3-5-1-2 大熊町への帰町意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表3-5-1-3 大熊町への帰町意向（避難指示区域別）>



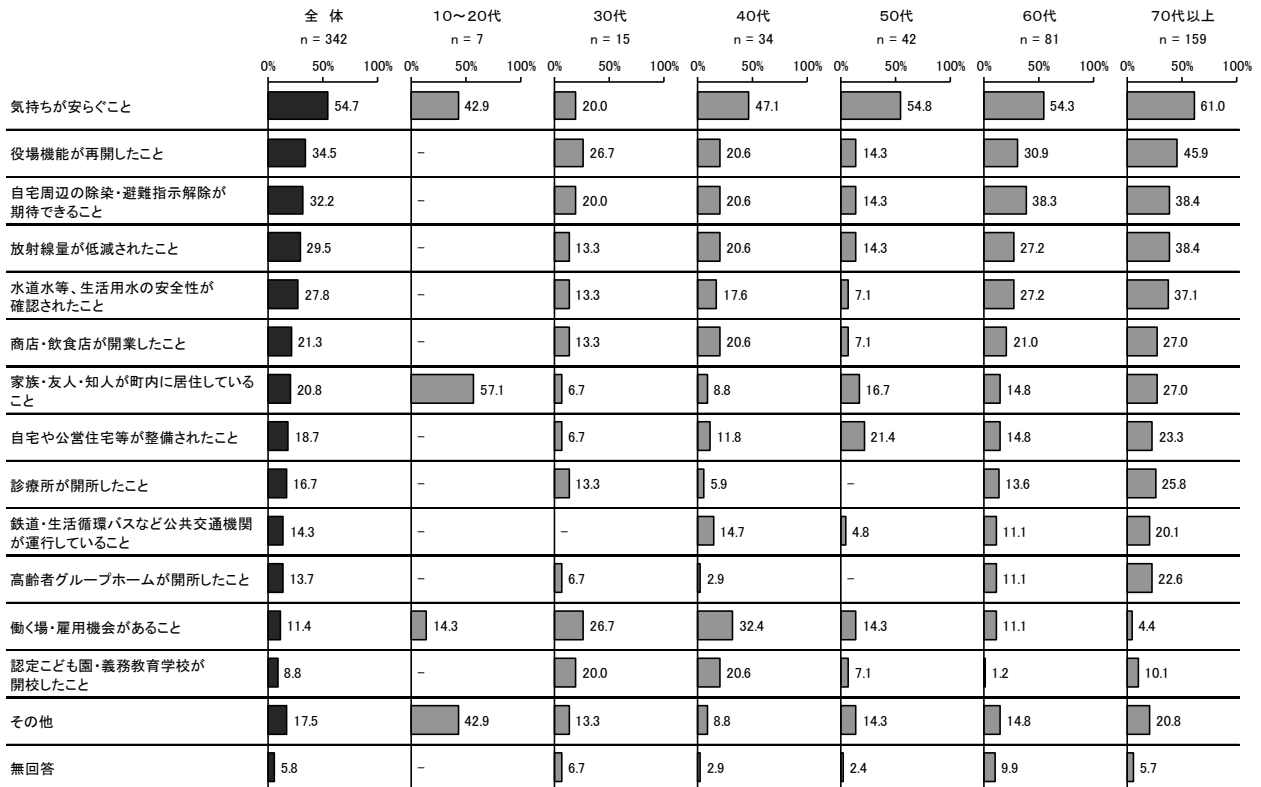
※1 平成31年4月10日に避難指示解除済み  
 ※2 平成31年4月10日に避難指示解除済み  
 ※3 令和4年6月30日に避難指示解除済み

### 3-5-2 大熊町に戻ることを考えた理由

【問12で「1. すでに大熊町で生活している」「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問13-1 大熊町内に戻ることを考えた理由は、どのようなことですか。（〇はいくつでも）

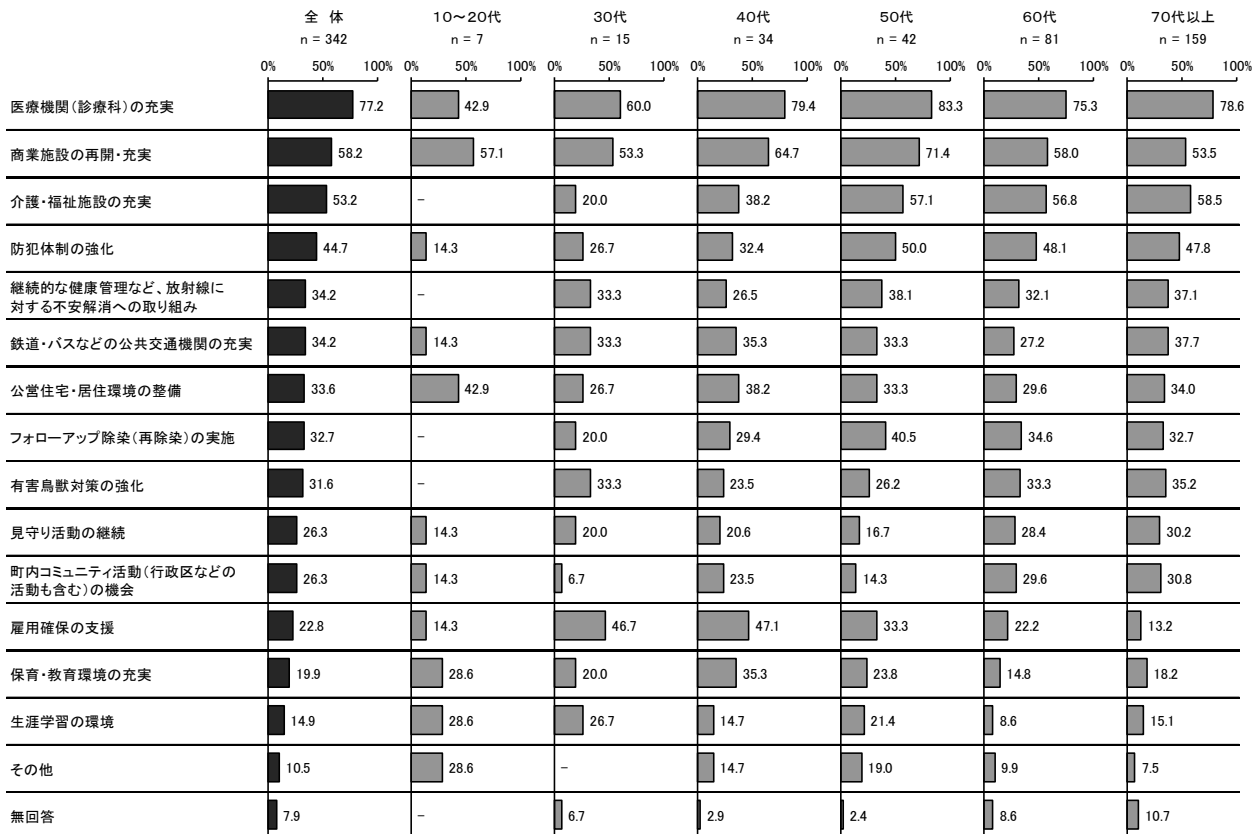
<図表3-5-2 大熊町に戻ることを考えた理由（年齢別）>



3-5-3 大熊町での今後の生活において必要だと感じていること

【問12で「1. すでに大熊町で生活している」「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にかがいます。】  
 問13-2 大熊町内での今後の生活において必要だと感じていることについて教えてください。（〇はいくつでも）  
 問13-3 問13-2で選択した「必要だと感じていること」のうち、特に必要と考えることについて、選択肢番号の欄に番号をご記入いただき、具体的なお考えや今後の期待、要望などがあればご自由にお書きください。（最大3つまで）

＜図表3-5-3 大熊町での今後の生活において必要だと感じていること（年齢別）＞



上位項目についての主な意見は以下の通り。

〔医療機関（診療科）の充実〕

- ・今はとても健康で、病気にかかることも中々ないのですが、いざ病気になった時に病院があると助かります。（10~20代）
- ・町内もしくは隣接市町村に、急患対応ができる施設が必要。（30代）
- ・耳鼻科、整形外科、小児科は必要だと思う。双葉郡全体の医療体制の充実を目指してほしい。（40代）
- ・大野病院の早期開院。（60代）
- ・戻りたいと考えている方は高齢者が多いので、医療の充実を望みます。（70代以上）

〔商業施設の再開・充実〕

- ・最低限、食べる・飲む・生活するに困らない商業環境になって欲しいです。（30代）
- ・生活必需品が町内で揃うこと。小さい店ではなく、大きめの店。イオンモール、コストコ。（40代）
- ・何件か店はあるが、居酒屋等コミュニケーションの場もほしい。（50代）
- ・食料品や衣類等の、生活に必要な店の拡充がないと、年齢が高い者は戻れない。（60代）
- ・震災前のイメージがあり、スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンターの充実を。（70代以上）



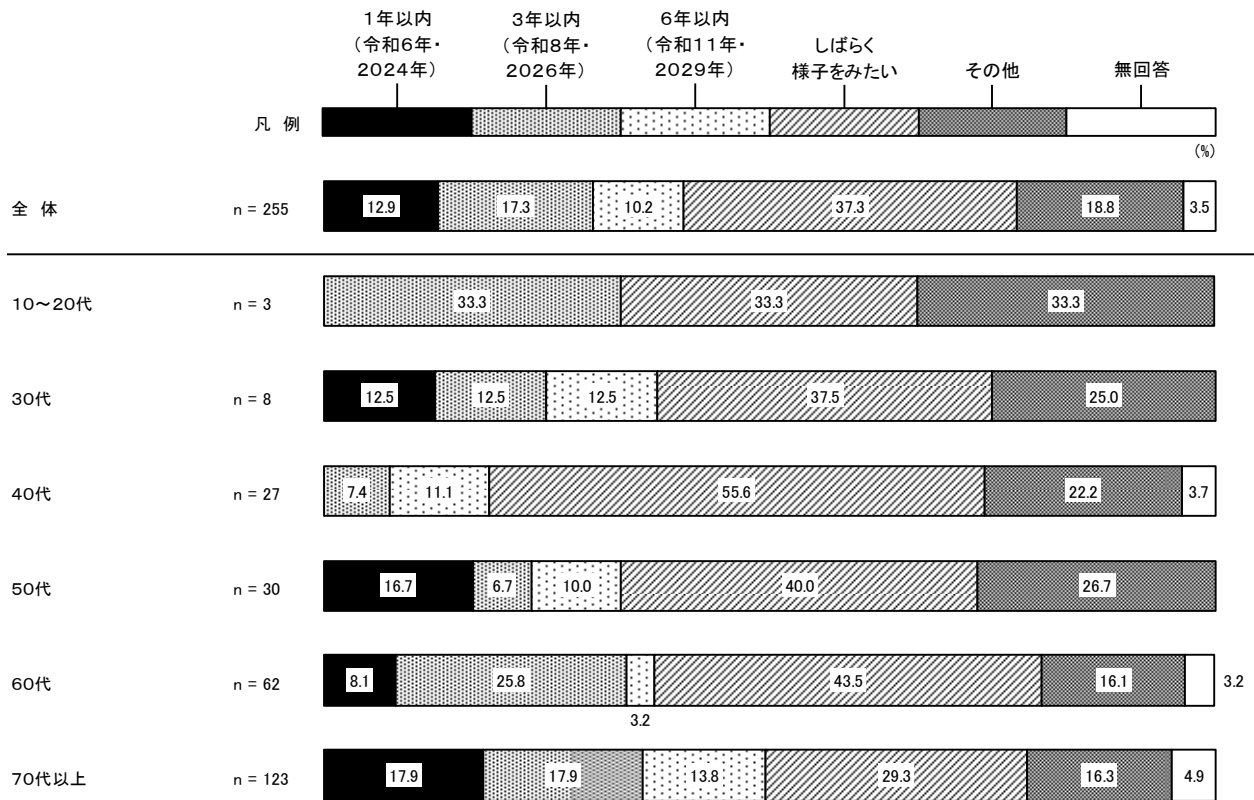
〔介護・福祉施設の充実〕

- 介護・福祉施設の利用も、いわき市がメインになってしまうので、大熊町または双葉郡内に充実してほしいです。（30代）
- 双葉郡内での特養、介護事業所を増やす。（50代）
- 帰還したい高齢者が多いので、介護・福祉施設を充実してほしい。（60代）
- 訪問介護の人材確保。特老等の施設の設置。（70代以上）
- 立派な施設があるのに、働く人がいない（足りない）というのは残念。働きやすい環境や賃金を設定して、意欲を持って働く人々を育てて欲しい。（70代以上）

3-5-4 大熊町への帰町時期

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。  
 問14-1 今後大熊町へ何年以内に戻りたいと考えていますか。（〇は1つ）

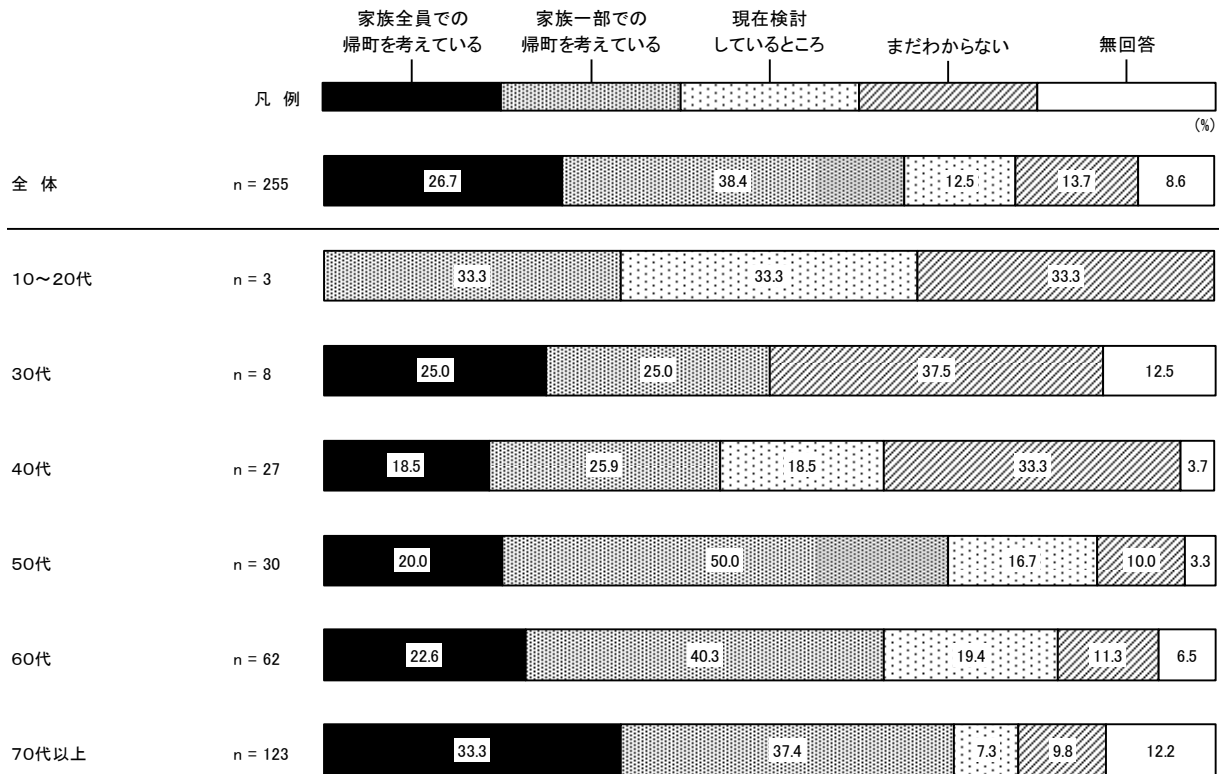
<図表3-5-4 大熊町への帰町時期（年齢別）>



### 3-5-5 大熊町へ帰町する場合の家族構成

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にかかっています。  
 問14-2 大熊町へ戻る場合に、家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-5 大熊町へ帰町する場合の家族構成（年齢別）>

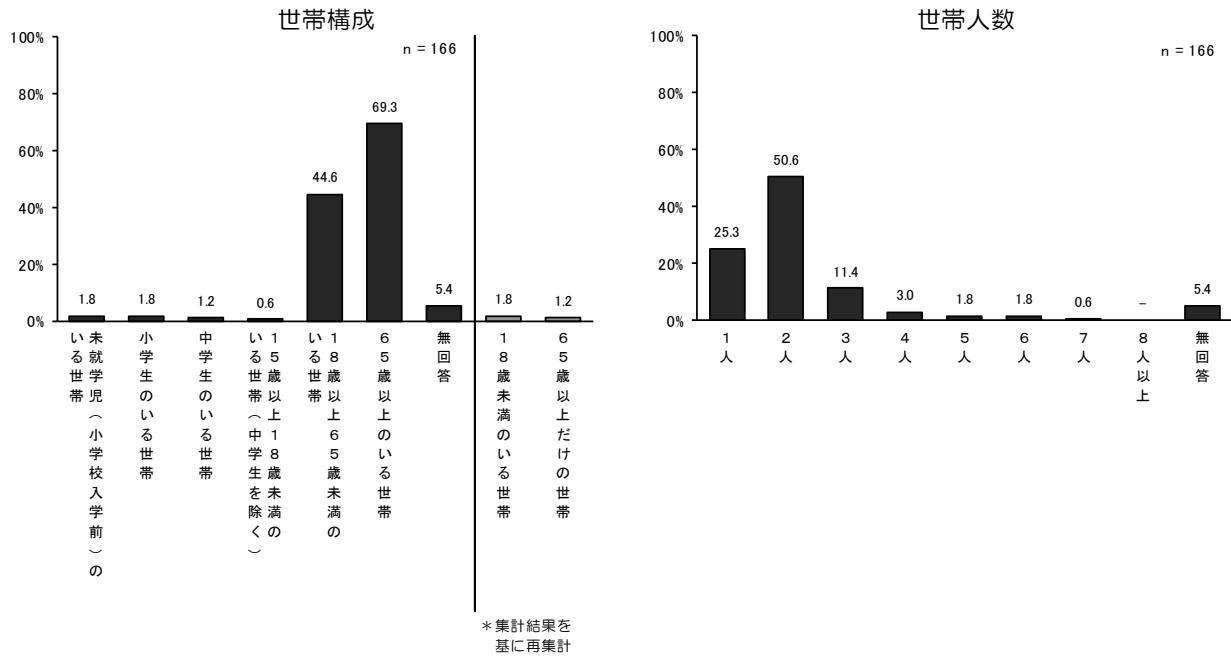


3-5-6 大熊町へ帰町した場合の世帯構成・人数

【問14-2で「1. 家族全員での帰町を考えている」「2. 家族一部での帰町を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問14-3 帰町した場合にどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて現在の年齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-5-6 大熊町へ帰町した場合の世帯構成・人数>

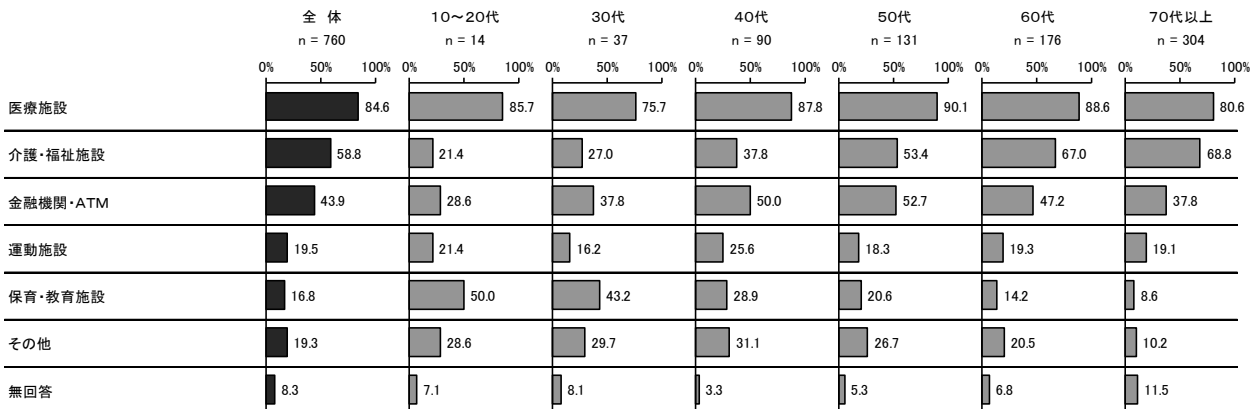


### 3-5-7 大熊町へ帰町した場合に今後の生活において必要な施設

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問15-1 大熊町に戻る場合に、今後の生活において特に必要・充実させるべきと考える施設を教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-5-7 大熊町へ帰町した場合に今後の生活において必要な施設（年齢別）>

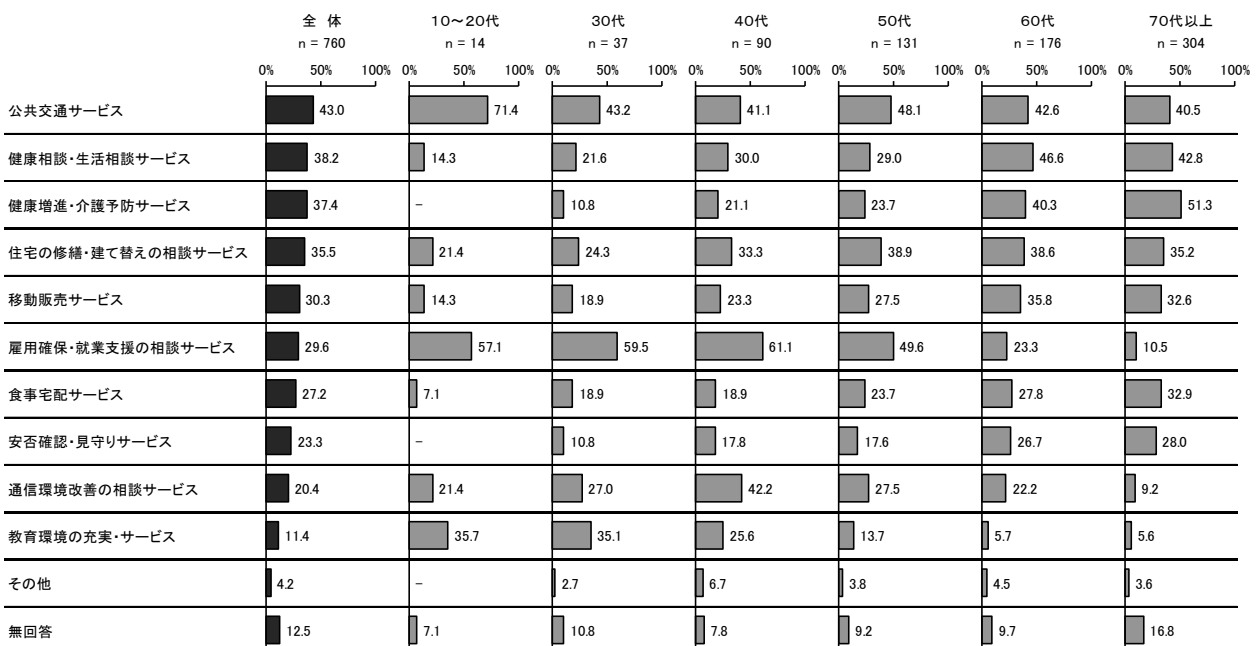


### 3-5-8 大熊町へ帰町した場合に必要なサービス

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問15-2 大熊町に戻る場合に、今後の生活において特に必要と考えるサービスを教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-5-8 大熊町へ帰町した場合に必要なサービス（年齢別）>

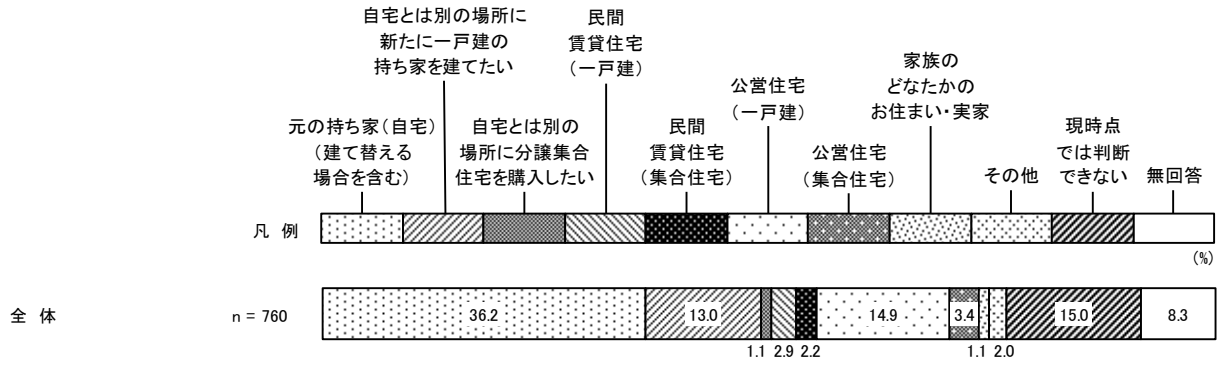


3-5-9 大熊町へ帰町した場合に希望する住居形態

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問15-3 大熊町に戻る場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-5-9 大熊町へ帰町した場合に希望する住居形態>



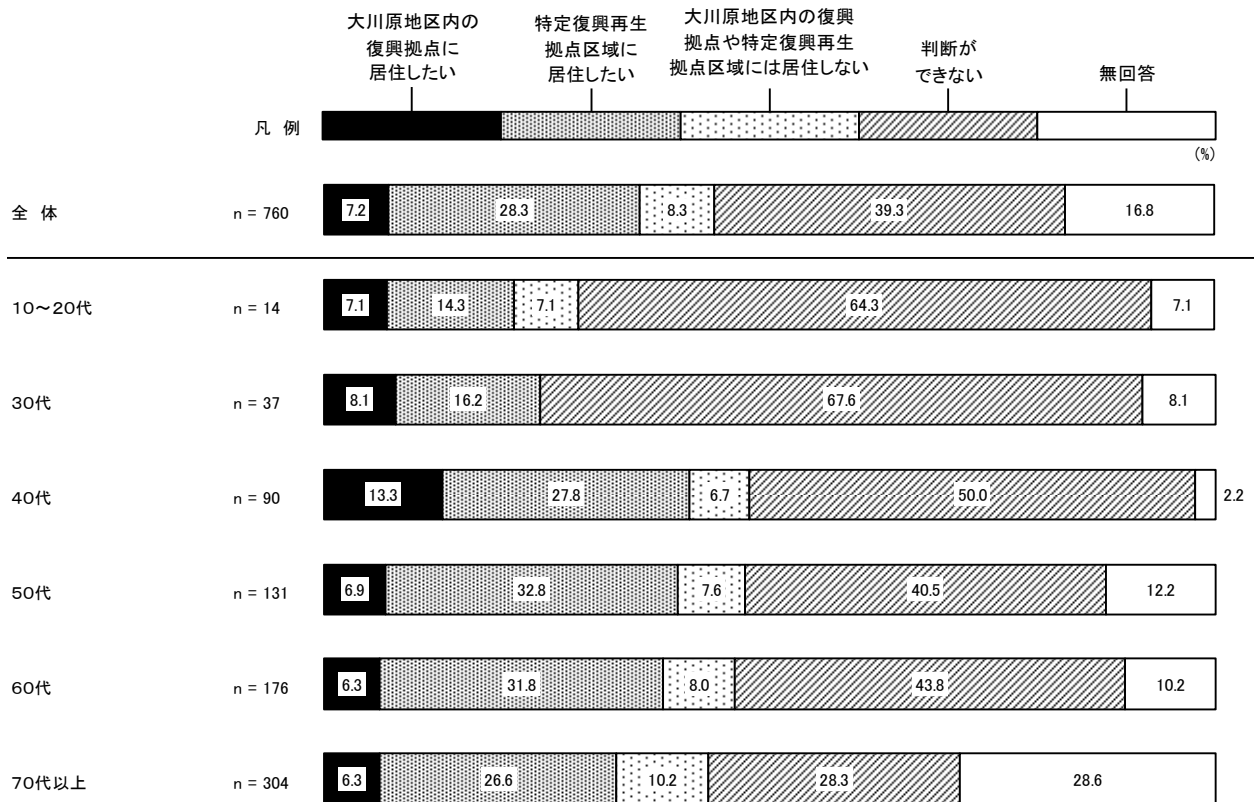
〔その他の内訳〕  
 給与住宅（社宅など） -  
 親戚・知人宅 0.1%  
 その他 1.8%

3-5-10 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域への居留意向

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

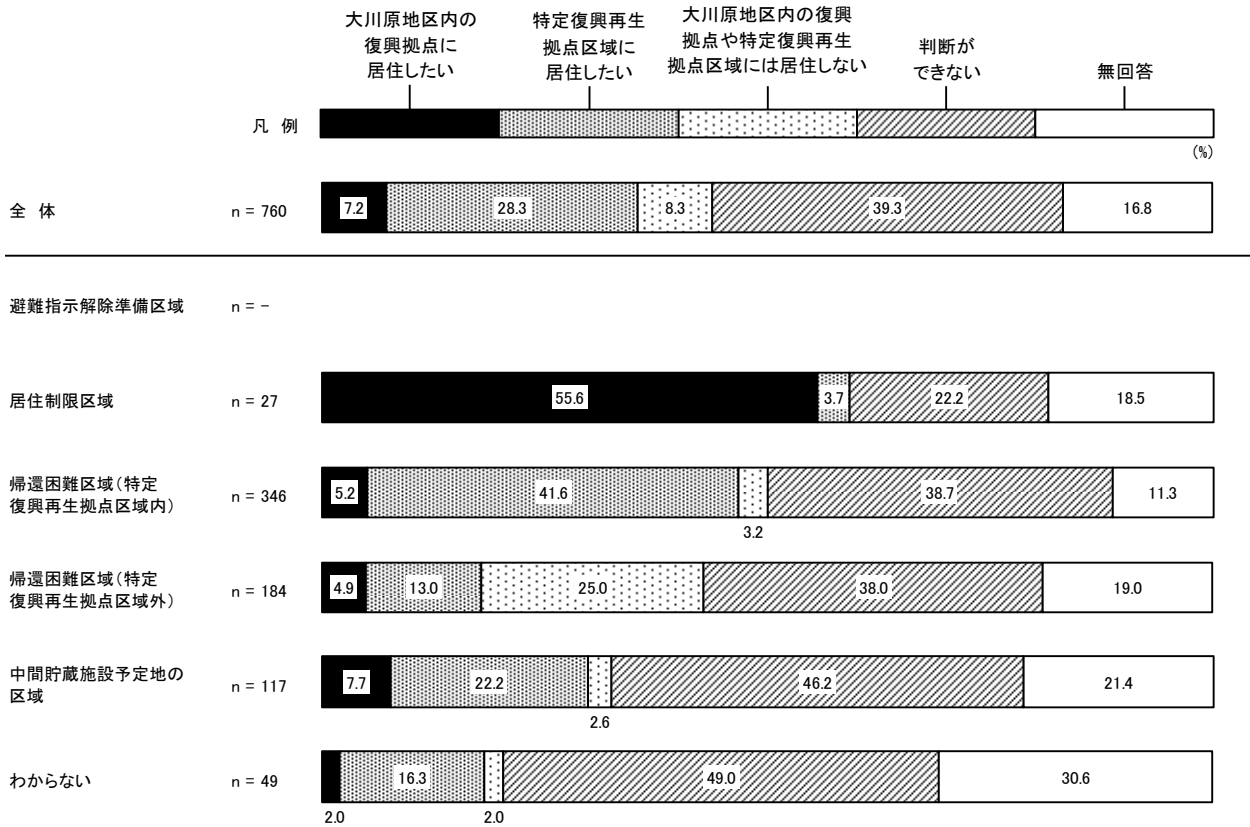
問15-4 大川原地区内の「復興拠点」や、JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

<図表3-5-10-1 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域への居留意向（年齢別）>



### III 調査結果（全項目）

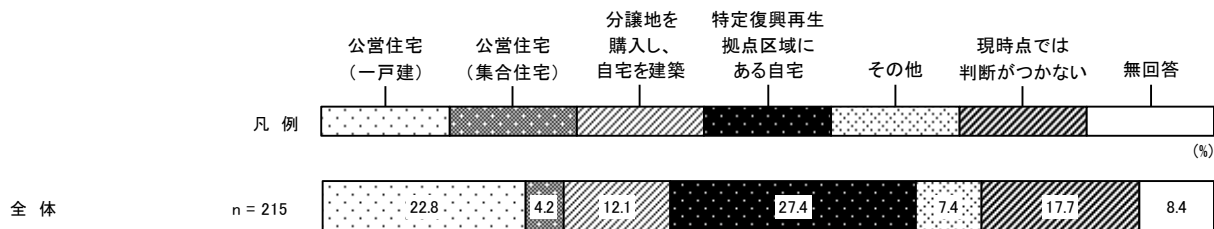
<図表3-5-10-2 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域への居住意向（避難指示区域別）>



### 3-5-11 特定復興再生拠点区域に希望する住居形態

【問15-4で「2. 特定復興再生拠点区域に住居したい」と回答した方にうかがいます。】  
 問15-5 JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」に、町により住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(〇は1つ)

<図表3-5-11 特定復興再生拠点区域に希望する住居形態>

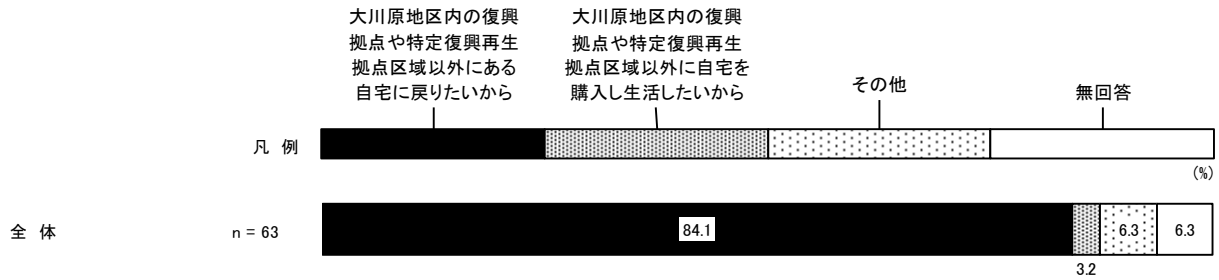




### 3-5-12 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域に居住しない理由

【問15-4で「3. 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域には居住しない」と回答した方にうかがいます。】  
 問15-6 大川原地区内の「復興拠点」や、JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」に居住しない理由はどのようなことですか。（〇は1つ）

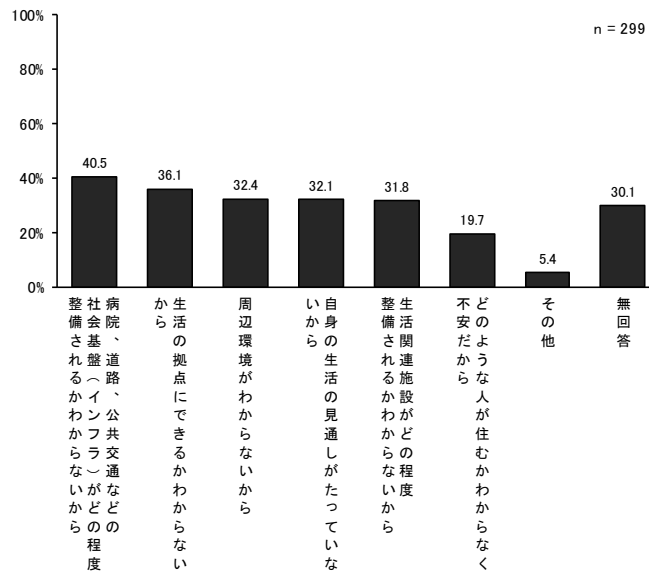
＜図表3-5-12 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域に居住しない理由＞



### 3-5-13 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域への居住を判断できない理由

【問15-4で「4. 判断ができない」と回答した方にうかがいます。】  
 問15-7 大川原地区内の「復興拠点」や、JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」への居住について、現時点で判断ができない理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

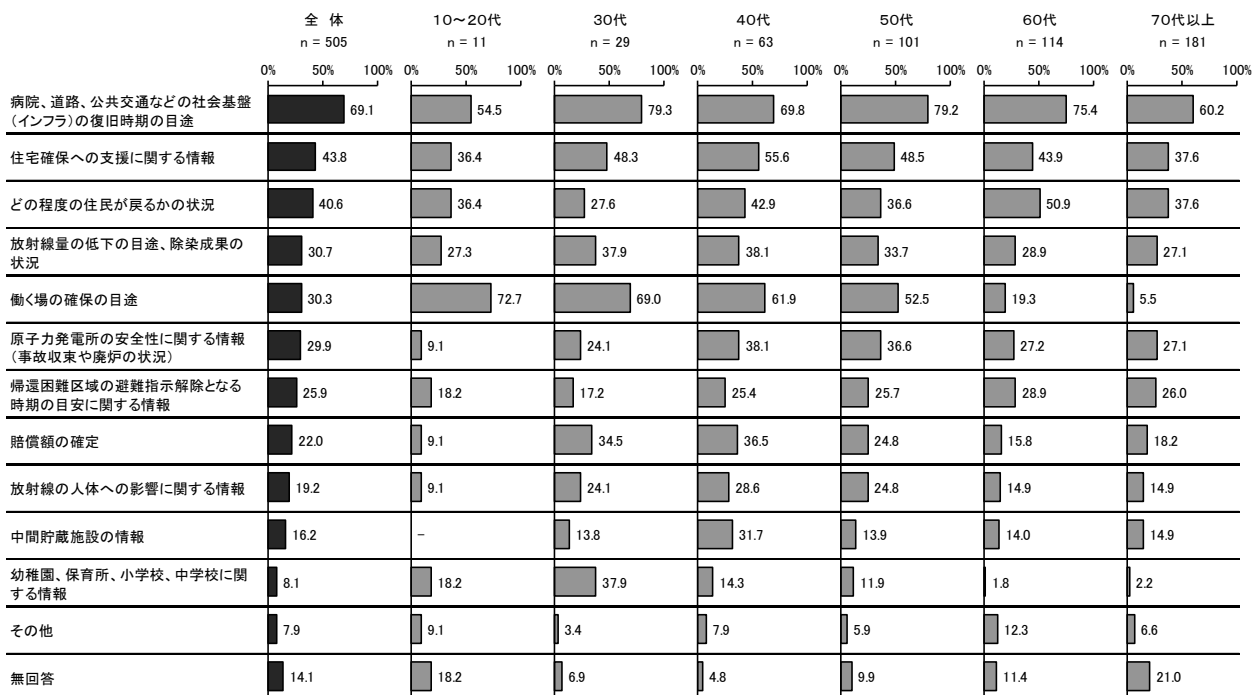
＜図表3-5-13 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域への居住を判断できない理由＞



3-5-14 大熊町への帰町を判断するために必要なこと

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】  
 問16-1 大熊町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。（〇はいくつでも）  
 問16-2 問16-1で選択した「必要なこと」のうち、特に必要と考えることについて選択肢番号の欄に番号をご記入いただき、具体的なお考えや今後の期待、要望などがあればご自由にお書きください。（最大3つまで）

<図表3-5-14 大熊町への帰町を判断するために必要なこと（年齢別）>



上位項目についての主な意見は以下の通り。

〔病院、道路、公共交通などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の目途〕

- ・社会基盤が整備された現在の住環境（＝避難先）と、比較対象にすら立てないのが町の現状と考える。時期だけでなく、規模感など優位性をアピールしてほしい。（30代）
- ・バス等の本数を増してほしい。（40代）
- ・障害者の通える病院、施設などが町にない。（50代）
- ・総合病院が必要とされます。（60代）
- ・高齢化に伴う社会福祉の充実。（70代以上）

〔住宅確保への支援に関する情報〕

- ・住みたいと思っても、住む場所があるかどうか分からないので、きちんとした情報が知りたい。（30代）
- ・現在、町内の様子がわからず、住宅もどの程度あるのかわかりません。今後、自分でも調べようとは思っていますが、借家、公営住宅の整備の情報を発信していただきたいです（ペットがいるため、ペット可の住宅が欲しいです）。（40代）
- ・住宅の価格、支援内容。（50代）
- ・住宅確保のための支援がどのような感じか、全く情報に入ってこない。（50代）
- ・自宅を修繕するにしても建て替える場合にしても、大変な金額がかかるので難しいと思う。帰れるようになるまでに一人になってしまう可能性もあるので、その場合は公営賃貸でも良いかと思っている。（70代以上）

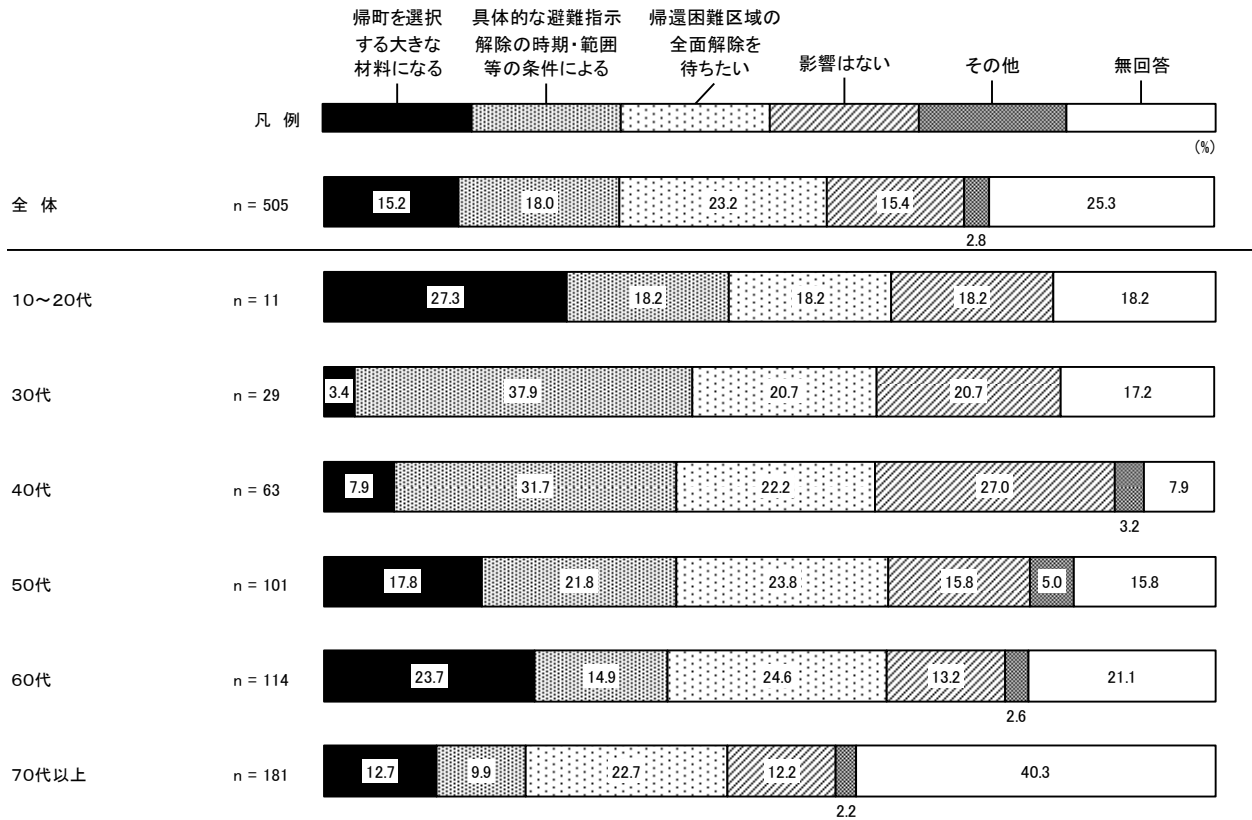
〔どの程度の住民が戻るかの状況〕

- 少人数の帰還は不安になることが多いので、情報は必要。（４０代）
- 人と人との繋がりのない場所では、住む事が苦痛。（６０代）
- 近所で戻る人がいるかの確認。（６０代）
- 高齢者２人で戻って暮らすには、病気、話し相手等人間関係で助け合いが必要。（６０代）
- 見知らぬ人の集まりは不安。（７０代以上）

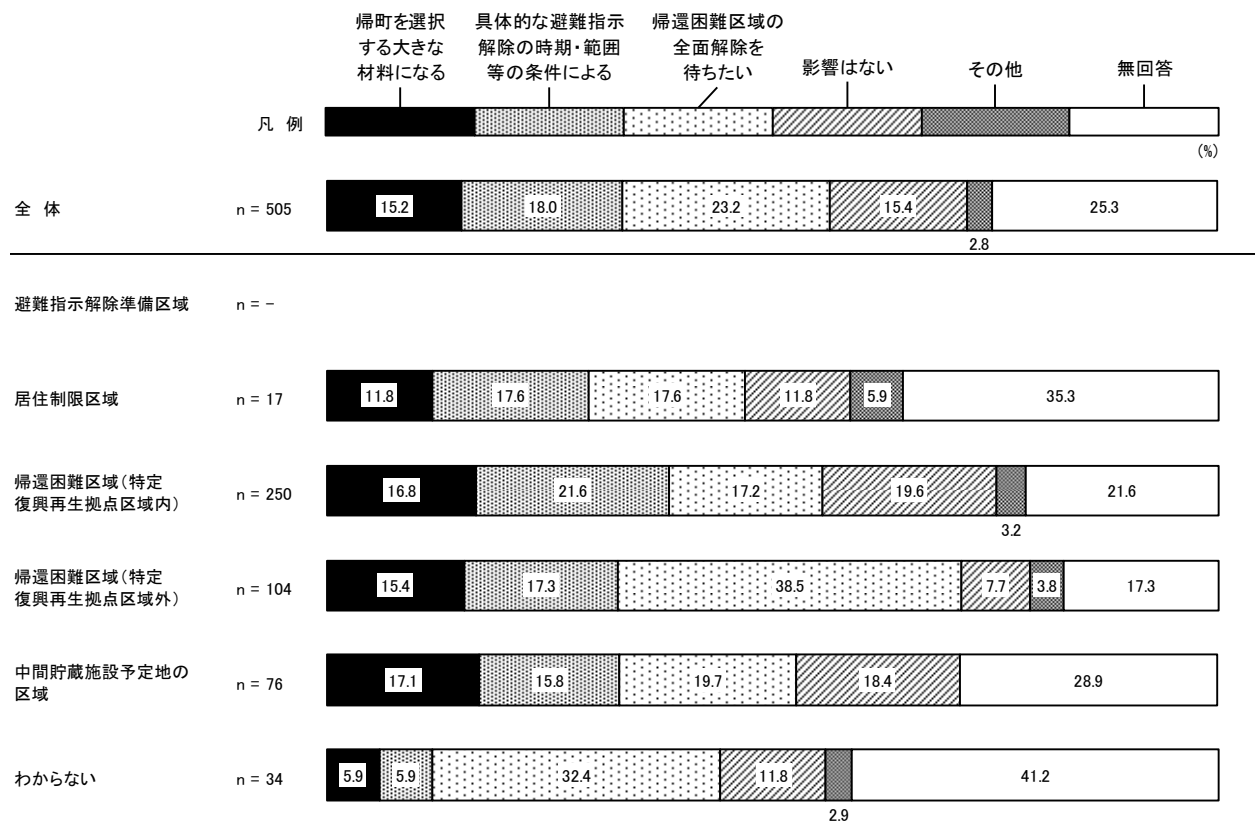
3-5-15 特定復興再生拠点区域外に関する国の方針について帰町の判断への影響

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】  
 問16-3 特定復興再生拠点区域外の避難指示解除について、「2020年代をかけて、帰還意向のある住民が帰還できるよう、避難指示解除の取組を進めていく」との国の方針が示され、特定帰還居住区域が設定されることになりました。今後、特定帰還居住区域では生活圏の除染など、避難指示解除に向けた取り組みを進めてまいります。この動きは帰町への判断に影響がありますか。（〇は1つ）

<図表3-5-15-1 特定復興再生拠点区域外に関する国の方針について帰町の判断への影響（年齢別）>



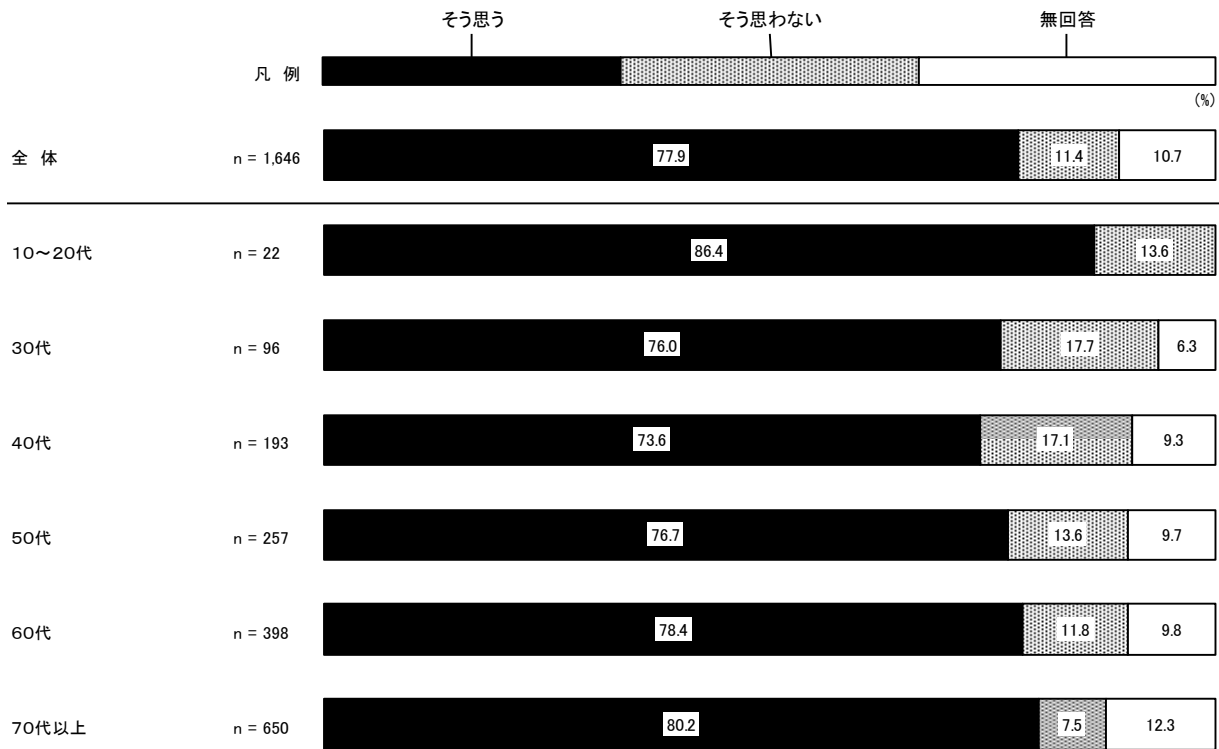
<図表3-5-15-2 特定復興再生拠点区域外に関する国の方針について帰町の判断への影響（避難指示区域別）>



### 3-5-16 大熊町との「つながり」を保ちたいか

【問12で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。  
 問17-1 大熊町との“つながり”を保ちたいと思いますか。（○は1つ）

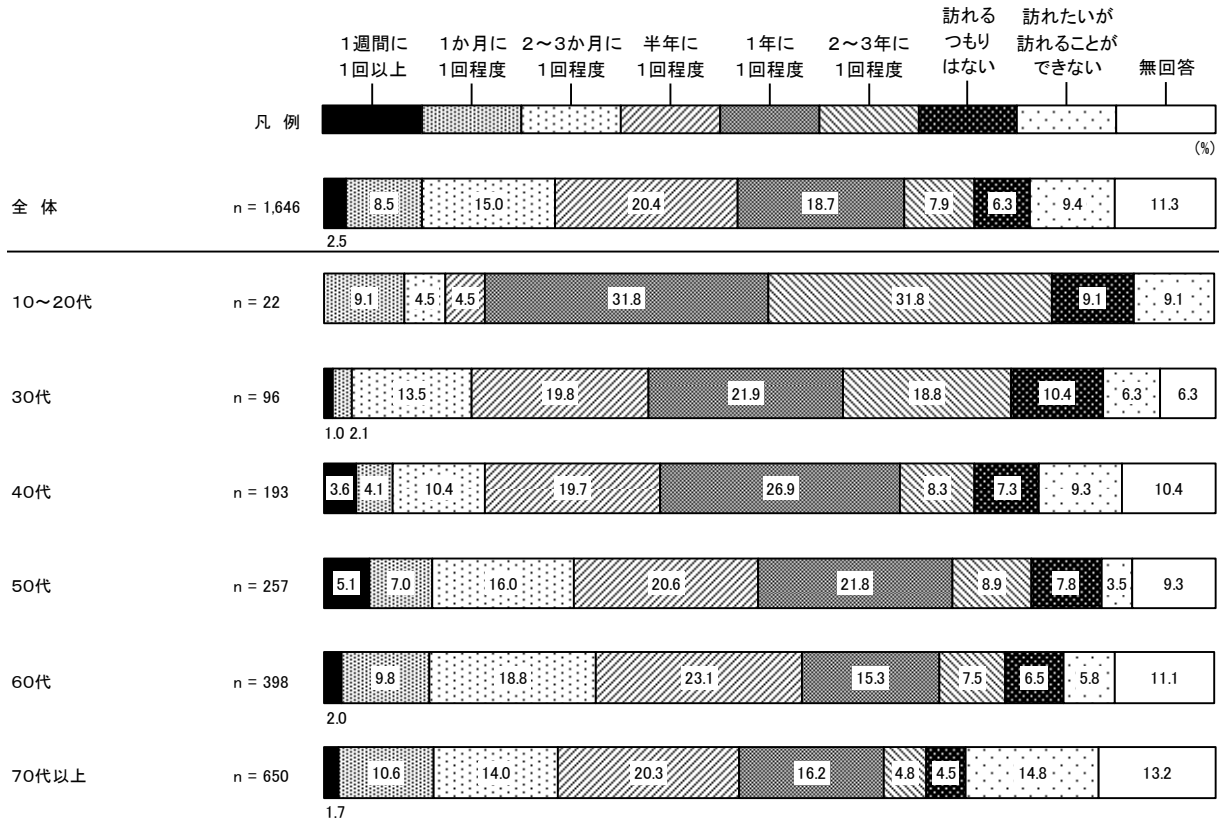
<図表3-5-16 大熊町との「つながり」を保ちたいか（年齢別）>



### 3-5-17 大熊町を訪れたい頻度

【問12で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。  
問17-2 今後、大熊町にどのぐらいの頻度で訪れたいと思いますか。（〇は1つ）

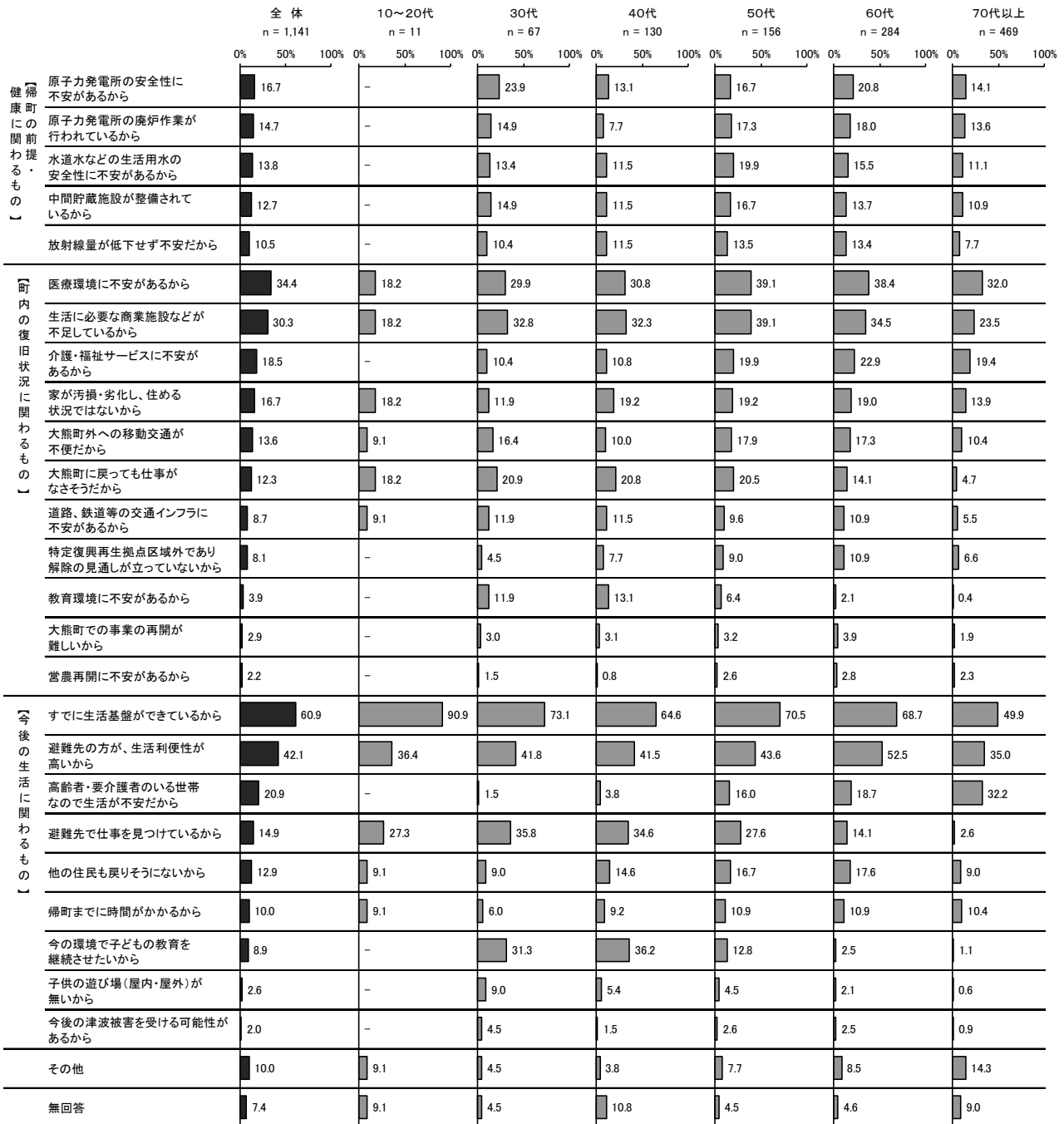
<図表3-5-17 大熊町を訪れたい頻度（年齢別）>



3-5-18 現時点で戻らないと決めている理由

【問12で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問18-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）  
 問18-2 問18-1で選択した「戻らない理由」のうち、特に重要と考えることについて選択肢番号の欄に番号をご記入いただき、具体的なお考えや今後の要望などがあればご自由にお書きください。（最大3つまで）

<図表3-5-18 現時点で戻らないと決めている理由（年齢別）>





上位項目についての主な意見は以下の通り。

〔すでに生活基盤ができてから〕

- 郡山での仕事や生活の基盤ができています。父は大熊にいますので月に1回は行くが、居酒屋や娯楽施設がもう少し増えてほしい。(10～20代)
- すでに生活基盤ができていのに、また1から仕事面、教育面を変えることは厳しい。(30代)
- 生活基盤ができており、子供達もその場所で育った環境がある。(40代)
- 今の生活に満足している。お墓が大熊にあり、その事が心配であり、全て断ち切るとかではない。難しいです。(50代)
- 避難先とは考えていない。新しい移住と考えている。(70代以上)

〔避難先の方が、生活利便性が高いから〕

- 買い物ひとつをとっても、いわきの方が便利(30代)
- 運転をできる人も少なく、基盤が整わない土地では不便すぎる。(40代)
- 戻っても同世代が少なく、コミュニケーションがとれるか不安。現在の居住地の方が便利。(50代)
- 高年齢である為、現況では生活ができない。(60代)
- 店、病院がない場所での生活は考えられない。(60代)

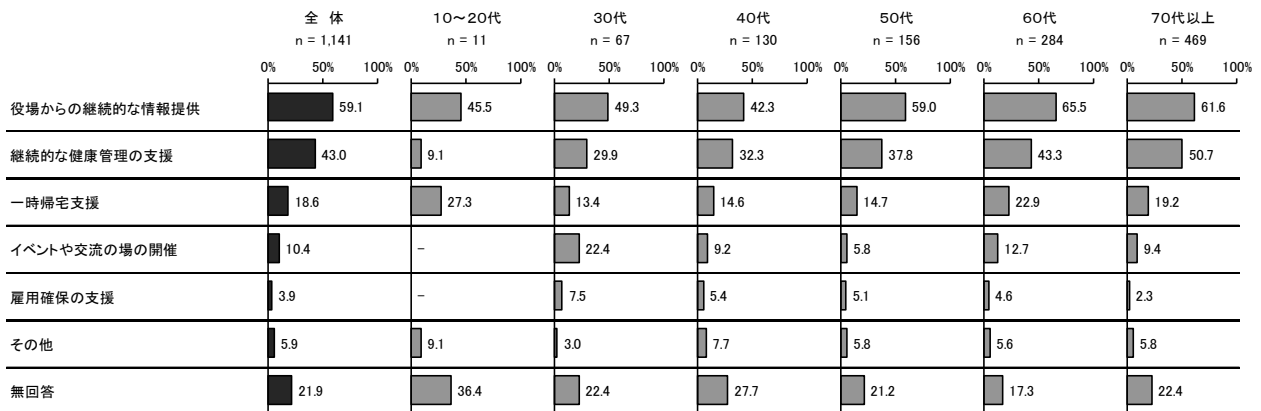
〔医療環境に不安があるから〕

- 常勤医師が確保できない可能性があるから、かかりつけ医として不安がある。(40代)
- 大野病院に代わる病院が出来ても、歯科・眼科・皮膚科等がないと、老人は困ってしまうと思う。(50代)
- 現在の状況で、震災前と同等の医療環境を求めるのは、無理と思っている。(60代)
- 医療環境の整備が具体的に進んでいる様にはみえない。(60代)
- 受診する医療機関が複数あり、大熊町に戻っても不安。不便だと思う。(70代以上)

3-5-19 帰町しない場合に今後の生活において必要な支援

【問12で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問18-3 今後の生活においてどのような支援を求めますか。（〇はいくつでも）

<図表3-5-19 帰町しない場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）>

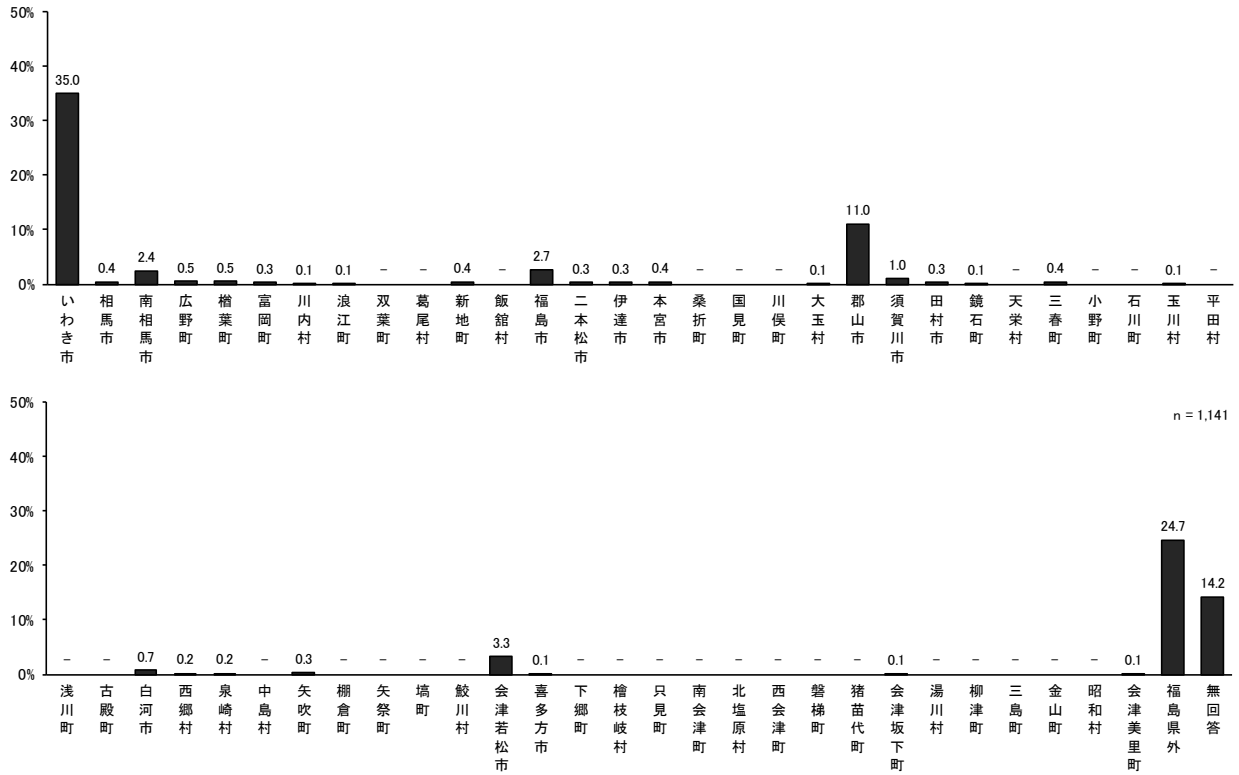


### 3-5-20 帰町しない場合に居住を検討する自治体

【問12で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問18-4 今後の居住を検討している（既に居住している場合を含む）自治体はどの自治体になるかを教えてください。（〇は1つ）

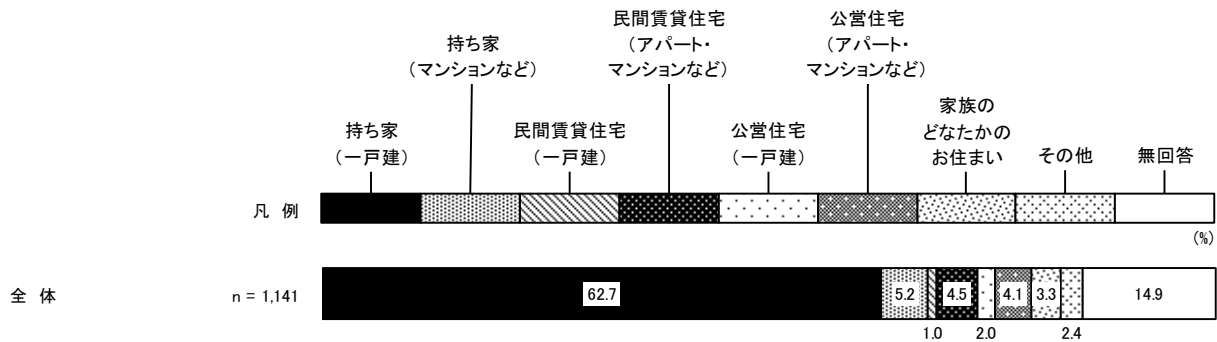
<図表3-5-20 帰町しない場合に居住を検討する自治体>



3-5-21 帰町しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問12で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問18-5 今後のお住まいとして希望する（既に居住している場合を含む）住宅は、どのような形態ですか。  
 （〇は1つ）

<図表3-5-21 帰町しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



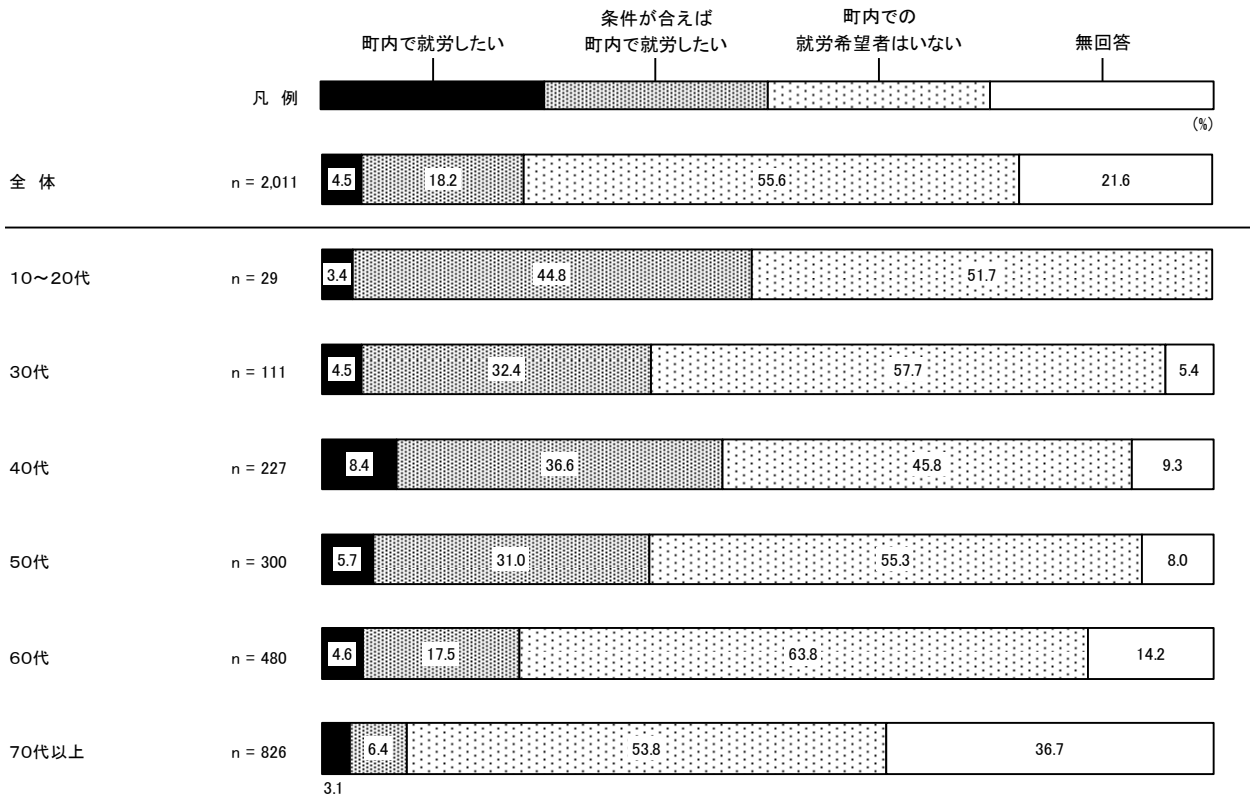
〔その他の内訳〕  
 給与住宅（社宅など） 0.2%  
 親戚・知人宅 0.5%  
 その他 1.7%

### 3-6 大熊町内での就労意向

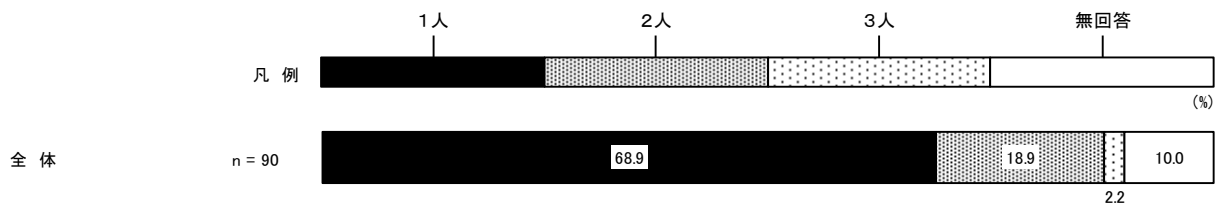
#### 3-6-1 大熊町内で働く場が整備された場合の家族の就労意向

問19 町では町内への企業誘致を進めています。町内で働く場が整備された際、あなたを含めたご家族で就労を希望する方はいらっしゃいますか。（〇は1つ）

＜図表3-6-1-1 大熊町内で働く場が整備された場合の家族の就労意向（年齢別）＞



＜図表3-6-1-2 大熊町内で就労を希望する人数＞



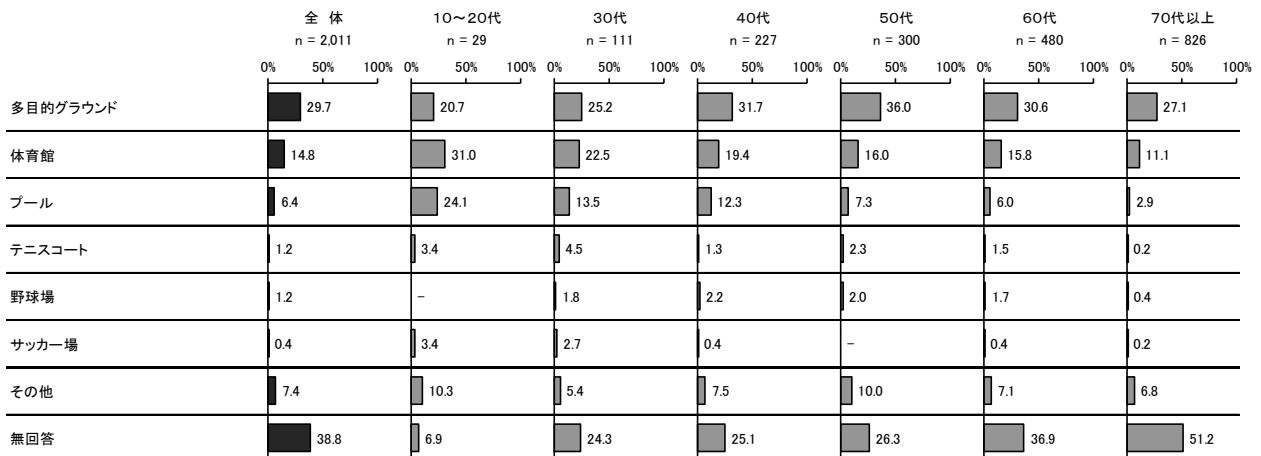
〔内訳〕  
 4人 -  
 5人以上 -

### 3-7 大熊町内で整備検討中の運動施設

#### 3-7-1 希望する運動に利用できる施設

問20 町では運動に利用できる施設を「原・旭台地区」に整備することを検討しています。開業時期や規模については、町民の帰還状況や居住者の増加の状況を見ながら進めてまいります。どのような施設を希望しますか。（〇は1つ）

<図表3-7-1 希望する運動に利用できる施設（年齢別）>



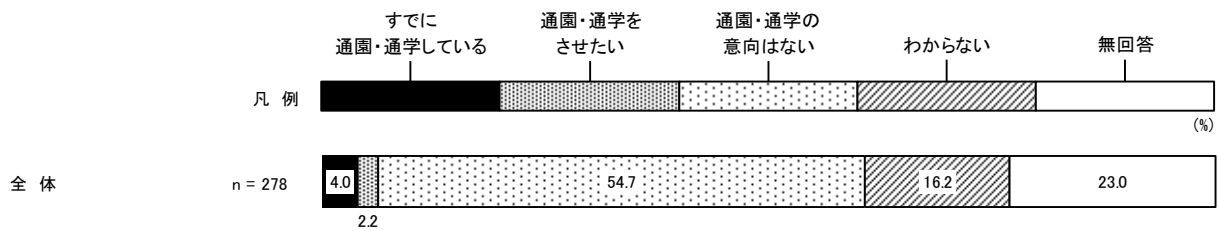
### 3-8 「学び舎ゆめの森」の開校

#### 3-8-1 「学び舎ゆめの森」への通園・通学の意向

【中学生以下のお子様・お孫様がいらっしゃる世帯の方にかがいます。】

問21-1 町では令和5年春に、会津若松市から学校機能を移転し、町内の大川原地区に認定こども園・義務教育学校「学び舎ゆめの森」を開校しました。お子様やお孫様の通園・通学のご意向について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-8-1 「学び舎ゆめの森」への通園・通学の意向>



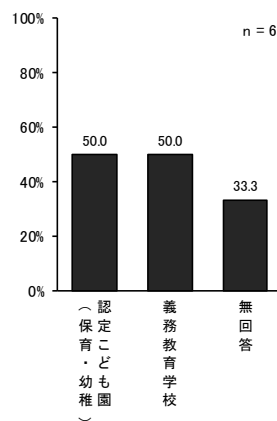
※問9で「未就学児（小学校入学前）」「小学生」「中学生」の方が同居されていると回答した方のみで集計

#### 3-8-2 「学び舎ゆめの森」で通園・通学をさせたい校種

【問21-1で「2. 通園・通学をさせたい」と回答した方にかがいます。】

問21-2 お子様・お孫様を、通園・通学をさせたい校種について教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-8-2 「学び舎ゆめの森」で通園・通学をさせたい校種>

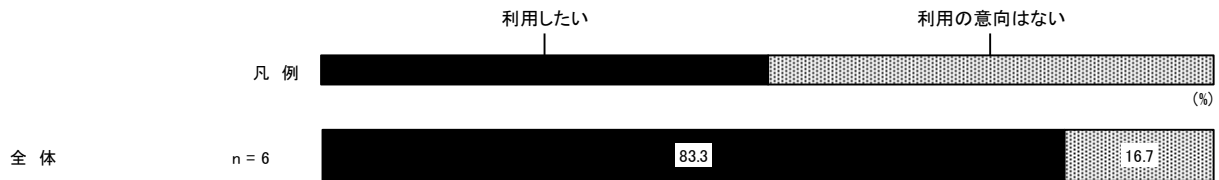


※問9で「未就学児（小学校入学前）」「小学生」「中学生」の方が同居されていると回答した方のみで集計

### 3-8-3 預かり保育・学童保育の利用意向

【問21-1で「2. 通園・通学をさせたい」と回答した方にかがいます。】  
問21-3 預かり保育、学童保育のご利用の意向について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-8-3 預り保育・学童保育の利用意向>



※問9で「未就学児（小学校入学前）」「小学生」「中学生」の方が同居されていると回答した方のみで集計

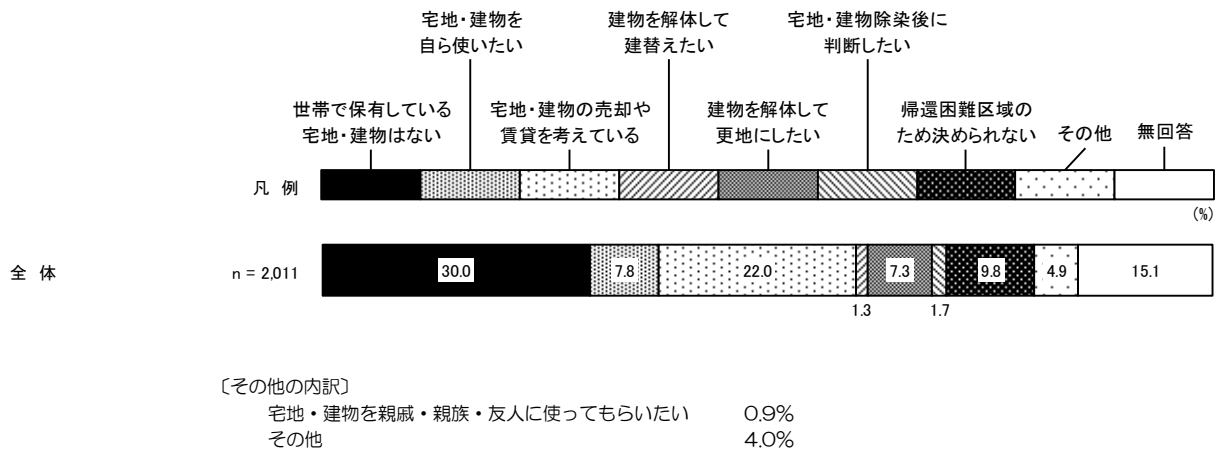


### 3-9 不動産の取り扱い意向

#### 3-9-1 大熊町内に保有している宅地・建物の利用意向

問22-1 町内に保有している宅地・建物の利用意向についてうかがいます。  
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）  
（複数所有している場合は自宅についてお答えください）

<図表3-9-1 大熊町内に保有している宅地・建物の利用意向>



#### 3-9-2 不動産利活用事業への登録

【問22-1で「4. 宅地・建物の売却や賃貸を考えている」と回答した方にうかがいます。】  
問22-2 現在おおくままちづくり公社では不動産利活用事業を行っています。あなたはこの事業に登録されていますか。（〇は1つ）

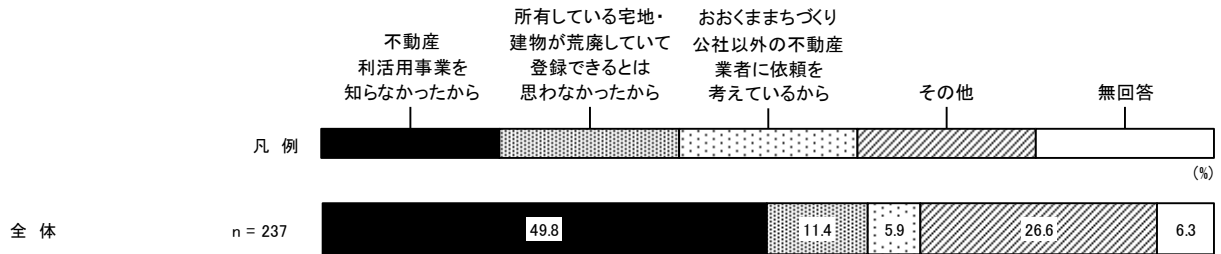
<図表3-9-2 不動産利活用事業への登録>



3-9-3 不動産利活用事業に登録していない理由

【問22-2で「2. 登録していない」と回答した方にうかがいます。】  
 問22-3 おおくままちづくり公社の不動産利活用事業に登録されていない理由を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-9-3 不動産利活用事業に登録していない理由>

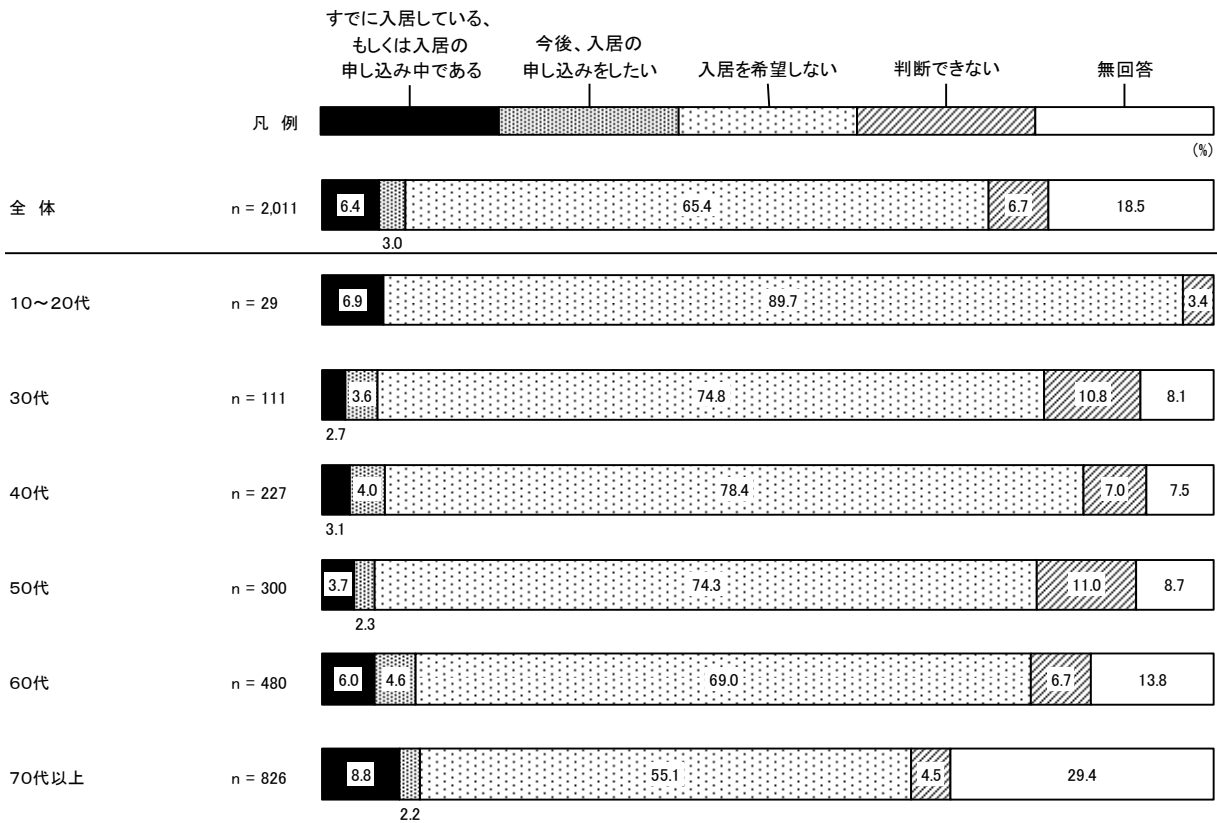


### 3-10 復興公営住宅

#### 3-10-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向

問23-1 福島県営の復興公営住宅（大熊町外）への入居意向について教えてください。（〇は1つ）

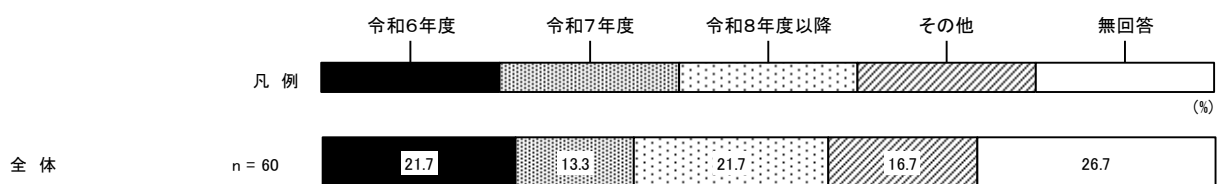
<図表3-10-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向（年齢別）>



#### 3-10-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期

【問23-1で「2. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】  
問23-2 入居を希望する時期について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-10-3 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期>

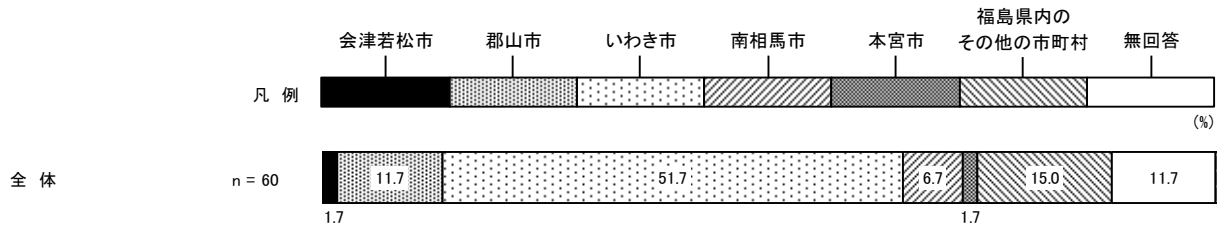


〔その他の内訳〕  
令和5年度 -  
その他 16.7%

3-10-3 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村

【問23-1で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。  
 問23-3 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-10-3 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村>



〔その他の内訳〕

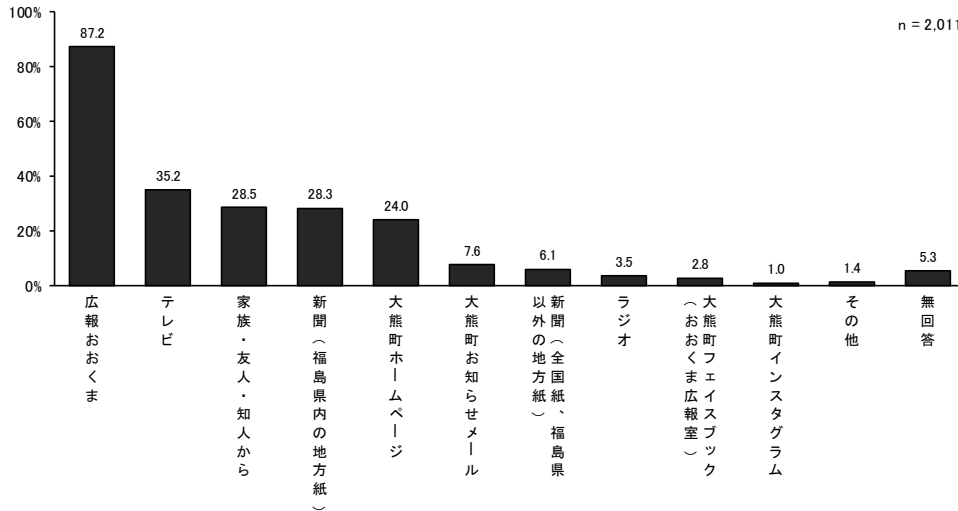
福島市	-
白河市	-
二本松市	-
田村市	-
福島県内のその他の市町村	15.0%

### 3-11 情報入手

#### 3-11-1 大熊町に関する情報の入手経路

問24-1 大熊町に関する情報を、どこでお知りになりますか。（〇はいくつでも）

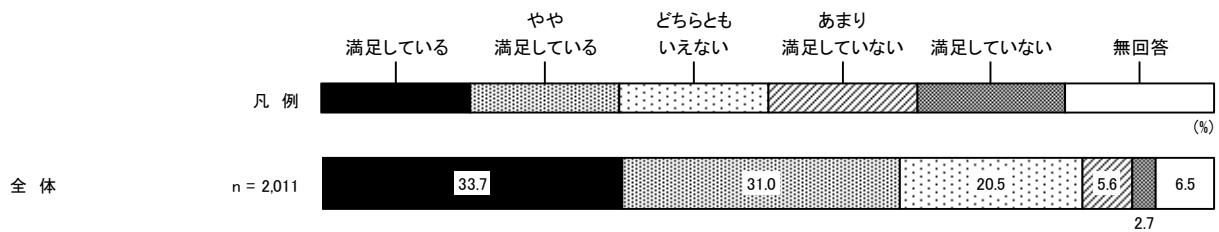
<図表3-11-1 大熊町に関する情報の入手経路>



#### 3-11-2 大熊町役場からの情報提供の満足度

問24-2 大熊町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。（〇は1つ）

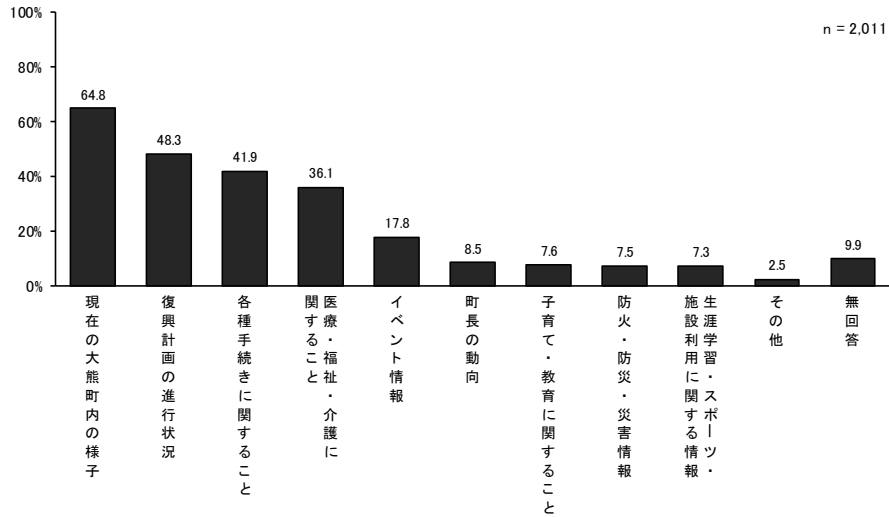
<図表3-11-2 大熊町役場からの情報提供の満足度>



3-11-3 関心のある情報

問24-3 大熊町からの情報で強い関心があるものは何ですか。（〇はいくつでも）

<図表3-11-3 関心のある情報>

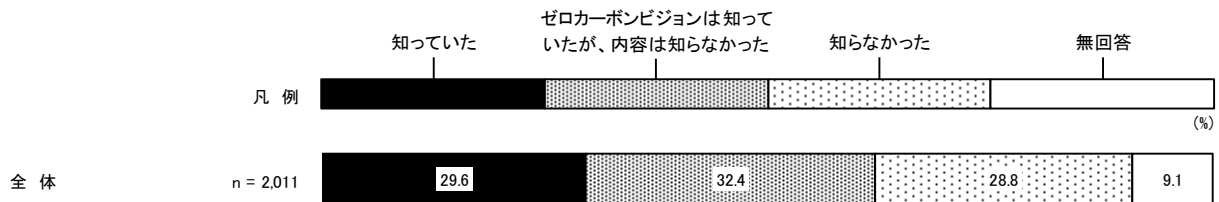


### 3-12 持続可能なまちづくりへの取り組み

#### 3-12-1 「大熊町ゼロカーボンビジョン」の認知度

問25-1 「大熊町ゼロカーボンビジョン」をご存じでしたか。（〇は1つ）

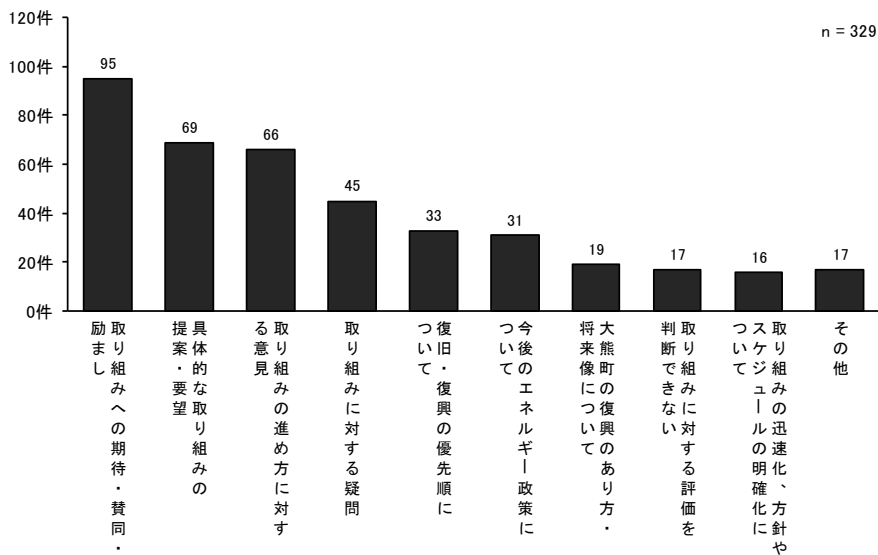
<図表3-12-1 「大熊町ゼロカーボンビジョン」の認知度>



#### 3-12-2 持続可能なまちづくりへの取り組みへの意見

問25-2 大熊町の目指している持続可能なまちづくりへの取り組みについて、ご意見などをご自由にお書きください。

<図表3-12-2 持続可能なまちづくりへの取り組みへの意見>



### III 調査結果（全項目）

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【取り組みへの期待・賛同・励まし】

- ・1から始められる町づくりのチャンスは中々ないと思うので、ぜひ世界にも発信できるような取り組みにしてほしいです。（30代）
- ・廃炉・処理水放出とお先真っ暗な状況であるが、カーボンニュートラルというワードで、未来に向けて明るい意識が持てた。ぜひ実現し、世界へ発信してほしい。（40代）
- ・電気代のかからない家（町）になったらいいなと思う。太陽光発電などで自家発電し、災害時も困らない町。（50代）
- ・宇宙船“地球号”の乗組員としては、とても大切に共感できるものです。更なる推進を希みます。（60代）
- ・原発事故の大変なことを実際に体験した町だからこそ、原発に頼らず、再生可能エネルギーを活用した、持続可能なまちづくりに取り組もうとしている町の姿勢に、大いに期待しています。（70代以上）

#### 【具体的な取り組みの提案・要望】

- ・発電所と共同で防災都市を目指す。ソーラーや増水防止の地下、自給自足が出来る箇所を作る等、色々。（30代）
- ・役場行くのにセグウェイに乗りたい。貸し出しを利用してみたい。ゼロカーボンをうまく利用して、子供の忘れ物を届ける、郵便ペッパー（ロボット）みたいなのが欲しい。（40代）
- ・廃炉事業で新たなロボット産業、ロケット産業に何かでコミット出来るようになるとか、建設的なイノベーションになるのを望む。（50代）
- ・ゼロカーボン政策では地産地消を越えて、再エネ電力の域外送電により首都圏に貢献するまでになってもらいたい。（60代）
- ・今考えられる範囲でのことで、将来的にみて持続可能な又は発展しそうな、会社、くだもの園、工場、病院、学校、ハコモノ、その他を検討の上、突き進むことを希望する。（70代以上）

#### 【取り組みの進め方に対する意見】

- ・何となく、「良いもの」ということはわかるが、これに共感して「移住しよう！」と思う人は少ないのではないかと思う。ゴミの分別をする、植物を育てる…というようなゼロカーボン達成につながる等、わかりやすい行動をもっと押し出して、「大熊町が住みやすくなる→移住者も増える」につながると思う。（10～20代）
- ・ゼロカーボンもちろん後々は大事だけれど、まずは廃炉になってから。世界で初めて安全に廃炉を完了し、住民が帰還・移住してくれば、それが外へのアピールになる。（30代）
- ・アンテナ高く柔軟な取り組みはとても評価できますが、一方で取り残されている課題がないがしろにならぬよう、慎重に取り組んでほしい。（50代）
- ・ゼロカーボンは理想ですが、そのために森林を崩したり、土地一面を太陽光パネル、風車で埋め尽くしたりすることは違うと思います（人のいない原発近くは、構わないと思いますが）。目指す期限もあるようですが、焦らず、冷静な判断で進めていただきたいです。（60代）
- ・大熊町の自然豊かな景観の維持。大規模な太陽光発電施設設置等による景観破壊には、特に留意いただきたい。（70代以上）



### 3-13 意見・要望

問26 国や福島県、大熊町への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、511世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

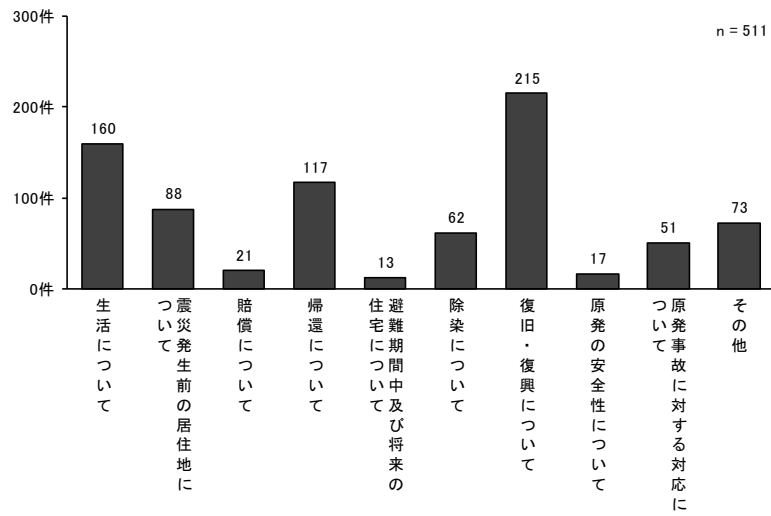
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活の長期化への不安</li> <li>・元の生活が取り戻せるかどうかの不安</li> <li>・元の生活、安定した生活の回復</li> <li>・元の生活に戻ることにについてのあきらめ</li> <li>・現在の生活について</li> <li>・現在の生活の人間関係・コミュニティについて</li> <li>・現在の生活の経済的な不安について</li> <li>・現在の生活の健康に関する不安について</li> <li>・現在の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・現在の生活全般の不安について</li> <li>・将来の生活に関する考えについて</li> <li>・将来の生活の経済的な不安について</li> <li>・将来の生活の健康に関する不安について</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・将来の生活全般の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の意識について</li> <li>・除染作業の効果等について</li> <li>・除染作業の実施箇所等について</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> <li>・除染作業スケジュールの明確化について</li> <li>・除染産廃物の処理について</li> <li>・処理水（ALPS処理水）について</li> </ul>
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還困難区域への立入りについて</li> <li>・帰還困難区域等の設定について</li> <li>・所有する住まい・土地の買取りについて</li> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・元の住居や土地等の管理・処分について</li> <li>・元の住居や土地に対する税について</li> <li>・所有する墓地の維持・管理・移転について</li> </ul>	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の遅れ、長期化について</li> <li>・復旧・復興のスケジュールについて</li> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・町村合併について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・医療施設の復興・充実について</li> <li>・学校の復興・充実について</li> <li>・商業の復興・充実について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> <li>・早期の原状回復・復興実現について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賠償内容・方法について</li> <li>・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について</li> <li>・所有する住まい・土地に対する賠償全般について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉作業の迅速な実施について</li> <li>・廃炉作業全般について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還可能時期の明確化について</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還しない</li> <li>・現時点では帰還の判断ができない</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・帰還を望まない人への対応について</li> </ul>	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> <li>・情報の開示・発信について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興公営住宅に係る経済的負担について</li> <li>・復興公営住宅への入居について</li> <li>・居住場所の確保について</li> <li>・借上げ住宅について</li> <li>・住宅の購入について</li> </ul>	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・行政に対する謝意、励まし</li> <li>・その他</li> </ul>

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

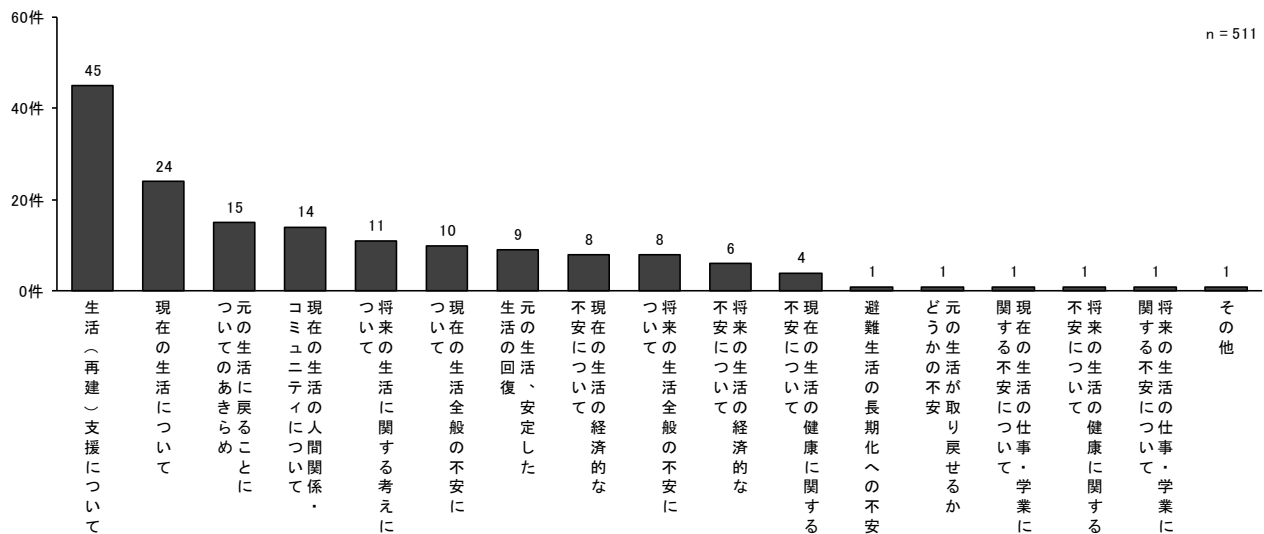
3-13-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-13-1 意見に係る記入内容の分類結果>



### 3-13-2 生活について

＜図表3-13-2 生活についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【生活（再建）支援について】

- 学び舎ゆめの森に通学する児童は、学童保育が無料と聞いておりますが、避難先の学童保育を利用する児童への助成はないのでしょうか。福島市は、近隣市町村に比べて3倍近く利用料が高いです。現在、毎月16000円の利用料で、夏休みなど長期休暇の際は加算があり、5000～10000円の上乗せとなります。早急に検討して欲しいです。（30代）
- 大熊で生活していた時と違い、生活費がとてまかかります。今までは米も野菜も買うことが少なかったのに、全部買わなければならず、固定資産税はびっくりするほどの金額です。お葬式に行くにもお見舞に行くにも、皆バラバラなので交通費は高い。このまま病院の無料と高速道の無料は続けてほしいです。家賃も補助してもらえれば助かります。高速道の無料がなかったら、友達にも親せきにも、今まで近所にいた人にも会えなくなるので、このまま無料にしてほしいです。（60代）
- 戻りたくとも戻れない帰還困難区域の住民から見ると、一部の復興が華やかに報道されるたびに、取り残されたような淋しさが…。羨ましが募ります。全町民が平等とは言えないが、同等に町の支援が受けられるようにお願いします。偏っていると不満の声も聞かれます。国、県も全町住民が元気に生活できるよう投げ出さず、全知で住民が帰還できる環境を早急に作り出して欲しいです。（70代以上）

#### 【現在の生活について】

- 今年から大熊町に戻り、楽しく生活しています。沢山の方の頑張りのおかげで、今があります。ありがとうございます。町出身の若者が集うイベントがあると嬉しいです！同級生に会いたーい。（10～20代）
- なかなか色々な事、物が進まないなど…。何か少し買いたい物があっても、町ではまだ欲しい物を手にできる機会が少ない。ある物の中から買うしかない。やはり不自由さを感じてしまい、戻りたいでも戻りたくない…とってしまう。（40代）
- 復興とは…何かの問題（東日本大震災と東電原発事故）により壊れてしまった地域を、元に戻し発展させていく…、これには全ての住民も含まれると思うが、現実問題として被災者全員が以前の日常に戻ることは可能ではないので（年齢、住む所、仕事、友人関係、…）、どこかで妥協しなくてはならないと思う。12年という年月は、新しく住み始めた所で生活基盤ができ、一見落ち着いて生活できている様に思うが、住民票は大熊町で、何となく「よそ者」の様な…。住民票を移した方がいいのか決めかねている、不安定な気持ちです。（70代以上）

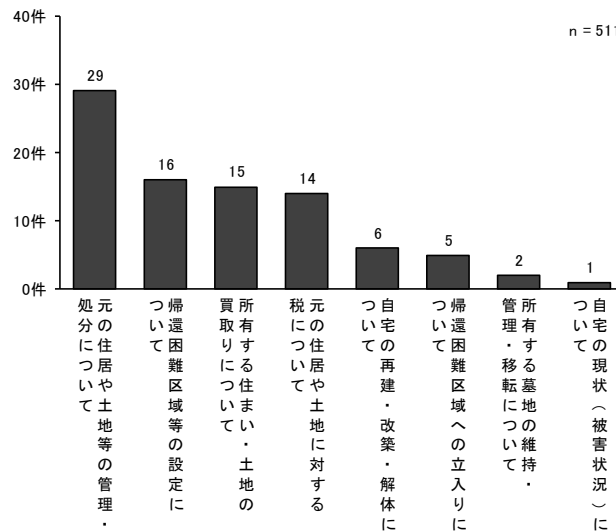
### Ⅲ 調査結果（全項目）

#### 〔元の生活に戻ることにあきらめ〕

- 違う土地に来て、仕事などをやってみたが、何をやってもしっくりこず、今は何もしていない。家族はどんどん歳を取るので、介護することも増えた。東電から補償金をもらっても、無駄に使って年月だけが過ぎていく。故郷を失った影響なのかわからないが、何かに積極的に取り組んで、希望を持ちつづけるということが出来なくなっている。大熊町民を名乗ることに、何かうしろめたさを感じる。自分は何も町のために貢献していないと感じる。（４０代）
- 自分が“町”に帰りたい意欲が年々失われていくのが…哀しいのみ。（５０代）
- 大熊町の古里は貯蔵施設になり、帰りたくても帰れない。年齢と共に（９１才）あきらめています。古里が恋しいです。私の気持など、本当にわからないでしょう。私達の古里は、姿を変えてもじっと待っているでしょう。待っていても、行けない、住めない。（７０代以上）

### 3-13-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-13-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### [元の住居や土地等の管理・処分について]

- たとえ大熊町でも、元の自宅でなければ帰れたことにならない。大熊にある自宅を解体したいと思う時もあるが、半壊の判定で制限がある。解体の費用はどうすればいいのかわからない。戻るか戻らないかわからない大熊の自宅に、費用をかけることが難しい。（40代）
- 帰還困難区域で戻らないと決めている。土地、建物を保有している町民への対応を、早めに進めてほしい。土地、建物をどのように処分出来るのか…、方法の提案をしてほしい。自分達の世代で終わらせたい。子供達へ残したくない。（50代）
- 帰還困難区域内に持ち家がある為、将来どのように進んで行くのかとても不安である。年齢の事もあり、方向性を早く決めて頂きたい。自分が生存しているうちに、子供達へもしっかりと伝えていかなければいけないので。（60代）

#### [帰還困難区域等の設定について]

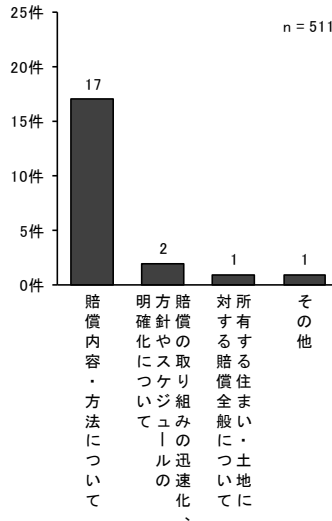
- 帰還困難区域の解除日を明確にしてもらいたい。現在の状況において、困難区域の外と内で、放射能レベルの違いがあるわけでもないし、町に聞いても、国が決めていることなので、正確な情報を教えてくれません。なぜ解除できないの？いつ解除できるの？（50代）
- 町が企業誘致を優先しても、大熊町民が戻らなければ意味のない事。特定復興再生拠点の避難指示解除をしたとはいえ、高線量で住めないのが条件としては帰還困難区域と変わらない。解除したおかげで東京電力の移動費用賠償が打ち切られた。震災前から住んでいる大熊町民を第一に考えてない。駅前ばかりでなく駅近くの山林の除染をきちんとやってください。（60代）
- 自宅のある滑津地区の除染作業をし、一時帰宅する度に毎回帰宅希望を申し込みますのはなんとも割り切れない気持ちです。我家に帰るのに…。（70代以上）

#### [所有する住まい・土地の買取りについて]

- 宅地や建物の売却を考えている町民から、「おおくままちづくり公社」で買い上げるなどの対応を行い、復興に必要な土地として活用できるようにしてはどうか。（50代）
- 除染計画もない地域であることから、戻らないと決めているが、今後、固定資産税がどうなるのか気になる。国、県、町で買い上げてもらいたい。（50代）
- 土地の有効活用のため、町が買い上げることが出来ればよい。今後、段階的に不動産課税が行なわれると認識しているが、評価額の算定がどのようにされるか興味津津でいます。500坪の土地に太陽光発電のため190万で買い上げ希望の話があり、既に二足三文の状況に腹立たしい気持ちです。この責任はどこに？（60代）

3-13-4 賠償について

<図表3-13-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【賠償内容・方法について】**

- これから更に東電からの補償があるか知りたい。（30代）
- 最後まで賠償問題を軽視せずに行ってほしい。（40代）
- 東京電力から追加賠償について、何も情報もきていない。大熊町からも、より積極的に東京電力に対し働きかけを行ってほしい。（50代）

**【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について】**

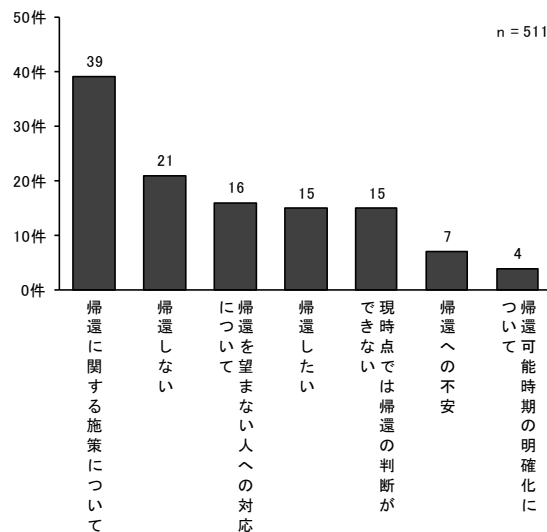
- 町内の低線量地域に企業誘致を進めているようですが、低線量地域には住民が住める住宅地にするのが、本来町が進めなければならない事業では？住民が戻る事より、企業誘致に力を入れているのではないですか？町は住民が戻る事を最重要と考えていないのでは？町はもっと住民の事を考えて、山林等の除染、原発事故損害賠償を県、国と交渉する事では？ふるさとを失ったのですよ！！（60代）
- 東京電力は第五次追補の賠償を5ヶ月も前に書類を送っているのに、まだ賠償がされていない。その間家族が亡くなれば、新たに提出書類を求めて、審査のやり直しをしようと言っている。賠償がいつになるかわからない。（60代）

**【所有する住まい・土地に対する賠償全般について】**

- 新築した世帯には東電からの助成金があります。国や県、町は、大熊町に帰ってほしいのか、他県、町、市に住んでほしいのか、本当の意図は何なのか。「家を建てる」ありきの補償。1人暮らしで子供がいない（子供が帰らない）から、家は建てない。建てない人が悪いのか、建てた人が得してるのか。国、県、町が、勝手に家を建てた人に補償しているは納得いかない。十人十色で家を建てない人の意見も聞いてほしい。（60代）

### 3-13-5 帰還について

＜図表3-13-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【帰還に関する施策について】

- 大熊町の可能性に期待し、関心を持ってはいますが、日々の生活の中で仕事や育児に追われ、避難先での暮らしで精一杯になっているのが現状です。大熊町での生活が、具体的にイメージできるような情報（特に画像や映像）をどんどん発信してほしいです。（30代）
- 住民を帰町させるにしても、目に見える安全の確保を。今後の住民の生活のしやすさが不透明だと、帰町したくてもできない人の方が多いと思う。（40代）
- 原発の廃炉、そして町の復興を着実に行ってほしい。子供たちが、安心して帰ってくることのできる環境づくり。（70代以上）

#### 【帰還しない】

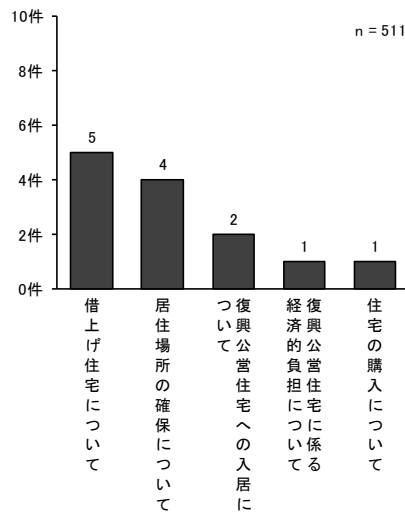
- 以前暮らしていた家は取り壊されてしまい、帰ることはできませんが、大熊町のことは応援しています。大熊町でまた暮らしたいと考える方々が、早く大熊町で暮らせるようになるといいなと思います。（10～20代）
- 町に戻るつもりはないので、家は既に解体していただきました。土地だけあっても、原発のある町の土地では、買ってくれる方はいないと思っています。もう若くはないので、除草に行くのも大変です。町で売り出した土地なので、町で何とかしてくれないものかと思っています。数年以内には税金も取られるでしょうし、本当に何とかならないものでしょうか。（60代）
- 大熊町に移り住み20数年たちました。大熊太鼓、民謡と活動して楽しい日々を過していましたが、子供のいない我々高齢夫婦は、帰りたくても帰れません。自宅は解体して、更地にしたいと考えております。我々夫婦が生きている間に済ませたいので、何分よろしくお願い申し上げます。（70代以上）

#### 【帰還を望まない人への対応について】

- 治安の悪さや放射能の影響で、近くに仕事がない、まだまだ元の状態でない等々から、現時点では大熊町へ戻ることは考えられない。もう少し避難している人への助成や補償なども、町内に住んでいる人と同様にしてほしい。子育て支援をもっと充実させてほしい。明石市を参考に、独自の子育て支援の施策をしてほしい。（30代）
- 帰還する意向が将来的になく、避難先で生活基盤ができている方の住民票の取り扱いについて、そろそろ考える時期と感じます。避難先に住民登録すべきと思います。（60代）
- 大熊町への帰町や復興も大事ですが、もう戻らないと決めている町民への、色々な支援があってもいいと思います。（70代以上）

### 3-13-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-13-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【借上げ住宅について】

- 避難後ずっと同じ借上住宅に住むことができたため、安定した子育てをすることができ、とても感謝しています。できれば令和7年3月以降も、借上住宅の延長を希望したい。（40代）
- 家賃補助を頂いておりますが、それが無くなると毎月92000円の家賃を支払う事になるので、引っ越しを考えなくてはなりません。色々と検討してますと、子供の校区や親子してのコミュニティをまた築かなくてはならなくて、とても不安になります。（50代）
- 今の借上住宅は令和7年3月までなので、もう少し延ばしてほしいです。（60代）

#### 【居住場所の確保について】

- 体が不自由になっても、介護保険を使って、公営住宅で最後まで1人で生きて死んでいきたいです。できるでしょうか？最近足が痛むので、とても不安になります。公営住宅しかいる場所がありません。（60代）
- 特老「サンライト大熊」に、将来は入居できたらと思って暮らしていた。59歳で原発事故を遭ったが、この希望を叶えていただけるよう、国、県、町に対応をお願い致します。これまでバリバリ仕事をして、行政に迷惑をかけたことはありません。（70代以上）
- 今、栃木に住んでいますが、一戸建の経費は年金暮らしの世帯では無理です。やはり、最後は福島で迎えたいと思っているので、戻る場合には復興住宅、公営住宅に住めるように対応してもらいたい（家は子供に譲りたい）。（70代以上）

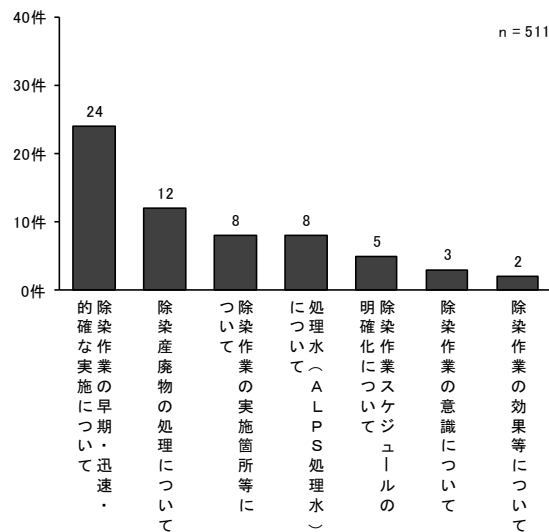
#### 【復興公営住宅への入居について】

- 復興住宅に空室が多くあるのに、なぜ入居させないのか？年数が経つと家族形態が変わってくるので、臨機応変に対応出来ないのか？避難時には小学生だった者が、今は成人し子供もいる者が多く、住宅に困っている者が多いと思います。（70代以上）



### 3-13-7 除染について

＜図表3-13-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- ・今後、大熊町には戻らないと決めています。大熊町の熊三区にある土地の除染を早急にしてもらわないと、土地・家を売却するか更地にするかなど決められない。町内での不動産のマッチングも出来るなら利用したいが、家の周りが雑草で覆われ、家の中に入ることもできないので、家がどんな状況になっているのかもわからない。出来る事なら、国、町で土地を買い上げてもらい、再利用して頂けたらと思っている。（50代）
- ・早期の全域除染の実施を、スピード感を持ってやってもらいたい。今後の最優先は一旦全域除染とし、その後は復興を優先として欲しい。除染を個人で実施するための、モデルケースを作って欲しい。帰還困難区域の自分の土地については、待っていても中々除染が進まない。除染費用について、費用対効果を前提とした考え方でしか出せないならば、効果の低いところはいつまでたっても除染してもらえない。ならば、個人で進められる方法を模索すれば、費用も最小減で除染済範囲を拡大することが早期に可能となる。（60代）
- ・町内の非除染地域は国の責任。全てを早急の実施して欲しい。（70代以上）

#### 【除染産廃物の処理について】

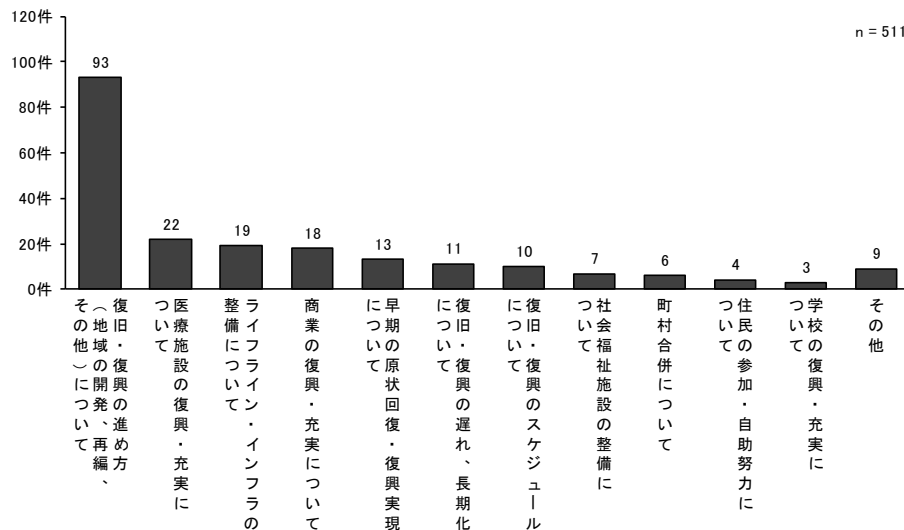
- ・大熊町はプルトニウムの影響もあると思うので、どこまで遮蔽が出来ているのか。今後の中間貯蔵施設のあり方が不明。2030年にどこまで安全が確保されているのか。2020年度内の帰還は、世界基準で安心出来るものなのか。（50代）
- ・国に対しては、放射性廃棄物の恒久的な保管場所を明確にしてほしい。復興再生拠点以外の除染計画を明確にしてほしい。（60代）
- ・事故から十年以上、どの位廃炉が進んでるのか。知る限りでは我々には想像もつかないようです。汚染水・デブリのニュースを見ると、ますます心配。汚染水は未来永劫に続くのでは？最終的には処分場になってしまうのではないかと、心配です。生存中には見られないことはわかっていますが、残念無念です。（70代以上）

#### 【除染作業の実施箇所等について】

- ・家と農地の除染がされない限り、帰町するかの判断ができない。（10～20代）
- ・気兼ねなく立ち寄れるように、特定復興再生拠点以外も除染を実施してもらいたい。（40代）
- ・国は責任を持って、山、川、全てきれいに除染をして返すべきだ。（70代以上）

3-13-8 復旧・復興について

＜図表3-13-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】**

- 大熊町に帰る考えがあっても、病院やスーパーがないと生活が出来ない。工業団地を造成し、企業誘致も大事だが、生活に直結したことを早く進めてほしい。大熊町は他町村と比べて遅れていると思う。（50代）
- 町に対して、国の方針の意向が強く、町の主体性が見えない。国の助けがなければ復興が難しいことはわかるが、町民が帰還するために、町民の立場に立った町の考え方を発信すべき。移住者で新しい町を作ろうとしているのであれば、それはそれで結構ですが。（60代）
- 企業誘致の為にインフラ整備が、緊急の課題と思われる。これまでの大熊町民が戻ることへの対策に重点をおくのではなく、新しい住民を呼び込む施策を優先的に考えるべきかと思う。復興計画は、短期、中期、長期に分け、長期は従前の長期よりも、もっと長い眼で見た大熊町の姿を考えた方が良いと思われる。（70代以上）

**【医療施設の復興・充実について】**

- 子供が戻ってきつつある大熊町だけど、すぐ行ける病院（小児科）がないので不便。買い物も、富岡、いわき方面まで行かないといけないので不便。子供をもっと大熊に戻したいのなら、立派な学校だけではなく、買い物面、医療施設も整えるべき。イオン、ベニマル、マルト、銀行、100円ショップ（セリアとかダイソーとか）などが近場にほしい。（30代）
- 医科や歯科など、土曜日も診療できる所がないので、どうしても遠くへ通わないといけないのが辛いです。銀行が町内にあると、仕事で町に来る方も助かるんじゃないかと思います。（40代）
- 病院・医療・介護を強くお願い致します。（70代以上）

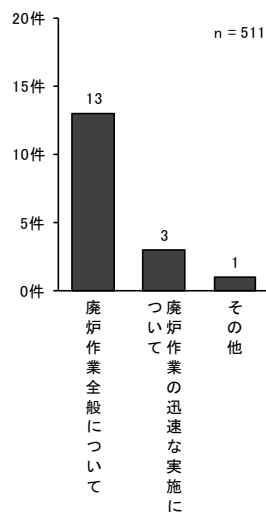
**【ライフライン・インフラの整備について】**

- 夜、町内の施設を利用しようと歩きますが、とにかく暗い。街灯の設置を相談した所、当時の支援課の人が明るい時間に来て、「どこが暗いんですか」と…。まったくもってバカにしている対応。ほんの少し照らすだけで役に立たないセンサーライトを取り付けただけ。改善されていない。夜は歩くなと言う事なのか？街灯が明るくて眠れない人がいると言っていたらしいが、カーテンがあるだろうと思う。それよりも、街灯は防犯対策にもなるという事を考えてほしい。（40代）

- 自宅が帰宅困難区域にあるが、アクセス道路の状況が、樹木、草木の成長によって今年は特にひどいため、車で乗りつけるのが大変だった。道路部分は車が安全に通行できるよう整備して欲しい。平日は仕事で大熊町内に通勤しており、町内商業施設を利用している。東邦銀行のATMを役場内に設置できないか検討して欲しい。（50代）
- 震災後、避難先で福島県の対応に格差があった事、今も忘れていない。帰町した人々の、環境整備、生活道路の補修、点検、除草、防犯灯他、住民からの連絡で動くのではなく、大熊町が率先して動き、帰町者が安全、安心して生活できる様要望します。（70代以上）

### 3-13-9 原発の安全性について

＜図表3-13-9 原発の安全性についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【廃炉作業全般について】

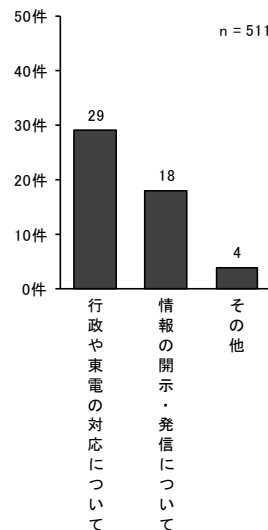
- 原発の廃炉をしっかりして、住民が安心して暮らせる、若い人達も住みたいと思える町づくりを目指してほしい。他の市や町のように、多くの人が住める町にまた戻ってほしい。故郷にいつかは帰りたい気持ちは少なからずあります。とても大変だとは思いますが、また普通に暮らせる大熊町になれば嬉しいです。（10～20代）
- 原子力発電所の廃炉作業が、安全に無事終了することを願っています。（60代）
- 色々な計画は、将来安全であることが前提となる。今一番の不安は、原発の廃炉とそれに伴う核廃材。それらが永久的に町内に残らないこと。原発誘致以前のような、安全な自然環境が整えば、居住者が安心できると思う。将来に遺恨が残らない計画の実行を期待する。（70代以上）

#### 【廃炉作業の迅速な実施について】

- 国と東京電力は、いいかげん廃炉を前に進めてもらいたい。（50代）
- 廃炉はおよそいつ終るのか。（60代）
- トリチウム放出、デブリ取り出し、廃炉作業等に関して、県、町が参加する安全監視体制の構築・運営とその強化を望みます。学校近くにモニタリングポストを設置して頂きたい。子どもが生活している上で、大事だと思います。必ず早急をお願いします。（70代以上）

### 3-13-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-13-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政や東電の対応について】

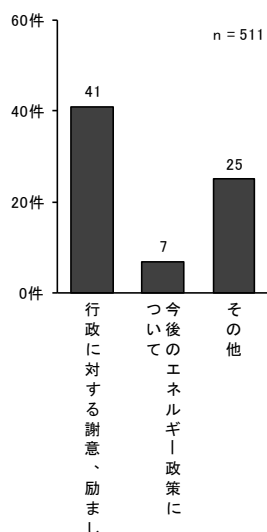
- 国に対して強く意見が言える福島県と大熊町に！（50代）
- いつも、町民の帰還状況や居住者は増加傾向とありますが、いつ、どの時期で判断しているのか？後から、大きくする事はできないと考えれば、大きく、ゆとりあるものを整備していただきたいです。町民の生の声を聞いていただきたいと思います。県内外と生活を送った私は、国又県は、いまだ他人事で進めているようにしか思えません。（60代）
- “福島県の復興”と言った時に、全ての交付金は県を通して行われ、大変な双葉郡ではなく、福島、郡山等の中通り側に流れ、帰還さえ出来ない私達には、箱物（必要と思えない、大きな学校とか）に使われて、町からの支援はほとんど回ってきません。大きな金に群がる、県議や町議、言っている事も聞こえない小声の町長を見聞きするたびにタメ息ばかりの今日この頃です。せめて知事や町長は、本当に町民の事を考えてくれる人になって欲しいけれど町議達は東電組の人ばかりです。何とかして下さい。（70代以上）

#### 【情報の開示・発信について】

- 大熊町はよくやってると思う。ただ、国や福島県の事をそのままの発信するのもいいのだが、町の要望ももっと伝えてほしいと思う。東電のプルサーマル事業の事など、もっと深く入りこんだ情報の発信がほしいです。大熊町でジャーナリストを雇うなどして、偏った情報ではない中立の意見など、そのままの事やリスクとデミリットなども情報で出してほしいです。なぜ、大熊町の意見を知事に伝えない！！よく分からない事が多すぎる。（40代）
- 原発事故による影響、処理水放出、中間貯蔵施設の将来、街作りをどうやって進めるのか等が、住民によく伝わっていないと思う。住民不在の決定は後々問題になるので情報の公開をきちんとやってほしい。（60代）
- 廃炉作業が30年～50年間も続く見通しの中で、進捗状況や課題・問題点など、率直に話し合える機会（説明会）を年1回程設けて欲しい。被災者に寄り添うと言いながら、処理水放出の件では議会に説明はあったが、町民への説明はなかった。国や東電に対する不信感は根強いものがある。（70代以上）

3-13-11 その他

＜図表3-13-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【行政に対する謝意、励まし】**

- 先日久しぶりに大野駅に訪れたのですが、駅周辺の景色が大きく変わっていて、懐かしいというよりは知らない町に来たような気持ちになり、少し複雑でした。復興に向けて町の皆さんが頑張っておられるのは、とてもありがたいです。私自身が町に戻るのことは、今は難しいかなと思っていますが、両親や近所の方々が戻って生活をしているので、時々帰れたらいいなと考えています。震災前より更に素敵になった大熊町になる事を楽しみにしております。頑張ってください。（10～20代）
- 早く大熊町に戻り、就労し生活していきたいが、それを望んでいるのは私一人なので悩んでいます。懐しいです。早く帰りたいです。また、毎年末にお米など送っていただきありがとうございます。とても嬉しいです。町の皆さんには感謝しかありません。（50代）
- ふたばワールド、ふるさとまつり、とても楽しかったです。大熊町に行ける楽しみがあり、これからも続けてほしいと思います。宜しくお願いします。（60代）

**【今後のエネルギー政策について】**

- 国が原発再開の動きになっているのが気になる。もっと再生可能エネルギー活用に取り組んでほしい。家庭用の蓄電池普及のために補助してほしい。（40代）
- 人類の叡知である原子力の利用については、小型原子炉の開発研究など、将来を見据えた研究が必要だと思います。事故を経験したところこそ、本質的に安全なものを開発できるのではないかと思います。数十年後のあるいは百年後の未来を考え、その中心地となれるようにと思います。（70代以上）
- 原発事故の被害拡大を防ぐ方法を建設当時は考えられなかったが、それを防止するためには、山の上に貯水池を作り、電力をほとんど使わずに高所（山）から低地（原発）まで流せば、メルトダウンなど起きずにこのような被害にならなかった。貯水池などは原子炉の何十分の一かで出来ると思うので、国又は県（日本）は、今からでも池を作るべきだと思います。事前に対策を取るべきだと思います。（70代以上）

## IV 參考資料





## 4-1 使用調査票

# 令和5年度 大熊町住民意向調査

## 記入上の注意

## ● 調査をお願いする方

震災発生時、大熊町に住民登録されていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。  
ご回答は、**世帯の代表者の方**をお願いいたします。

現在、世帯が何か所かに分かれて避難されている場合には、**それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票が送付されたお住まいの代表者の方に、ご回答をお願いいたします。**

## ● ご回答方法

- ・ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、( ) 内に具体的な内容もご記入ください。
- ・  の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。

## ● 個人情報について

- ・回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

## ● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、**11月5日（日）まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

## 【お問い合わせ先】

復興庁  
「住民意向調査」  
問い合わせセンター

## 調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-990-917

[設置期間：10月17日（火）～11月2日（木） 平日10時～17時]  
土・日・祝を除く

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号  
避難地域復興局 避難地域復興課  
電話 024-521-8436

大熊町

〒979-1306 福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717番地  
大熊町役場 企画調整課  
電話 0240-23-7586

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問1** 性別を教えてください。(○は1つ)

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

【すべての方にうかがいます。】

**問2** あなたの現在の年齢を教えてください。(○は1つ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳   | 8. 50~54歳  |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳  |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上  |

【すべての方にうかがいます。】

**問3** 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態)(○は1つ)

- |                           |                 |                                    |
|---------------------------|-----------------|------------------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)  | 8. 学生           | } ⇒ <u>問4-1</u><br><u>(2ページ)</u> へ |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中)         | 9. 無職(職を探していない) |                                    |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) |                                    |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 11. その他         | 【具体的に:                             |
| 5. 団体職員                   |                 |                                    |
| 6. 公務員                    |                 |                                    |
| 7. パート・アルバイト              |                 |                                    |
|                           |                 |                                    |

【仕事に就いている方(問3(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種(○は1つ)

- |               |                   |        |
|---------------|-------------------|--------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |        |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |        |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |        |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |        |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |        |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他           | 【具体的に: |
| 7. 運輸業        |                   |        |

**東日本大震災発生当時の、あなたの状況について教えてください。**

【すべての方にうかがいます。】

**問 4-1** 震災発生当時のお住まいが、現在以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。(○は1つ)

1. 中屋敷・大川原地区(平成31年4月10日避難指示解除)
2. 特定復興再生拠点区域(令和4年6月30日避難指示解除)
3. 中間貯蔵施設区域
4. 「1」「2」「3」以外の区域
5. わからない

【すべての方にうかがいます。】

**問 4-2** 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- |         |          |         |                              |
|---------|----------|---------|------------------------------|
| 1. 中屋敷  | 7. 大野1   | 13. 熊3  | 19. 夫沢1                      |
| 2. 野上1  | 8. 大野2   | 14. 町   | 20. 夫沢2                      |
| 3. 野上2  | 9. 大川原1  | 15. 熊川  | 21. 夫沢3                      |
| 4. 下野上1 | 10. 大川原2 | 16. 野馬形 | 22. その他(わからない場合は住所を記載してください) |
| 5. 下野上2 | 11. 熊1   | 17. 小入野 | ( )                          |
| 6. 下野上3 | 12. 熊2   | 18. 大和久 |                              |

【すべての方にうかがいます。】

**問 5** 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような住居形態でしたか。(○は1つ)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建)         | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅)        | 8. 親戚・知人宅          |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建)      | 9. その他 (具体的に:      |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅)     | ( )                |
| 5. 公営住宅             |                    |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |                    |

【すべての方にうかがいます。】

**問 6** 震災発生当時の世帯構成についてうかがいます。震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満(中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 7** 現在お住まいの自治体を教えてください。(○は1つ)

<b>【浜通り】</b>	<b>【中通り(県中)】</b>	<b>【会 津】</b>
1. 大熊町	22. 郡山市	43. 会津若松市
2. いわき市	23. 須賀川市	44. 喜多方市
3. 相馬市	24. 田村市	45. 下郷町
4. 南相馬市	25. 鏡石町	46. 檜枝岐村
5. 広野町	26. 天栄村	47. 只見町
6. 檜葉町	27. 三春町	48. 南会津町
7. 富岡町	28. 小野町	49. 北塩原村
8. 川内村	29. 石川町	50. 西会津町
9. 浪江町	30. 玉川村	51. 磐梯町
10. 双葉町	31. 平田村	52. 猪苗代町
11. 葛尾村	32. 浅川町	53. 会津坂下町
12. 新地町	33. 古殿町	54. 湯川村
13. 飯館村		55. 柳津町
		56. 三島町
<b>【中通り(県北)】</b>	<b>【中通り(県南)】</b>	57. 金山町
14. 福島市	34. 白河市	58. 昭和村
15. 二本松市	35. 西郷村	59. 会津美里町
16. 伊達市	36. 泉崎村	
17. 本宮市	37. 中島村	<b>【福島県】</b>
18. 桑折町	38. 矢吹町	60. 福島県外(具体的にご記入ください)
19. 国見町	39. 棚倉町	<input type="text"/>
20. 川俣町	40. 矢祭町	(都・道・府・県)
21. 大玉村	41. 塙町	<input type="text"/>
	42. 鮫川村	(市・町・村・区)

【すべての方にうかがいます。】

**問 8** 現在お住まいになっている住宅は、どのような住居形態ですか。(○は1つ)

1. 借上住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)	
2. 大熊町営の災害公営住宅・再生賃貸住宅(大熊町内。有償)	
3. 福島県営(本宮市営、桑折町営、大玉村営を含む)の復興公営住宅(大熊町外・有償)	
4. その他の公営住宅(「2」と「3」は除く。有償)	
5. 民間賃貸住宅(有償)	
6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	
7. 持ち家(ご本人またはご家族所有)	
8. 親戚・知人宅	
9. その他(具体的に: _____)	)

【すべての方にうかがいます。】

**問 9** 現在の世帯構成についてうかがいます。現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

この1年(令和4年11月～令和5年10月)の大熊町内の活動について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 10** 町内の施設、サービス等で利用したものがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

【町施設】

1. 大熊町役場 本庁舎
2. 大熊町診療所
3. 住民福祉センター
4. 移住定住センター
5. 大熊インキュベーションセンター
6. 学び舎ゆめの森

【交流ゾーン】

7. 商業施設 おおくまーと
8. 交流施設 Linkる大熊
9. 宿泊温泉施設 ほっと大熊
10. 大熊郵便局

【公共交通】

11. JR常磐線 大野駅
12. 大熊町生活循環バス
13. 新常磐交通バス(富岡駅～浪江FH2R線)
14. 東北アクセス高速バス(東京線)

【その他】

15. JA福島さくら 大熊ガソリンスタンド
16. KUMA・PRE
17. その他

具体的に:

【すべての方にうかがいます。】

**問 11** 参加した町内開催のイベントがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

【令和4年】

1. 11月5日 ふるさとまつり
2. 11月19日 紅葉の坂下ダムウォーキング
3. 12月17日 ゼロカーボンフェスティバル

【令和5年】

4. 1月8日 里がえりもちつき大会
5. 3月12日 おおくま学園祭
6. 4月8日 春の坂下ダムウォーキング
7. 7月30日 相馬野馬追凱旋行列
8. 9月2日 なつ祭りinおおくま
9. 10月7日 ふたばワールド2023 in 大熊

【上記以外】

10. その他

具体的に:

将来に関するご意向についてお聞かせください。

大熊町は平成31年4月に大川原・中屋敷地区の避難指示が解除、令和4年6月に特定復興再生拠点の避難指示が解除されました。現在、町の総面積 78.71 km<sup>2</sup>のうち 38.67 km<sup>2</sup>（総面積の 49.1%）の避難指示が解除されています。震災前の人口は 11,505 人でしたが、令和5年9月1日現在の町内居住者は 1,094 人（うち帰還者 236 人）です。

令和3年8月に、国は特定復興再生拠点区域外について「2020年代（令和11年まで）をかけて、帰還意向のある住民が帰還できるよう、避難指示解除の取組を進めて行く」方針を示しました。今後は、特定帰還居住区域を設定し、生活圏の除染など、避難指示解除に向けた取り組みを進めてまいります。将来的には、町内全域の避難指示解除を目指します。

教育環境では、令和5年4月、町内に認定こども園・義務教育学校の「学び舎ゆめの森」が開校しました。

住宅環境では、下野上地区に再生賃貸住宅を整備しており、令和6年度より入居が可能となる予定です。

医療環境では、県の検討会議で、福島県立大野病院の後継となる病院が大熊町内に設置される方針となり、現在の場所で建替えることが示されました。

大熊町は今後も「帰町を選択できるまちづくり」を進めてまいります。

【すべての方にうかがいます。】

**問 12** 今後、大熊町への帰町について、現時点でどのようにお考えですか。（○は1つ）

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. すでに大熊町で生活している         | } ⇒ <u>問 13-1(6 ページ)へ</u> |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) |                           |
| 3. まだ判断がつかない             | ⇒ <u>問 15-1(8 ページ)へ</u>   |
| 4. 戻らないと決めている            | ⇒ <u>問 17-1(11 ページ)へ</u>  |

問 13-1 からは、問 12 で「1. すでに大熊町で生活している」  
「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。

**問 13-1** 大熊町内に戻ることを考えた理由は、どのようなことですか。（○はいくつでも）

- |                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 自宅周辺の除染・避難指示解除が期待できること     | 8. 認定こども園・義務教育学校が開校したこと  |
| 2. 放射線量が低減されたこと               | 9. 診療所が開所したこと            |
| 3. 水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと      | 10. 高齢者グループホームが開所したこと    |
| 4. 商店・飲食店が開業したこと              | 11. 働く場・雇用機会があること        |
| 5. 自宅や公営住宅等が整備されたこと           | 12. 気持ちが安らぐこと            |
| 6. 鉄道・生活循環バスなど公共交通機関が運行していること | 13. 家族・友人・知人が町内に居住していること |
| 7. 役場機能が再開したこと                | 14. その他（具体的に：）           |

**問 13-2** 大熊町内での今後の生活において必要だと感じていることについて教えてください。（○はいくつでも）

- |                                 |                                |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 継続的な健康管理など、放射線に対する不安解消への取り組み | 9. 保育・教育環境の充実                  |
| 2. フォローアップ除染（再除染）の実施            | 10. 医療機関（診療科）の充実               |
| 3. 商業施設の再開・充実                   | 11. 介護・福祉施設の充実                 |
| 4. 公営住宅・居住環境の整備                 | 12. 雇用確保の支援                    |
| 5. 鉄道・バスなどの公共交通機関の充実            | 13. 町内コミュニティ活動（行政区などの活動も含む）の機会 |
| 6. 見守り活動の継続                     | 14. 生涯学習の環境                    |
| 7. 防犯体制の強化                      | 15. その他（具体的に：）                 |
| 8. 有害鳥獣対策の強化                    |                                |

**問 13-3** 問 13-2 で選択した「必要だと感じていること」のうち、特に必要と考えることについて、選択肢番号の欄に番号をご記入いただき、具体的なお考えや今後の期待、要望などがあればご自由にお書きください。（最大3つまで）

問 13-2 の選択肢番号	具体的なお考えや今後の期待、要望

→ 問 12 で「1. すでに大熊町で生活している」と回答した方は、問 19(14 ページ)へ

→ 問 12 で「2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は、問 14-1(7 ページ)へ

問 14-1 からは、問 12 で  
「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。

**問 14-1** 今後大熊町へ何年以内に戻りたいと考えていますか。（○は1つ）

- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| 1. 1年以内(令和6年・2024年)<br>2. 3年以内(令和8年・2026年)<br>3. 6年以内(令和11年・2029年) | 4. しばらく様子をみたい<br>5. その他 { 具体的に: } |
|--|-----------------------------------|

**問 14-2** 大熊町へ戻る場合に、家族の全員か一部かについて教えてください。（○は1つ）

- |  |        |   |
|--|--------|---|
| 1. 家族全員での帰町を考えている<br>2. 家族一部での帰町を考えている<br>3. 現在検討しているところ<br>4. まだわからない | }<br>} | ⇒ <u>問 14-3</u> へ<br>⇒ <u>問 15-1(8 ページ)</u> へ |
|--|--------|---|

【問 14-2 で「1. 家族全員での帰町を考えている」「2. 家族一部での帰町を考えている」と回答した方にうかがいます。】

**問 14-3** 帰町した場合にどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて現在の年齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15 歳以上 18 歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18 歳以上 65 歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人



問 15-1 からは、問 12 で「2. 戻りたいと考えている  
(将来的な希望も含む)」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

**問 15-1** 大熊町に戻る場合に、今後の生活において特に必要・充実させるべきと考える施設を教えてください。(〇はいくつでも)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 医療施設    | 4. 運動施設        |
| 2. 介護・福祉施設 | 5. 金融機関・ATM    |
| 3. 保育・教育施設 | 6. その他(具体的に: ) |

**問 15-2** 大熊町に戻る場合に、今後の生活において特に必要と考えるサービスを教えてください。(〇はいくつでも)

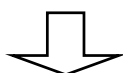
- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 住宅の修繕・建て替えの相談サービス | 7. 食事宅配サービス       |
| 2. 雇用確保・就業支援の相談サービス  | 8. 公共交通サービス       |
| 3. 安否確認・見守りサービス      | 9. 通信環境改善の相談サービス  |
| 4. 健康相談・生活相談サービス     | 10. 教育環境の充実・サービス  |
| 5. 健康増進・介護予防サービス     | 11. その他 { 具体的に: } |
| 6. 移動販売サービス          |                   |

**問 15-3** 大熊町に戻る場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(〇は1つ)

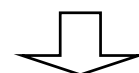
- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)        | 8. 給与住宅(社宅など)      |
| 2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の<br>持ち家を建てたい | 9. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい        | 10. 親戚・知人宅         |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建)                  | 11. その他 { 具体的に: }  |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)                 |                    |
| 6. 公営住宅(一戸建)                    |                    |
| 7. 公営住宅(集合住宅)                   | 12. 現時点では判断できない    |

**問 15-4** 大川原地区内の「復興拠点」や、JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。  
(〇は1つ)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 大川原地区内の復興拠点に居住したい   |  |
| 2. 特定復興再生拠点区域に居住したい ⇒ <a href="#">問 15-5(9 ページ)</a> へ              |  |
| 3. 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域には居住しない ⇒ <a href="#">問 15-6(9 ページ)</a> へ |  |
| 4. 判断ができない ⇒ <a href="#">問 15-7(9 ページ)</a> へ                       |  |



問 15-4 で「1」を選び、  
問 12 で「2. 戻りたいと考えている  
(将来的な希望も含む)」を選んだ方は  
[問 19\(14 ページ\)](#)へ



問 15-4 で「1」を選び、  
問 12 で「3. まだ判断がつかない」を選んだ方は  
[問 16-1\(10 ページ\)](#)へ

#### IV 参考資料

【問 15-4 で「2. 特定復興再生拠点区域に居住したい」と回答した方にうかがいます。】

**問 15-5** JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」に、町により住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. 公営住宅(一戸建)       | 5. その他 (具体的に:   |
| 2. 公営住宅(集合住宅)      | )               |
| 3. 分譲地を購入し、自宅を建築   |                 |
| 4. 特定復興再生拠点区域にある自宅 | 6. 現時点では判断がつかない |

→ 問 12 で「2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は、問 19(14 ページ)へ

→ 問 12 で「3. まだ判断がつかない」を選んだ方は、問 16-1(10 ページ)へ

【問 15-4 で「3. 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域には居住しない」と回答した方にうかがいます。】

**問 15-6** 大川原地区内の「復興拠点」や、JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」に居住しない理由はどのようなことですか。(○は1つ)

- |   |
|---|
| 1. 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域以外にある自宅に戻りたいから   |
| 2. 大川原地区内の復興拠点や特定復興再生拠点区域以外に自宅を購入し生活したいから |
| 3. その他(具体的に: )                            |

→ 問 12 で「2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は、問 19(14 ページ)へ

→ 問 12 で「3. まだ判断がつかない」を選んだ方は、問 16-1(10 ページ)へ

【問 15-4 で「4. 判断ができない」と回答した方にうかがいます。】

**問 15-7** 大川原地区内の「復興拠点」や、JR大野駅周辺や下野上地区を中心とした「特定復興再生拠点区域」への居住について、現時点で判断ができない理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 周辺環境がわからないから                              |
| 2. 病院、道路、公共交通などの社会基盤(インフラ)がどの程度整備されるかわからないから |
| 3. 生活関連施設がどの程度整備されるかわからないから                  |
| 4. 生活の拠点にできるかわからないから                         |
| 5. どのような人が住むかわからなく不安だから                      |
| 6. 自身の生活の見通しがたっていないから                        |
| 7. その他(具体的に: )                               |

→ 問 12 で「2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は、問 19(14 ページ)へ

→ 問 12 で「3. まだ判断がつかない」を選んだ方は、問 16-1(10 ページ)へ

問 16-1 からは、問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

**問 16-1** 大熊町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

1. 帰還困難区域の避難指示解除となる時期の目安に関する情報
2. 病院、道路、公共交通などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途
3. どの程度の住民が戻るかの状況
4. 放射線量の低下の目途、除染成果の状況
5. 中間貯蔵施設の情報
6. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
7. 放射線の人体への影響に関する情報
8. 働く場の確保の目途
9. 賠償額の確定
10. 住宅確保への支援に関する情報
11. 幼稚園、保育所、小学校、中学校に関する情報
12. その他(具体的に: )

**問 16-2** 問 16-1 で選択した「必要なこと」のうち、特に必要と考えることについて選択肢番号の欄に番号をご記入いただき、具体的なお考えや今後の期待、要望などがあればご自由にお書きください。(最大3つまで)

問 16-1 の選 択肢番号	具体的なお考えや今後の期待、要望

**問 16-3** 特定復興再生拠点区域外の避難指示解除について、「2020 年代をかけて、帰還意向のある住民が帰還できるよう、避難指示解除の取組を進めていく」との国の方針が示され、特定帰還居住区域が設定されることになりました。今後、特定帰還居住区域では生活圏の除染など、避難指示解除に向けた取り組みを進めてまいります。この動きは帰町への判断に影響がありますか。(○は1つ)

1. 帰町を選択する大きな材料になる
2. 具体的な避難指示解除の時期・範囲等の条件による
3. 帰還困難区域の全面解除を待ちたい
4. 影響はない
5. その他(具体的に: )

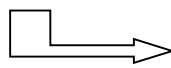
問 17-1 からは、問 12 で「3. まだ判断がつかない」  
「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

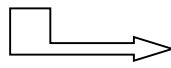
**問 17-1** 大熊町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない |
|---------|-----------|

**問 17-2** 今後、大熊町にどのぐらいの頻度で訪れたいと思いますか。(○は1つ)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 1週間に1回以上   | 5. 1年に1回程度         |
| 2. 1か月に1回程度   | 6. 2～3年に1回程度       |
| 3. 2～3か月に1回程度 | 7. 訪れるつもりはない       |
| 4. 半年に1回程度    | 8. 訪れたいが訪れることができない |

 問 12 で「3. まだ判断がつかない」を選んだ方は、問 19(14 ページ)へ

 問 12 で「4. 戻らないと決めている」を選んだ方は、問 18-1(12 ページ)へ

問 18-1 からは、問 12 で  
「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

**問 18-1** 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

**【帰町的前提・健康に関わるもの】**

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから
4. 中間貯蔵施設が整備されているから
5. 原子力発電所の廃炉作業が行われているから

**【町内の復旧状況に関わるもの】**

6. 特定復興再生拠点区域外であり解除の見通しが立っていないから
7. 大熊町に戻っても仕事がなさそうだから
8. 大熊町での事業の再開が難しいから
9. 営農再開に不安があるから
10. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
11. 大熊町外への移動交通が不便だから
12. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
13. 医療環境に不安があるから
14. 介護・福祉サービスに不安があるから
15. 教育環境に不安があるから
16. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

**【今後の生活に関わるもの】**

17. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
18. 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
19. 他の住民も戻りそうにないから
20. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
21. 帰町までに時間がかかるから
22. 避難先で仕事を見つけているから
23. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
24. 避難先の方が、生活利便性が高いから
25. すでに生活基盤ができているから
26. その他

【具体的に:

**問 18-2** 問 18-1 で選択した「戻らない理由」のうち、特に重要と考えることについて選択肢番号の欄に番号をご記入いただき、具体的なお考えや今後の要望などがあればご自由にお書きください。(最大3つまで)

問 18-1 の選択肢番号	具体的なお考えや今後の要望

**問 18-3** 今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 継続的な健康管理の支援
2. 雇用確保の支援
3. 役場からの継続的な情報提供
4. イベントや交流の場の開催

5. 一時帰宅支援

6. その他

【具体的に:

**問 18-4** 今後の居住を検討している(既に居住している場合を含む)自治体はどの自治体になるかを教えてください。(○は1つ)

<p><b>【浜通り】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いわき市</li> <li>2. 相馬市</li> <li>3. 南相馬市</li> <li>4. 広野町</li> <li>5. 檜葉町</li> <li>6. 富岡町</li> <li>7. 川内村</li> <li>8. 浪江町</li> <li>9. 双葉町</li> <li>10. 葛尾村</li> <li>11. 新地町</li> <li>12. 飯館村</li> </ol>	<p><b>【中通り(県中)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>21. 郡山市</li> <li>22. 須賀川市</li> <li>23. 田村市</li> <li>24. 鏡石町</li> <li>25. 天栄村</li> <li>26. 三春町</li> <li>27. 小野町</li> <li>28. 石川町</li> <li>29. 玉川村</li> <li>30. 平田村</li> <li>31. 浅川町</li> <li>32. 古殿町</li> </ol>	<p><b>【会 津】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>42. 会津若松市</li> <li>43. 喜多方市</li> <li>44. 下郷町</li> <li>45. 檜枝岐村</li> <li>46. 只見町</li> <li>47. 南会津町</li> <li>48. 北塩原村</li> <li>49. 西会津町</li> <li>50. 磐梯町</li> <li>51. 猪苗代町</li> <li>52. 会津坂下町</li> <li>53. 湯川村</li> <li>54. 柳津町</li> <li>55. 三島町</li> <li>56. 金山町</li> <li>57. 昭和村</li> <li>58. 会津美里町</li> </ol>
<p><b>【中通り(県北)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>13. 福島市</li> <li>14. 二本松市</li> <li>15. 伊達市</li> <li>16. 本宮市</li> <li>17. 桑折町</li> <li>18. 国見町</li> <li>19. 川俣町</li> <li>20. 大玉村</li> </ol>	<p><b>【中通り(県南)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>33. 白河市</li> <li>34. 西郷村</li> <li>35. 泉崎村</li> <li>36. 中島村</li> <li>37. 矢吹町</li> <li>38. 棚倉町</li> <li>39. 矢祭町</li> <li>40. 塙町</li> <li>41. 鮫川村</li> </ol>	<p><b>【福島県外】</b></p> <p>59. 福島県外(具体的にご記入ください)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> <p style="text-align: right;">(都・道・府・県)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px;"></div> <p style="text-align: right;">(市・町・村・区)</p>

**問 18-5** 今後のお住まいとして希望する(既に居住している場合を含む)住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持ち家(一戸建)</li> <li>2. 持ち家(マンションなど)</li> <li>3. 民間賃貸住宅(一戸建)</li> <li>4. 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど)</li> <li>5. 公営住宅(一戸建)</li> <li>6. 公営住宅(アパート・マンションなど)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 給与住宅(社宅など)</li> <li>8. 家族のどなたかのお住まい</li> <li>9. 親戚・知人宅</li> <li>10. その他</li> </ol>
	<p style="text-align: center;">(具体的に: )</p>

**大熊町内での就労意向についてお聞かせください。**

【すべての方にうかがいます。】

**問 19** 町では町内への企業誘致を進めています。町内で働く場が整備された際、あなたを含めたご家族で就労を希望する方はいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1. 町内で就労したい ⇒ [就労を希望する方の人数: \_\_\_\_\_ 人]
2. 条件が合えば町内で就労したい
3. 町内での就労希望者はいない

**大熊町内で整備検討中の運動施設についてご希望をお聞かせください。**

【すべての方にうかがいます。】

**問 20** 町では運動に利用できる施設を「原・旭台地区」に整備することを検討しています。開業時期や規模については、町民の帰還状況や居住者の増加の状況を見ながら進めてまいりますが、どのような施設を希望しますか。(〇は1つ)

- |             |          |                        |
|-------------|----------|------------------------|
| 1. 多目的グラウンド | 4. サッカー場 | 7. その他 [ 具体的に: _____ ] |
| 2. テニスコート   | 5. プール   |                        |
| 3. 野球場      | 6. 体育館   |                        |
|             |          |                        |

※1 多目的グラウンドは、1周400メートルのトラックで中央芝の部分进行他の競技で使用できるものを想定しています。

※2 パークゴルフ場については、西大和久地区に整備を検討しています。

**教育施設「学び舎ゆめの森」についてお聞かせください。**

【中学生以下のお子様・お孫様がいらっしゃる世帯の方にうかがいます。】

**問 21-1** 町では令和5年春に、会津若松市から学校機能を移転し、町内の大川原地区に認定こども園・義務教育学校「学び舎ゆめの森」を開校しました。お子様やお孫様の通園・通学のご意向について教えてください。(〇は1つ)

- |                 |                            |  |
|-----------------|----------------------------|--|
| 1. すでに通園・通学している | ⇒ <u>問 22-1(15 ページ)へ</u>   |  |
| 2. 通園・通学をさせたい   | ⇒ <u>問 21-2 へ</u>          |  |
| 3. 通園・通学の意向はない  | } ⇒ <u>問 22-1(15 ページ)へ</u> |  |
| 4. わからない        |                            |  |

【問 21-1 で「2. 通園・通学をさせたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 21-2** お子様・お孫様を、通園・通学をさせたい校種について教えてください。(〇はいくつでも)

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| 1. 認定こども園(保育・幼稚) | 2. 義務教育学校 |
|------------------|-----------|

【問 21-1 で「2. 通園・通学をさせたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 21-3** 預かり保育、学童保育のご利用の意向について教えてください。(〇は1つ)

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用の意向はない |
|----------|-------------|

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 22-1** 町内に保有している宅地・建物の利用意向についてうかがいます。  
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(○は1つ)  
(複数所有している場合は自宅についてお答えください)

1. 世帯で保有している宅地・建物はない
2. 宅地・建物を自ら使いたい
3. 宅地・建物を親戚・親族・友人に使ってもらいたい
4. 宅地・建物の売却や賃貸を考えている ⇒ [問 22-2 へ](#)
5. 建物を解体して建替えたい
6. 建物を解体して更地にしたい
7. 宅地・建物除染後に判断したい
8. 帰還困難区域のため決められない
9. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

↳ [問 22-1 で「4」以外を選んだ方は、問 23-1\(16 ページ\)へ](#)

【問 22-1 で「4. 宅地・建物の売却や賃貸を考えている」と回答した方にうかがいます。】

**問 22-2** 現在おおくままちづくり公社では不動産利活用事業を行っています。あなたはこの事業に登録されていますか。(○は1つ)

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 1. 登録している ⇒ <a href="#">問 23-1(16 ページ)へ</a> | 2. 登録していない ⇒ <a href="#">問 22-3 へ</a> |
|---|---------------------------------------|

◆不動産利活用事業とは◆

町がおおくままちづくり公社に委託している事業で、不動産の売買や賃貸を希望する町民に土地や建物の情報を登録いただき、利用希望者とのマッチングを行い、町内不動産の利活用につなげることを目的としています。

問い合わせ先 : 一般社団法人 おおくままちづくり公社  
電話番号 : 0240-23-7101

【問 22-2 で「2. 登録していない」と回答した方にうかがいます。】

**問 22-3** おおくままちづくり公社の不動産利活用事業に登録されていない理由を教えてください。(○は1つ)

1. 不動産利活用事業を知らなかったから
2. 所有している宅地・建物が荒廃していて登録できるとは思わなかったから
3. おおくままちづくり公社以外の不動産業者に依頼を考えているから
4. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)



**復興公営住宅についてお聞かせください。**

◆復興公営住宅とは◆

将来の帰町に向け、仮設住宅等から安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するために、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※大熊町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 23-1** 福島県営の復興公営住宅（大熊町外）への入居意向について教えてください。（○は1つ）

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. すでに入居している、もしくは入居の申し込み中である | 3. 入居を希望しない   |
| 2. 今後、入居の申し込みをしたい            | 4. 判断できない   |
| ⇒ 問 23-2 へ                   | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">           判断できない理由：         </div> |

問 23-1 で「2」以外を選んだ方は、問 24-1(17 ページ)へ

【問 23-1 で「2. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 23-2** 入居を希望する時期について教えてください。（○は1つ）

- |          |            |   |
|----------|------------|---|
| 1. 令和5年度 | 3. 令和7年度   | 5. その他  |
| 2. 令和6年度 | 4. 令和8年度以降 | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">           具体的に：         </div> |

【問 23-1 で「2. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 23-3** 入居を希望する市町村について教えてください。（○は1つ）

- |          |         |   |
|----------|---------|---|
| 1. 福島市   | 6. 二本松市 | 10. 福島県内のその他の市町村  |
| 2. 会津若松市 | 7. 田村市  | → 具体的にご記入ください   |
| 3. 郡山市   | 8. 南相馬市 | <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; display: inline-block;"></div> (市・町・村) |
| 4. いわき市  | 9. 本宮市  |   |
| 5. 白河市   |         |   |

※この質問への回答により、入居申し込み等に影響があるものではありません

◆ 福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ ◆

福島県 生活拠点課 TEL : 024-521-8306

大熊町からの情報入手についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 24-1 大熊町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(○はいくつでも)

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. 広報おおくま              | 8. テレビ         |
| 2. 大熊町お知らせメール          | 9. ラジオ         |
| 3. 大熊町ホームページ           | 10. 家族・友人・知人から |
| 4. 大熊町フェイスブック(おおくま広報室) | 11. その他 (具体的に: |
| 5. 大熊町Instagram        | )              |
| 6. 新聞(福島県内の地方紙)        |                |
| 7. 新聞(全国紙、福島県以外の地方紙)   |                |

【すべての方にうかがいます。】

問 24-2 大熊町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している    | 4. あまり満足していない |
| 2. やや満足している  | 5. 満足していない    |
| 3. どちらともいえない |               |

【すべての方にうかがいます。】

問 24-3 大熊町からの情報で強い関心があるものは何ですか。(○はいくつでも)

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 現在の大熊町内の様子  | 7. 医療・福祉・介護に関すること       |
| 2. 復興計画の進行状況   | 8. 子育て・教育に関すること         |
| 3. 各種手続きに関すること | 9. 生涯学習・スポーツ・施設利用に関する情報 |
| 4. イベント情報      | 10. その他 (具体的に:          |
| 5. 町長の動向       | )                       |
| 6. 防火・防災・災害情報  |                         |

大熊町の持続可能なまちづくりへの取り組みについてお聞かせください。

大熊町は令和3年2月、ゼロカーボンビジョンを策定しました。

これは、二酸化炭素の排出を大幅に削減し、2040年には実質ゼロ、2050年にはマイナス達成とすることを目指すものです。

大熊町は、原発事故を経験した町だからこそ、原発や化石エネルギーに頼らず、地域の再生可能エネルギーを活用した持続可能なまちづくりに取り組み、私たちの子ども、孫たちが誇りをもって語れる町を目指します。

大熊町は「徹底した省エネの取り組み」、「再生可能エネルギーの地産地消」の先導的エリアとして、下野上スマートコミュニティの整備を行う等、ゼロカーボンの達成に向けた取り組みを推進しています。

【すべての方にうかがいます。】

問 25-1 「大熊町ゼロカーボンビジョン」をご存じでしたか。(○は1つ)

1. 知っていた
2. ゼロカーボンビジョンは知っていたが、内容は知らなかった
3. 知らなかった

【すべての方にうかがいます。】

問 25-2 大熊町の目指している持続可能なまちづくりへの取り組みについて、ご意見などをご自由にお書きください。

国や福島県、大熊町へのご意見などについてお聞かせください。

問 26 国や福島県、大熊町への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。  
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、  
11月5日(日)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。



**大熊町 住民意向調査  
報告書**

**令和6年3月**

**復興庁 福島県 大熊町**

**調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター**